

# 1 年次生

数学 I (習熟度 A )	51	中 国 語 I	91
数学 I (習熟度 B )	52	韓 国 語 I	92
数学 I (習熟度 C )	53	ド イ ツ 語 I	93
数学 II (習熟度 A )	54	ド イ ツ 語 I	94
数学 II (習熟度 B )	55	中 国 語 II	95
数学 II (習熟度 C )	56	韓 国 語 II	96
生物学 I (履修歴別 A )	57	ド イ ツ 語 II	97
生物学 I (履修歴別 B )	58	ド イ ツ 語 II	98
生物学 II (履修歴別 A )	59	現 代 社 会 論	99
生物学 II (履修歴別 B )	60	女 性 と 法	100
物理学 I (履修歴別 A )	61	医 療 と 薬 学 の 歴 史	101
物理学 I (履修歴別 B )	62	ア メ リ カ 文 化 論	102
物理学 II (履修歴別 A )	63	ア ジ ア 文 化 論	103
物理学 II (履修歴別 B )	64	日 本 文 化 論	104
基 墓 化 学	65	現 代 の 音 楽	105
基 墓 有 機 化 学	66	ヨ ー ロ ッ パ 文 化 論	106
情報リテラシー(1, 2クラス)	67	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論	107
情報リテラシー(3, 4クラス)	68	環 境 問 題	108
情報リテラシー(5, 6クラス)	69	異 文 化 理 解	109
情報リテラシー(7, 8クラス)	70	消 費 者 行 動 論	110
教養リテラシーA(1, 3クラス)	71	薬 局 経 営 論	111
教養リテラシーA(2, 4クラス)	72	社 会 心 理 学	112
教養リテラシーB(5, 7クラス)	73	医 療 と 人 間	113
教養リテラシーB(6, 8クラス)	74	外 国 人 と 人 権	114
英語 I (習熟度別 A )	75	社 会 薬 学 I	115
英語 I (習熟度別 B )	76	社 会 薬 学 II	116
英語 I (習熟度別 C )	77	薬 学 入 門	117
英語 II (1 , 5 クラス)	78	物 理 化 学 I	118
英語 II (2 , 6 クラス)	79	分 析 化 学 I	119
英語 II (3 , 7 クラス)	80	無 機 ・ 錯 体 化 学	120
英語 II (4 , 8 クラス)	81	有 機 化 学 I	121
英語 III (習熟度別 A )	82	有 機 化 学 II	123
英語 III (習熟度別 B )	83	薬 用 資 源 学	125
英語 III (習熟度別 C )	84	機 能 形 態 学	126
英語 IV (1 , 5 クラス)	85	生 化 学 I	127
英語 IV (2 , 6 クラス)	86	早 期 体 驗 学 習	128
英語 IV (3 , 7 クラス)	87	初 期 体 驗 臨 床 実 習	129
英語 IV (4 , 8 クラス)	88	基 墓 化 学 実 習	130
ス ポ ー ツ I	89		
ス ポ ー ツ II	90		



# 数学 I

習熟度A

担当教員名 講師（非常勤）高田 一郎

1年次 前期 必修 1単位

クラス 1	科目コード	0001
クラス 2	科目コード	0001
クラス 3	科目コード	0001
クラス 4	科目コード	0001
クラス 5	科目コード	0001
クラス 6	科目コード	0001
クラス 7	科目コード	0001
クラス 8	科目コード	0001

## 一般目標 (GIO)

自然科学を学ぶ上で基礎となる数学に関する基本的知識を修得し、それらを薬学領域などで応用するための基本的技能を身につける。

## 到達目標 (SBOs)

1. 関数の概念を理解する。
2. 指数関数、対数関数の概念を理解し、それを用いた計算ができる。
3. 三角関数、逆三角関数の概念を理解し、それを用いた計算ができる。
4. 関数の連続性を理解し、主な関数についてそれを確かめることができる。
5. 極限値の考え方を理解し、計算によってそれを求めることができます。
6. 微分法の考え方を理解し、導関数の計算ができる。
7. 導関数を用いて、関数の極値・増減を調べることができます。

## 授業内容 (項目・内容)

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| 1. 関数の概念     | 関数、合成関数、逆関数の定義   |
| 2. 指数関数と対数関数 | 指数・対数関数の性質       |
| 3. 三角関数      | 三角関数・逆三角関数の性質    |
| 4. 関数の極限値 1  | 極限値の考え方、自然対数の定義  |
| 5. 連続関数      | 関数の連続性、中間値の定理    |
| 6. 曲線の表示     | 極座標や助変数を用いた表示    |
| 7. 導関数       | 微分の考え方、導関数の定義と例  |
| 8. 導関数の計算 1  | 合成関数・逆関数の微分法     |
| 9. 導関数の計算 2  | 基本的な関数の導関数       |
| 10. 微分可能な関数  | ロルの定理と平均値の定理     |
| 11. 関数の増減    | 関数の極値と増減、不等式への応用 |
| 12. 関数の極限値 2 | ロピタルの定理とその応用     |
| 13. 高次導関数    | ライプニッツの定理        |
| 14. 関数の展開式   | マクローリン展開、関数の近似式  |

## 成績評価方法

- ・定期試験（100点）
- ・平常点（15点）配点内訳：小テスト、課題レポート、受講態度で評価する。  
ただし100点を越える場合には100点とする。

## 教科書

ムイスリ出版「微分積分の基礎」

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

常日頃から、授業の進行に対応して、教科書にある問題を自分で解いてみること。

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

# 数学 I

習熟度B

担当教員名 講師（非常勤）黒田 三州流

1年次 前期 必修 1単位

クラス	1	科目コード	0002
クラス	2	科目コード	0002
クラス	3	科目コード	0002
クラス	4	科目コード	0002
クラス	5	科目コード	0002
クラス	6	科目コード	0002
クラス	7	科目コード	0002
クラス	8	科目コード	0002

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

## 一般目標 (GIO)

自然科学を学ぶ上で基礎となる数学に関する基本的知識を修得し、それらを薬学領域などで応用するための基本的技能を身につける。

## 到達目標 (SBOs)

- 関数の概念を理解する。
- 指数関数、対数関数の概念を理解し、それを用いた計算ができる。
- 三角関数、逆三角関数の概念を理解し、それを用いた計算ができる。
- 関数の連続性を理解し、主な関数についてそれを確かめることができる。
- 極限値の考え方を理解し、計算によってそれを求めることができる。
- 微分法の考え方を理解し、導関数の計算ができる。
- 導関数を用いて、関数の極値・増減を調べることができる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| 1. 関数の概念     | 関数、合成関数、逆関数の定義   |
| 2. 指数関数と対数関数 | 指数・対数関数の性質       |
| 3. 三角関数      | 三角関数・逆三角関数の性質    |
| 4. 関数の極限値 1  | 極限値の考え方、自然対数の定義  |
| 5. 連続関数      | 関数の連続性、中間値の定理    |
| 6. 曲線の表示     | 極座標や助変数を用いた表示    |
| 7. 導関数       | 微分の考え方、導関数の定義と例  |
| 8. 導関数の計算 1  | 合成関数・逆関数の微分法     |
| 9. 導関数の計算 2  | 基本的な関数の導関数       |
| 10. 微分可能な関数  | ロルの定理と平均値の定理     |
| 11. 関数の増減    | 関数の極値と増減、不等式への応用 |
| 12. 関数の極限値 2 | ロピタルの定理とその応用     |
| 13. 高次導関数    | ライプニッツの定理        |
| 14. 関数の展開式   | マクローリン展開、関数の近似式  |

## 成績評価方法

- 定期試験（100点）
- 平常点（15点）配点内訳：小テスト、課題レポート、受講態度で評価する。  
ただし100点を越える場合には100点とする。

## 教科書

マイスリ出版「微分積分の基礎」

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

常日頃から、授業の進行に対応して、教科書にある問題を自分で解いてみること。

# 数学 I

習熟度C

**担当教員名** 教授 内田 吉昭  
教授 味村 良雄

1年次 前期 必修 1単位

クラス 1	科目コード	0003
クラス 2	科目コード	0003
クラス 3	科目コード	0003
クラス 4	科目コード	0003
クラス 5	科目コード	0003
クラス 6	科目コード	0003
クラス 7	科目コード	0003
クラス 8	科目コード	0003

## 一般目標 (GIO)

自然科学を学ぶ上で基礎となる数学に関する基本的知識を修得し、それらを薬学領域などで応用するための基本的技能を身につける。

## 到達目標 (SBOs)

1. 関数の概念を理解する。
2. 指数関数、対数関数の概念を理解し、それを用いた計算ができる。
3. 三角関数、逆三角関数の概念を理解し、それを用いた計算ができる。
4. 関数の連続性を理解し、主な関数についてそれを確かめることができる。
5. 極限値の考え方を理解し、計算によってそれを求めることができます。
6. 微分法の考え方を理解し、導関数の計算ができる。
7. 導関数を用いて、関数の極値・増減を調べることができます。

## 授業内容 (項目・内容)

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| 1. 関数の概念     | 関数、合成関数、逆関数の定義   |
| 2. 指数関数と対数関数 | 指数・対数関数の性質       |
| 3. 三角関数      | 三角関数・逆三角関数の性質    |
| 4. 関数の極限値 1  | 極限値の考え方、自然対数の定義  |
| 5. 連続関数      | 関数の連続性、中間値の定理    |
| 6. 曲線の表示     | 極座標や助変数を用いた表示    |
| 7. 導関数       | 微分の考え方、導関数の定義と例  |
| 8. 導関数の計算 1  | 合成関数・逆関数の微分法     |
| 9. 導関数の計算 2  | 基本的な関数の導関数       |
| 10. 微分可能な関数  | ロルの定理と平均値の定理     |
| 11. 関数の増減    | 関数の極値と増減、不等式への応用 |
| 12. 関数の極限値 2 | ロピタルの定理とその応用     |
| 13. 高次導関数    | ライプニッツの定理        |
| 14. 関数の展開式   | マクローリン展開、関数の近似式  |

## 成績評価方法

- ・定期試験 (100点)
- ・平常点 (15点) 配点内訳：小テスト、課題レポート、受講態度で評価する。  
ただし100点を越える場合には100点とする。

## 教科書

ムイスリ出版「微分積分の基礎」

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

常日頃から、授業の進行に対応して、教科書にある問題を自分で解いてみること。

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

# 数学II

習熟度A

担当教員名 講師（非常勤）高田 一郎

1年次 後期 必修 1単位

クラス	1	科目コード	0011
クラス	2	科目コード	0011
クラス	3	科目コード	0011
クラス	4	科目コード	0011
クラス	5	科目コード	0011
クラス	6	科目コード	0011
クラス	7	科目コード	0011
クラス	8	科目コード	0011

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

## 一般目標 (GIO)

自然科学を学ぶ上で基礎となる数学に関する基本的知識を修得し、それらを薬学領域などで応用するための基本的技能を身につける。

## 到達目標 (SBOs)

- 不定積分の概念を理解し、計算によってそれを求めることができる。
- 定積分の概念を理解し、計算によってそれを求めることができる。
- 広義積分の概念を理解し、計算によってそれを求めることができる。
- 微分方程式の基本概念を理解し、簡単な場合に解くことができる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                |                    |
|----------------|--------------------|
| 1. 不定積分        | 原始関数と不定積分の定義       |
| 2. 基本的な関数の不定積分 | 基本的な関数の不定積分        |
| 3. 不定積分の計算法 1  | 部分積分法              |
| 4. 不定積分の計算法 2  | 置換積分法              |
| 5. 有理関数・無理関数   | 有理関数や無理関数の不定積分     |
| 6. 無理関数と三角関数   | 無理関数と三角関数の不定積分     |
| 7. 定積分         | 定積分の定義と公式          |
| 8. 基本定理        | 平均値の定理と微積分学の基本定理   |
| 9. 定積分の計算      | 部分積分法と置換積分法        |
| 10. 面積         | 面積の計算              |
| 11. 広義積分 1     | 広義積分の考え方と計算        |
| 12. 広義積分 2     | 広義積分の計算            |
| 13. 微分方程式 1    | 変数分離形、同次形の微分方程式の解法 |
| 14. 微分方程式 2    | 1階線形微分方程式の解法       |

## 成績評価方法

- 定期試験 (100点)
- 平常点 (15点) 配点内訳：小テスト、課題レポート、受講態度で評価する。  
ただし100点を越える場合には100点とする。

## 教科書

ムイスリ出版「微分積分の基礎」

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

常日頃から、授業の進行に対応して、教科書にある問題を自分で解いてみること。

# 数学Ⅱ

習熟度B

担当教員名 講師（非常勤） 黒田 三州流

1年次 後期 必修 1単位

クラス 1	科目コード	0012
クラス 2	科目コード	0012
クラス 3	科目コード	0012
クラス 4	科目コード	0012
クラス 5	科目コード	0012
クラス 6	科目コード	0012
クラス 7	科目コード	0012
クラス 8	科目コード	0012

## 一般目標 (GIO)

自然科学を学ぶ上で基礎となる数学に関する基本的知識を修得し、それらを薬学領域などで応用するための基本的技能を身につける。

## 到達目標 (SBOs)

1. 不定積分の概念を理解し、計算によってそれを求めることができる。
2. 定積分の概念を理解し、計算によってそれを求めることができる。
3. 広義積分の概念を理解し、計算によってそれを求めることができる。
4. 微分方程式の基本概念を理解し、簡単な場合に解くことができる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                |                    |
|----------------|--------------------|
| 1. 不定積分        | 原始関数と不定積分の定義       |
| 2. 基本的な関数の不定積分 | 基本的な関数の不定積分        |
| 3. 不定積分の計算法 1  | 部分積分法              |
| 4. 不定積分の計算法 2  | 置換積分法              |
| 5. 有理関数・無理関数   | 有理関数や無理関数の不定積分     |
| 6. 無理関数と三角関数   | 無理関数と三角関数の不定積分     |
| 7. 定積分         | 定積分の定義と公式          |
| 8. 基本定理        | 平均値の定理と微積分学の基本定理   |
| 9. 定積分の計算      | 部分積分法と置換積分法        |
| 10. 面積         | 面積の計算              |
| 11. 広義積分 1     | 広義積分の考え方と計算        |
| 12. 広義積分 2     | 広義積分の計算            |
| 13. 微分方程式 1    | 変数分離形、同次形の微分方程式の解法 |
| 14. 微分方程式 2    | 1階線形微分方程式の解法       |

## 成績評価方法

- ・定期試験（100点）
- ・平常点（15点）配点内訳：小テスト、課題レポート、受講態度で評価する。  
ただし100点を越える場合には100点とする。

## 教科書

ムイスリ出版「微分積分の基礎」

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

常日頃から、授業の進行に対応して、教科書にある問題を自分で解いてみること。

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

# 数学II

習熟度C

**担当教員名** 教授 内田 吉昭  
教授 味村 良雄

1年次 後期 必修 1単位

クラス	1	科目コード	0013
クラス	2	科目コード	0013
クラス	3	科目コード	0013
クラス	4	科目コード	0013
クラス	5	科目コード	0013
クラス	6	科目コード	0013
クラス	7	科目コード	0013
クラス	8	科目コード	0013

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

**一般目標 (GIO)**

自然科学を学ぶ上で基礎となる数学に関する基本的知識を修得し、それらを薬学領域などで応用するための基本的技能を身につける。

**到達目標 (SBOs)**

- 不定積分の概念を理解し、計算によってそれを求めることができる。
- 定積分の概念を理解し、計算によってそれを求めることができる。
- 広義積分の概念を理解し、計算によってそれを求めることができる。
- 微分方程式の基本概念を理解し、簡単な場合に解くことができる。

**授業内容 (項目・内容)**

- |                |                    |
|----------------|--------------------|
| 1. 不定積分        | 原始関数と不定積分の定義       |
| 2. 基本的な関数の不定積分 | 基本的な関数の不定積分        |
| 3. 不定積分の計算法 1  | 部分積分法              |
| 4. 不定積分の計算法 2  | 置換積分法              |
| 5. 有理関数・無理関数   | 有理関数や無理関数の不定積分     |
| 6. 無理関数と三角関数   | 無理関数と三角関数の不定積分     |
| 7. 定積分         | 定積分の定義と公式          |
| 8. 基本定理        | 平均値の定理と微積分学の基本定理   |
| 9. 定積分の計算      | 部分積分法と置換積分法        |
| 10. 面積         | 面積の計算              |
| 11. 広義積分 1     | 広義積分の考え方と計算        |
| 12. 広義積分 2     | 広義積分の計算            |
| 13. 微分方程式 1    | 変数分離形、同次形の微分方程式の解法 |
| 14. 微分方程式 2    | 1階線形微分方程式の解法       |

**成績評価方法**

- 定期試験 (100点)
- 平常点 (15点) 配点内訳：小テスト、課題レポート、受講態度で評価する。  
ただし100点を越える場合には100点とする。

**教科書**

ムイスリ出版「微分積分の基礎」

**指定参考書**

特になし

**学生へのアドバイス**

常日頃から、授業の進行に対応して、教科書にある問題を自分で解いてみること。

# 生物学 I

履修歴別A

担当教員名 講師（非常勤）辻本 昭信

1年次 前期 必修 1単位

クラス 1	科目コード	0041
クラス 2	科目コード	0041
クラス 3	科目コード	0041
クラス 4	科目コード	0041
クラス 5	科目コード	0041
クラス 6	科目コード	0041
クラス 7	科目コード	0041
クラス 8	科目コード	0041

## 一般目標 (GIO)

高校で学んだ生物や生命現象についての基本的な概念や法則をさらに深く理解し、自然に対する関心や探究する態度や能力を育てるとともに、最新の高度な生物学を理解するための基礎を学ぶ。

## 到達目標 (SBOs)

1. 細胞の基本構造と機能を理解する。
2. 細胞の増殖と組織・器官・個体との関係を理解する。
3. 生殖の方法と減数分裂の意義を理解する。
4. 動物の発生過程と細胞分化・器官形成・形態形成のしくみを理解する。
5. 遺伝の法則、性決定と伴性遺伝、遺伝子の本体について理解する。
6. 内臓器官のはたらきと恒常性の維持、脳のはたらきについて理解する。
7. 動物行動の様式とその特徴について理解する。

## 授業内容 (項目・内容)

- |              |                                |
|--------------|--------------------------------|
| 1. 生物と細胞     | 生物とは、原核細胞・真核細胞、細胞の構造と機能        |
| 2. 細胞膜の性質と働き | 半透性、浸透圧、受動輸送と能動輸送              |
| 3. 細胞の増殖     | 細胞分裂と染色体、細胞周期                  |
| 4. 生殖の方法     | 無性生殖と有性生殖、減数分裂と配偶子の形成、ヒトの生殖と発生 |
| 5. 動物の発生     | 発生過程、原基分布図、形成体と細胞分化            |
| 6. 発生と細胞分化   | アクチビン、ES細胞、再生                  |
| 7. 発生と形態形成   | アポトーシス、カドヘリン                   |
| 8. 遺伝の法則     | メンデルの法則、組み換えと染色体地図             |
| 9. 性と遺伝      | 伴性遺伝、ヒトの遺伝、遺伝と環境               |
| 10. 遺伝子とDNA  | 遺伝子の本体、DNAの構造                  |
| 11. 動物の生理学   | 肝臓、胃腸、心臓、腎臓、眼、筋肉の働き            |
| 12. 神経と脳     | ニューロンと興奮の伝達・伝導、脳の働き            |
| 13. 恒常性の維持   | 体液、内分泌系と自律神経系                  |
| 14. 動物の行動    | 本能行動、学習行動、知能行動                 |

## 成績評価方法

出席および試験によって総合的に評価する。

## 教科書

スクエア最新図説生物 吉里勝利監修（第一学習社）  
大学生のための基礎シリーズ2 生物学入門 石川 統編（東京化学同人）

## 指定参考書

生物学と人間 赤坂甲治編（裳華房）

## 学生へのアドバイス

授業内容とその要点は、毎時間プリントを配付して示す。スライドと「図説生物」を使って説明するので、しっかりと聞いて理解すること。「生物学入門」は各自で読んで復習や補習をする。

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

# 生物学 I

履修歴別B

担当教員名 講師（非常勤）松本 弘

1年次 前期 必修 1単位

クラス	1	科目コード	0042
クラス	2	科目コード	0042
クラス	3	科目コード	0042
クラス	4	科目コード	0042
クラス	5	科目コード	0042
クラス	6	科目コード	0042
クラス	7	科目コード	0042
クラス	8	科目コード	0042

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

## 一般目標 (GIO)

生物や生命現象について学び、自然に対する関心や探求方法を身につける。生物学的に探求する能力と態度を育てると共に基本的な概念や原理、法則を理解し科学的な自然観を修得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 科学及び科学の方法、生物科学について理解する。
2. 生物の基本単位である細胞の構造と機能を細胞学の歴史を通して理解する。
3. 細胞の増殖と細胞、組織、器官、個体、生物集団とその階層性を理解する。
4. 生殖方法と減数分裂の意義を理解する。
5. 動物の発生過程と細胞分化による形態形成のしくみについて理解する。
6. 遺伝の法則と連鎖遺伝、組換え、伴性遺伝と遺伝子DNAについて理解する。
7. ヒトの感覚器（目、耳、鼻等）と刺激の受容について理解する。
8. 恒常性の維持の働きをしているホルモン系、神経系について理解する。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                |                                     |
|----------------|-------------------------------------|
| 1. 科学、科学の方法と細胞 | 帰納法、演繹法、生物科学、生物とは、細胞学の歴史と細胞の構造と機能   |
| 2. 細胞膜の性質と働き   | 半透性、浸透圧、受動輸送と能動輸送                   |
| 3. 細胞の増殖       | 細胞分裂と染色体、細胞周期、動物の組織、器官、個体           |
| 4. 生殖の方法       | 無性生殖、有性生殖、減数分裂と配偶子の形成と受精            |
| 5. 動物の発生       | 発生過程、原基分布図、形成体                      |
| 6. 発生と形態形成     | 中胚葉誘導、アクチビン、神経誘導、ES細胞、iPS細胞         |
| 7. 遺伝の法則       | メンデルの遺伝の法則、連鎖遺伝、組換えと染色体地図、モーガンの遺伝子説 |
| 8. 性と遺伝        | 性と性の決定、伴性遺伝                         |
| 9. 遺伝子とDNA     | 形質転換、形質導入                           |
| 10. DNAの構造     | DNAの構造、DNAの複製                       |
| 11. 神経と脳       | ニューロンと興奮の伝達・伝導、脳の働き                 |
| 12. 自律神経系      | 交感神経と副交感神経                          |
| 13. 内分泌系       | ホルモンの分泌と器官、血糖量の調節、体温の調節             |
| 14. 刺激と反応      | 目の構造と働き、耳の構造と働き、鼻の構造と働き             |

## 成績評価方法

出席、授業態度および試験、課題提出によって総合的に評価する。

## 教科書

スクエア最新図説生物 吉里勝利監修（第一学習社）  
大学生のための基礎シリーズ2 生物学入門 石川 統編（東京化学同人）

## 指定参考書

生物学と人間 赤坂甲治編（裳華房）

## 学生へのアドバイス

学習内容は、各時間にプリントと図説で示すので、その時間内に理解するよう努める。授業には必ず図説生物を持参すること。内容を充実するために、教科書、図説生物については、各自でよく読んで復習や補習をすること。

# 生物学Ⅱ

担当教員名 講師（非常勤）辻本 昭信

1年次 後期 必修 1単位

履修歴別A

クラス 1	科目コード	0051
クラス 2	科目コード	0051
クラス 3	科目コード	0051
クラス 4	科目コード	0051
クラス 5	科目コード	0051
クラス 6	科目コード	0051
クラス 7	科目コード	0051
クラス 8	科目コード	0051

## 一般目標 (GIO)

生物や生命現象についての基本的な概念や法則を深く理解し、自然に対する関心や探究する態度や能力を育てるとともに、最新の高度な生物学を理解する。

## 到達目標 (SBOs)

1. タンパク質の構造と働きについて理解する。
2. 酵素の働きによる代謝と呼吸のしくみについて理解する。
3. 光合成のしくみと植物ホルモンによる成長の調節について理解する。
4. 生体防御と免疫のしくみを理解する。
5. DNAの複製、遺伝情報とその発現の過程について理解する。
6. バイオテクノロジーとその利用について理解を深める。
7. 生態系や環境問題について理解を深める。
8. 生物の進化とそのしくみについて理解を深める。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                |                      |
|----------------|----------------------|
| 1. 生体を構成する物質   | タンパク質、核酸など           |
| 2. 酵素とそのはたらき   | 酵素、代謝、ATP            |
| 3. 呼吸とエネルギー    | ATPの产生、嫌気呼吸、好気呼吸     |
| 4. 光合成と植物の成長   | 光合成のしくみ、植物生理、植物ホルモン  |
| 5. 生体防御(1)     | 血液の凝固と炎症、自然免疫と獲得免疫   |
| 6. 生体防御(2)     | 体液性免疫、細胞性免疫、非自己物質の識別 |
| 7. DNAとその複製    | DNAの構造と複製            |
| 8. DNAのはたらき(1) | 遺伝情報、タンパク質の合成とRNA    |
| 9. DNAのはたらき(2) | ゲノム、遺伝子の調節、突然変異      |
| 10. バイオテクノロジー  | 遺伝子工学、DNA鑑定、遺伝子治療    |
| 11. 個体群の構造と成長  | 個体群、異種個体群の相互作用、植物の分布 |
| 12. 生態系とその平衡   | 生態系の構造、食物連鎖          |
| 13. 自然環境と生物    | 各種の環境問題、環境ホルモン       |
| 14. 生物の進化      | 進化のしくみ、分子進化          |

## 成績評価方法

出席および試験によって総合的に評価する。

## 教科書

スクエア最新図説生物 吉里勝利監修（第一学習社）  
大学生のための基礎シリーズ2 生物学入門 石川 統編（東京化学同人）

## 指定参考書

生物学と人間 赤坂甲治編（裳華房）

## 学生へのアドバイス

授業内容とその要点は、毎時間プリントを配付して示す。スライドと「図説生物」を使って説明するので、しっかりと聞いて理解すること。「生物学入門」は各自で読んで復習や補習をする。

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

# 生物学Ⅱ

履修歴別B

担当教員名 講師（非常勤）松本 弘

1年次 後期 必修 1単位

クラス 1	科目コード	0052
クラス 2	科目コード	0052
クラス 3	科目コード	0052
クラス 4	科目コード	0052
クラス 5	科目コード	0052
クラス 6	科目コード	0052
クラス 7	科目コード	0052
クラス 8	科目コード	0052

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

## 一般目標 (GIO)

生物や生命現象について学び、生物学的に探求する能力と態度を育てる。特に分子生物学や生態学などの基本的な概念や法則を理解し、最新生物学の成果や知見について理解する。

## 到達目標 (SBOs)

- 細胞の主成分であるタンパク質の構造とその働きについて理解する。
- 生体触媒である酵素の働きと性質を理解する。
- 同化（光合成）、異化の嫌気呼吸と好気呼吸のしくみを理解する。
- 生体防御の免疫のしくみを理解する。
- DNAの複製、遺伝子DNAの形質発現の過程を理解する。
- バイオテクノロジーとその利用について理解を深める。
- 生態系や環境問題について理解を深める。
- 個体群の生態学および生物の進化についての理解を深める。

## 授業内容 (項目・内容)

- |               |  |
|---------------|--|
| 1. 生体を構成する物質  | タンパク質、炭水化物、脂肪、核酸など   |
| 2. 酵素とその働き    | 酵素、代謝、ATP  |
| 3. 呼吸とエネルギー   | ATPの产生、嫌気呼吸、好気呼吸   |
| 4. 光合成と植物の成長  | 光合成のしくみ、光周性、春化処理、植物ホルモン  |
| 5. 生体防御       | 抗原と抗体、体液性免疫、細胞性免疫、アレルギー  |
| 6. 筋収縮        | 骨格筋の構造、筋収縮のしくみ   |
| 7. 遺伝子の働き（1）  | DNAの構造、DNAの複製  |
| 8. 遺伝子の働き（2）  | DNAからの形質発現（転写のしくみ、遺伝暗号）  |
| 9. 遺伝子の働き（3）  | 遺伝子作用の調節、突然変異  |
| 10. バイオテクノロジー | 遺伝子工学、組織培養、生長点培養、約培養、細胞融合、有用物質の大量培養、バイオリアクター、ES細胞・iPS細胞の利用、クローニング動物、3倍体魚など |
| 11. 個体群の構造と成長 | 個体群、個体群密度、同種個体群の作用、異種個体群の相互作用、生物の分布  |
| 12. 生態系とその構造  | 生態系の構造、食物連鎖  |
| 13. 自然環境と生物   | 地域の環境問題、世界の環境問題、環境ホルモン   |
| 14. 生物の進化     | 進化の証拠、進化のしくみ（進化論）  |

## 成績評価方法

出席、授業態度および試験、課題提出によって総合的に評価する。

## 教科書

スクエア最新図説生物 吉里勝利監修（第一学習社）  
大学生のための基礎シリーズ2 生物学入門 石川 統編（東京化学同人）

## 指定参考書

生物学と人間 赤坂甲治編（裳華房）

## 学生へのアドバイス

学習内容は、各時間にプリントと図説で示すので、その時間内に理解するよう努める。授業には必ず図説生物を持参すること。内容を充実するために、教科書、図説生物については、各自でよく読んで復習や補習をすること。

# 物理学 I

担当教員名 教授 西庄 重次郎

1年次 前期 必修 1単位

履修歴別A

クラス 1	科目コード	0061
クラス 2	科目コード	0061
クラス 3	科目コード	0061
クラス 4	科目コード	0061
クラス 5	科目コード	0061
クラス 6	科目コード	0061
クラス 7	科目コード	0061
クラス 8	科目コード	0061

## 一般目標 (GIO)

薬学を学ぶ上で必要な物理学の基礎力を身につけるために、物質および物体間の相互作用などに関する基礎的知識を修得する。

## 到達目標 (SBOs)

- 有効数字の概念を説明できる。
- 物理量の基本単位の定義と組立単位を説明できる。
- 物理量にはスカラー量とベクトル量があることを説明できる。
- 運動の法則について理解し、力、質量、加速度、仕事などの相互関係を説明できる。
- 直線運動、円運動、単振動などの運動を、数式を用いて説明できる。
- 慣性モーメントについて説明できる。
- 運動エネルギー、位置エネルギー、熱エネルギー、化学エネルギーなどの相互変化について例をあげて説明できる。
- 光、音、電磁波などの波の性質を理解し、反射、屈折、干渉などの特性を説明できる。

## 授業内容 (項目・内容)

1. 有効数字	誤差、有効数字の表し方、計算方法
2. 物理量の単位	基本単位、組立単位
3. スカラーとベクトル	スカラー量、ベクトル量、ベクトルの和、差、積
4. 速度、加速度	速さと速度、速度の変化と加速度、質量、微積分表示
5. 運動の法則、仕事	運動の第一、第二、第三法則、仕事
6. 力学的エネルギー	運動エネルギー、位置エネルギー、力学的エネルギー保存の法則
7. 運動量	運動量、力積、運動量保存の法則、力のモーメント、慣性モーメント
8. 円運動と単振動	等速円運動と加速度、向心力、慣性力、単振動の速度と加速度、振り子
9. 热エネルギー	絶対温度、物質の三態と温度、熱容量と比熱、熱の仕事当量
10. 気体の分子運動	気体の法則、分子運動と圧力、内部エネルギー、断熱変化、化学エネルギー、反応熱
11. 波の性質	横波、縦波、波の表し方、ホイヘンスの原理、反射、屈折、回折、干渉、位相
12. 音波	音の伝播、音の干渉、ドップラー効果
13. 光波	光の進み方、光の干渉と回折、偏光、スペクトル
14. 電磁波	光と電磁波、光子エネルギー、電磁波の性質

## 成績評価方法

試験、レポート、出席等による総合評価

## 教科書

基礎シリーズ 物理学入門 (楠川綱一ほか 実教出版)

## 指定参考書

併用参考教科書 薬学系のための基礎物理学 (大林康二ほか 共立出版)

## 学生へのアドバイス

講義に出席し、講義中に出された課題に積極的に取り組み、学力の向上に努めること。

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

# 物理学 I

履修歴別B

**担当教員名** 講師（非常勤）岡部 久高  
講師（非常勤）平田 允

1年次 前期 必修 1単位

クラス 1	科目コード	0062
クラス 2	科目コード	0062
クラス 3	科目コード	0062
クラス 4	科目コード	0062
クラス 5	科目コード	0062
クラス 6	科目コード	0062
クラス 7	科目コード	0062
クラス 8	科目コード	0062

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

## 一般目標 (GIO)

薬学を学ぶ上で必要な物理学の基礎力を身につけるために、物質および物体間の相互作用などに関する基本的知識を修得する。

## 到達目標 (SBOs)

- 有効数字の概念を説明できる。
- 物理量の基本単位の定義と組立単位を説明できる。
- 物理量にはスカラー量とベクトル量があることを説明できる。
- 運動の法則について理解し、力、質量、加速度、仕事などの相互関係を説明できる。
- 直線運動、円運動、単振動などの運動を、数式を用いて説明できる。
- 慣性モーメントについて説明できる。
- 運動エネルギー、位置エネルギー、熱エネルギー、化学エネルギーなどの相互変化について例をあげて説明できる。
- 光、音、電磁波などの波の性質を理解し、反射、屈折、干渉などの特性を説明できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |              |  |
|--------------|--|
| 1. 有効数字      | 誤差、有効数字の表し方、計算方法                       |
| 2. 物理量の単位    | 基本単位、組立単位                              |
| 3. スカラーとベクトル | スカラー量、ベクトル量、ベクトルの和、差、積                 |
| 4. 速度、加速度    | 速さと速度、速度の変化と加速度、質量、微積分表示               |
| 5. 運動の法則、仕事  | 運動の第一、第二、第三法則、仕事                       |
| 6. 力学的エネルギー  | 運動エネルギー、位置エネルギー、力学的エネルギー保存の法則          |
| 7. 運動量       | 運動量、力積、運動量保存の法則、力のモーメント、慣性モーメント        |
| 8. 円運動と単振動   | 等速円運動と加速度、向心力、慣性力、単振動の速度と加速度、振り子       |
| 9. 热エネルギー    | 絶対温度、物質の三態と温度、熱容量と比熱、熱の仕事当量            |
| 10. 気体の分子運動  | 気体の法則、分子運動と圧力、内部エネルギー、断熱変化、化学エネルギー、反応熱 |
| 11. 波の性質     | 横波、縦波、波の表し方、ホイヘンスの原理、反射、屈折、回折、干渉、位相    |
| 12. 音 波      | 音の伝播、音の干渉、ドップラー効果                      |
| 13. 光 波      | 光の進み方、光の干渉と回折、偏光、スペクトル                 |
| 14. 電磁波      | 光と電磁波、光子エネルギー、電磁波の性質                   |

## 成績評価方法

試験、レポート、出席、受講態度等による総合評価

## 教科書

基礎シリーズ 物理学入門（楠川絢一ほか 実教出版）

## 指定参考書

併用参考教科書 薬学系のための基礎物理学（大林康二ほか 共立出版）

## 学生へのアドバイス

非常勤のため、質問には講義終了時と講義日のオフィス・アワーでのみ対応します。

# 物理学Ⅱ

履修歴別A

クラス 1	科目コード	0071
クラス 2	科目コード	0071
クラス 3	科目コード	0071
クラス 4	科目コード	0071
クラス 5	科目コード	0071
クラス 6	科目コード	0071
クラス 7	科目コード	0071
クラス 8	科目コード	0071

担当教員名 教授 西庄 重次郎

1年次 前期 必修 1単位

## 一般目標 (GIO)

薬学を学ぶ上で必要な物理学の基礎力を身につけるために、物質および物体間の相互作用などに関する基礎的知識を修得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. レーザーの性質を概説し、代表的な応用例を列挙できる。
2. 電荷、電流、電圧、電力、オームの法則などを説明できる。
3. 抵抗とコンデンサーを含んだ回路の特性を説明できる。
4. 電界と磁界の相互関係を説明できる。
5. 電界や磁界の中における荷電粒子の運動を説明できる。
6. 原子軌道の概念、量子数の意味について概説できる。
7. 波動方程式について概説できる。
8. 不確定性原理について概説できる。

## 授業内容 (項目・内容)

1. レーザーの原理	光の吸収、誘導放出、光の増幅・発振
2. レーザーの性質	単色性、指向性、エネルギー密度、可干渉性、各種レーザー
3. 電 気	電荷、静電気力、クーロンの法則
4. 電界と電位、電圧	電界の向き、強さ、電気力線、電位差
5. 電気容量	コンデンサー、コンデンサーの接続、静電エネルギー
6. 電 流	荷電粒子の流れ、電流の向き、強さ
7. 電気抵抗	オームの法則、電力、半導体、ダイオード・トランジスタの働き
8. 直巡回路	抵抗接続、電気計器、コンデンサーを含む回路、キルヒホフの法則
9. 磁 界	磁極の強さ、磁界の向き・強さ、電流による磁界、右ねじの法則
10. 電流と磁界	フレミング左手の法則、磁束密度、荷電粒子と磁界、ローレンツ力
11. 電磁誘導	磁束、電磁誘導、レンツの法則、ファラデーの電磁誘導の法則、フレミング右手の法則、自己誘導、相互誘導
12. 交流回路	変圧器、実効値、交流とコイル・コンデンサー、共振周波数、振動回路
13. 光の粒子性	光電効果、X線、コンプトン効果、電子の波動性
14. 原子と原子核	線スペクトルと原子構造
15. 波動方程式	水素原子内の波動関数と量子数
16. 不確定性原理	粒子の位置と運動量の関係

## 成績評価方法

試験、レポート、出席等による総合評価

## 教科書

基礎シリーズ 物理学入門 (楠川絢一ほか 実教出版)

## 指定参考書

併用参考教科書 薬学系のための基礎物理学 (大林康二ほか 共立出版)

## 学生へのアドバイス

講義に出席し、講義中に出された課題に積極的に取り組み、学力の向上に努めること。

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

# 物理学Ⅱ

履修歴別B

**担当教員名** 講師（非常勤）岡部 久高  
講師（非常勤）平田 允

1年次 前期 必修 1単位

クラス 1	科目コード 0072
クラス 2	科目コード 0072
クラス 3	科目コード 0072
クラス 4	科目コード 0072
クラス 5	科目コード 0072
クラス 6	科目コード 0072
クラス 7	科目コード 0072
クラス 8	科目コード 0072

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

## 一般目標 (GIO)

薬学を学ぶ上で必要な物理学の基礎力を身につけるために、物質および物体間の相互作用などに関する基本的知識を修得する。

## 到達目標 (SBOs)

- レーザーの性質を概説し、代表的な応用例を列挙できる。
- 電荷、電流、電圧、電力、オームの法則などを説明できる。
- 抵抗とコンデンサーを含んだ回路の特性を説明できる。
- 電界と磁界の相互関係を説明できる。
- 電界や磁界の中における荷電粒子の運動を説明できる。
- 原子軌道の概念、量子数の意味について概説できる。
- 波動方程式について概説できる。
- 不確定性原理について概説できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |             |   |
|-------------|---|
| 1. レーザーの原理  | 光の吸収、誘導放出、光の増幅・発振                                 |
| 2. レーザーの性質  | 単色性、指向性、エネルギー密度、可干渉性、各種レーザー                       |
| 3. 電 気      | 電荷、静電気力、クーロンの法則                                   |
| 4. 電界と電位、電圧 | 電界の向き、強さ、電気力線、電位差                                 |
| 5. 電気容量     | コンデンサー、コンデンサーの接続、静電エネルギー                          |
| 6. 電 流      | 荷電粒子の流れ、電流の向き、強さ                                  |
| 7. 電気抵抗     | オームの法則、電力、半導体、ダイオード・トランジスタの働き                     |
| 8. 直流回路     | 抵抗接続、電気計器、コンデンサーを含む回路、キルヒホッフの法則                   |
| 9. 磁 界      | 磁極の強さ、磁界の向き・強さ、電流による磁界、右ねじの法則                     |
| 10. 電流と磁界   | フレミング左手の法則、磁束密度、荷電粒子と磁界、ローレンツ力                    |
| 11. 電磁誘導    | 磁束、電磁誘導、レンツの法則、ファラデーの電磁誘導の法則、フレミング右手の法則、自己誘導、相互誘導 |
| 12. 交流回路    | 変圧器、実効値、交流とコイル・コンデンサー、共振周波数、振動回路                  |
| 13. 光の粒子性   | 光電効果、X線、コンプトン効果、電子の波動性                            |
| 14. 原子と原子核  | 線スペクトルと原子構造                                       |
| 15. 波動方程式   | 水素原子内の波動関数と量子数                                    |
| 16. 不確定性原理  | 粒子の位置と運動量の関係                                      |

## 成績評価方法

試験、レポート、出席、受講態度等による総合評価

## 教科書

基礎シリーズ 物理学入門（楠川絢一ほか 実教出版）

## 指定参考書

併用参考教科書 薬学系のための基礎物理学（大林康二ほか 共立出版）

## 学生へのアドバイス

非常勤のため、質問には講義終了時と講義日のオフィス・アワーでのみ対応します。

# 基礎化学

## —物質の構造 1 —

**担当教員名** 教授 中山 尋量  
教授 津波古 充朝

1年次 前期 必修 1単位

クラス 1	科目コード	0080
クラス 2	科目コード	0080
クラス 3	科目コード	0080
クラス 4	科目コード	0080
クラス 5	科目コード	0080
クラス 6	科目コード	0080
クラス 7	科目コード	0080
クラス 8	科目コード	0080

### 一般目標 (GIO)

薬学を学ぶ上で必要な化学の基礎学力を身につけるために、原子の構成から分子の成り立ちなどに関する基本的知識と技能を修得する。

### 到達目標 (SBOs)

- 物質の基本的概念について説明できる。
- 分子の基本的性質について説明できる。
- 化学反応を定量的に探ることができます。
- 化学結合の成り立ちについて説明できる。

### 授業内容 (項目・内容)

- |                 |  |
|-----------------|--|
| 1. 物質の基本概念      | 原子、分子、イオンの基本的構造、原子量と分子量                |
| 2. 物質の基本概念      | 原子の電子配置、電子のスピンとパウリの排他律                 |
| 3. 物質の基本概念      | 周期表に基づく原子の諸性質（イオン化エネルギー、電子親和力、電気陰性度など） |
| 4. 物質の基本概念      | 同素体と同位体                                |
| 5. 化学結合と分子      | イオン結合、共有結合、配位結合                        |
| 6. 化学結合と分子      | 分子の分極および双極子モーメント                       |
| 7. 化学結合と分子      | 分子間およびイオン間相互作用と沸点、融点                   |
| 8. 化学結合と分子      | 代表的な結晶構造                               |
| 9. 化学反応を定量的に探る  | 溶液の濃度計算                                |
| 10. 化学反応を定量的に探る | 質量保存の法則                                |
| 11. 化学反応を定量的に探る | 代表的な化学反応の化学量論的な計算                      |
| 12. 化学反応を定量的に探る | 酸と塩基の基本的な性質および強弱の指標                    |
| 13. 化学反応を定量的に探る | 酸化と還元における電子の授受                         |
| 14. 化学結合        | 化学結合の成り立ちについて、軌道の混成                    |
| 15. 化学結合        | 分子軌道の基本的概念                             |
| 16. 化学結合        | 共役や共鳴の概念                               |

### 成績評価方法

定期試験 (100点)

### 教科書

- 「化学が見えてくる」(岩本他著) 三共出版  
 「薬科学大辞典」廣川書店  
 「物理化学演習」(三輪、青木) 京都廣川書店  
 スタンダード薬学シリーズ (日本薬学会編) 第2巻「物理系薬学I 物質の物理的性質」(東京化学同人)

### 指定参考書

- 「溶液の化学と濃度計算」(立屋敷 哲著) 丸善

### 学生へのアドバイス

高校で習った内容を忘れている場合は、もう一度高校の教科書も見直しておくこと。

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

# 基礎有機化学

担当教員名 教授 内藤 猛章

1年次 前期 必修 1単位

クラス 1	科目コード 0090
クラス 2	科目コード 0090
クラス 3	科目コード 0090
クラス 4	科目コード 0090
クラス 5	科目コード 0090
クラス 6	科目コード 0090
クラス 7	科目コード 0090
クラス 8	科目コード 0090

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

## 一般目標 (GIO)

薬学を学ぶ上で必要な有機化学の基礎力を身につけるために、高校で学んだ有機化学を再履修するとともに、電子の動きを矢印で表す手法を学び基礎有機化学を修得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 高校で学んだ官能基を概説できる。
2. 高校で学んだ有機化学反応を概説できる。
3. 電子の動きを示す矢印を用いて誘起効果や共鳴を説明できる。
4. 有機化合物の性質を電子の動きを示す矢印を用いて説明できる。
5. 官能基の反応性を電子の動きを示す矢印を用いて説明できる。
6. 有機反応における結合の開裂と生成を電子の動きを示す矢印を用いて説明できる。
7. 代表的な有機反応を電子の動きを示す矢印を用いて説明できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                 |                              |
|-----------------|------------------------------|
| 1. 化学結合         | 化学結合、オクテット則、ルイス構造            |
| 2. 簡単な分子の構造と性質  | 水、アンモニア、メタン、エチレン、アセチレンの構造と性質 |
| 3. 構造式の書き方      | 結合一線式、三次元(立体)構造              |
| 4. 誘起効果と共鳴      | 矢印と誘起効果および共鳴                 |
| 5. 誘起効果と共鳴      | 矢印と誘起効果および共鳴                 |
| 6. 酸と塩基         | 矢印による酸と塩基の説明                 |
| 7. 置換反応         | 脂肪族化合物の置換反応                  |
| 8. 付加反応         | 多重結合への付加、シン、アンチ付加            |
| 9. 脱離反応         | アンチ脱離、ザイツエフ則とホフマン則           |
| 10. カルボニル基の反応   | 立ち上がり、アセタール化など               |
| 11. カルボニル基の反応   | エステル化、アミド化など                 |
| 12. カルボニル基の反応   | アミン類との反応                     |
| 13. カルボニル基の反応   | アルドール反応、クライゼン縮合など            |
| 14. 転位反応        | ケトーエノール転位(互変異性)など            |
| 15. ニトロ化合物      | ニトロ化合物の構造と反応性                |
| 16. アルコールとフェノール | アルコール性およびフェノール性水酸基の構造と反応性    |
| 17. アミン         | 脂肪族および芳香族アミンの構造と反応性          |

## 成績評価方法

定期試験 (100点)

## 教科書

プリント、ブルース有機化学(第4版) 上・下(大船泰史ら訳、化学同人)

## 指定参考書

スタンダード薬学シリーズ3 化学系I 化学物質の性質と反応(東京化学同人)

大学生の有機化学(大野惇吉著、三共出版)

## 学生へのアドバイス

構造式を自分で書きながら、復習しよう。

# 情報リテラシー

クラス 1	科目コード 0101
クラス 2	科目コード 0102

担当教員名 準教授 木口 敏子

1年次 前期 必修 1単位

## 一般目標 (GIO)

情報の授受に効果的なコンピュータの利用法を理解し、必要なデータや情報を有効活用できるようになるために、インターネットを利用した情報の収集、開示、データベースの使用法、応用などに関する基本的知識、技能、態度を修得する。

## 到達目標 (SBOs)

- ネットワーク使用上のマナーを遵守する。(態度)
- インターネット、イントラネットの仕組みを概説できる。
- ワープロソフト、表計算ソフト、グラフィックソフト、プレゼンテーションソフトを用いることができる。(技能)
- ソフトウェア使用上のルール、マナーを守る。(態度)
- 電子メールの送信、受信、転送などができる。(技能)
- インターネットのブラウザ検索ソフトを用いて、ホームページを閲覧できる。(技能)

## 授業内容 (項目・内容)

- |                     |                              |
|---------------------|------------------------------|
| 1. コンピュータの基礎        | コンピュータの基礎・簡単な仕組み、基本操作        |
| 2. インターネットの基礎       | ネットワークの概念・仕組み                |
| 3. 情報倫理             | ネットワーク使用上のマナーとインターネットセキュリティー |
| 4. ブラウザ検索ソフト        | ホームページから必要な情報の収集             |
| 5. オペレーティングシステム     | オペレーティングシステムの種類・役割           |
| 6. ソフトウェア           | ソフトウェアの特徴・使用上のルール、マナー        |
| 7. 電子メール            | 電子メールの送信、受信、転送など             |
| 8. ワープロソフトの基礎       | ワープロソフトの基本的な仕組み、簡単な文書の作成     |
| 9. ワープロソフトの応用       | 図、表を含む文書の作成                  |
| 10. 表計算ソフトの基礎       | 表計算ソフトの基本的な仕組み、操作            |
| 11. 表計算ソフトの応用       | 簡単な計算への応用、グラフの作成など           |
| 12. グラフィックソフト       | 簡単な化学構造式の作成                  |
| 13. プrezentationソフト | プレゼンテーションソフトの基本、簡単な操作        |
| 14. 情報発信            | 与えられた課題に関する情報の発信             |

## 成績評価方法

- レポート (50点)
- 平常点 (50点) 配点内訳：出席と受講態度で評価する。  
(出席重視：無断欠席、無断遅刻は厳禁)

## 教科書

コ・メディカルのための情報リテラシー (ビスタ版) (佐藤憲一ほか 共立出版)

## 指定参考書

考える伝える分かちあう情報活用力 (noa出版)  
Word & Excel 2007 (noa出版)

## 学生へのアドバイス

演習時間以外にも機会をとらえて、コンピュータを利用し各ソフトに慣れること。

1  
年  
次  
生

2  
年  
次  
生

3  
年  
次  
生

4  
年  
次  
生

5  
年  
次  
生

6  
年  
次  
生

# 情報リテラシー

クラス 3	科目コード 0103
クラス 4	科目コード 0104

担当教員名 深教授 杉浦 真喜子

1年次 前期 必修 1単位

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

## 一般目標 (GIO)

情報の授受に効果的なコンピュータの利用法を理解し、必要なデータや情報を有効活用できるようになるために、インターネットを利用した情報の収集、開示、データベースの使用法、応用などに関する基本的知識、技能、態度を修得する。

## 到達目標 (SBOs)

- ネットワーク使用上のマナーを遵守する。(態度)
- インターネット、イントラネットの仕組みを概説できる。
- ワープロソフト、表計算ソフト、グラフィックソフト、プレゼンテーションソフトを用いることができる。(技能)
- ソフトウェア使用上のルール、マナーを守る。(態度)
- 電子メールの送信、受信、転送などができる。(技能)
- インターネットのブラウザ検索ソフトを用いて、ホームページを閲覧できる。(技能)

## 授業内容 (項目・内容)

- |                     |                              |
|---------------------|------------------------------|
| 1. コンピュータの基礎        | コンピュータの基礎・簡単な仕組み、基本操作        |
| 2. インターネットの基礎       | ネットワークの概念・仕組み                |
| 3. 情報倫理             | ネットワーク使用上のマナーとインターネットセキュリティー |
| 4. ブラウザ検索ソフト        | ホームページから必要な情報の収集             |
| 5. オペレーティングシステム     | オペレーティングシステムの種類・役割           |
| 6. ソフトウェア           | ソフトウェアの特徴・使用上のルール、マナー        |
| 7. 電子メール            | 電子メールの送信、受信、転送など             |
| 8. ワープロソフトの基礎       | ワープロソフトの基本的な仕組み、簡単な文書の作成     |
| 9. ワープロソフトの応用       | 図、表を含む文書の作成                  |
| 10. 表計算ソフトの基礎       | 表計算ソフトの基本的な仕組み、操作            |
| 11. 表計算ソフトの応用       | 簡単な計算への応用、グラフの作成など           |
| 12. グラフィックソフト       | 簡単な化学構造式の作成                  |
| 13. プrezentationソフト | プレゼンテーションソフトの基本、簡単な操作        |
| 14. 情報発信            | 与えられた課題に関する情報の発信             |

## 成績評価方法

- レポート (50点)
- 平常点 (50点) 配点内訳：出席と受講態度で評価する。  
(出席重視：無断欠席、無断遅刻は厳禁)

## 教科書

コ・メディカルのための情報リテラシー (ビスタ版) (佐藤憲一ほか 共立出版)

## 指定参考書

考える伝える分かちあう情報活用力 (noa出版)  
Word & Excel 2007 (noa出版)

## 学生へのアドバイス

演習時間以外にも機会をとらえて、コンピュータを利用し各ソフトに慣れること。

# 情報リテラシー

クラス 5	科目コード 0105
クラス 6	科目コード 0106

担当教員名 講師 寺岡 麗子

1年次 前期 必修 1単位

## 一般目標 (GIO)

情報の授受に効果的なコンピュータの利用法を理解し、必要なデータや情報を有効活用できるようになるために、インターネットを利用した情報の収集、開示、データベースの使用法、応用などに関する基本的知識、技能、態度を修得する。

## 到達目標 (SBOs)

- ネットワーク使用上のマナーを遵守する。(態度)
- インターネット、イントラネットの仕組みを概説できる。
- ワープロソフト、表計算ソフト、グラフィックソフト、プレゼンテーションソフトを用いることができる。(技能)
- ソフトウェア使用上のルール、マナーを守る。(態度)
- 電子メールの送信、受信、転送などができる。(技能)
- インターネットのブラウザ検索ソフトを用いて、ホームページを閲覧できる。(技能)

## 授業内容 (項目・内容)

- |                     |                              |
|---------------------|------------------------------|
| 1. コンピュータの基礎        | コンピュータの基礎・簡単な仕組み、基本操作        |
| 2. インターネットの基礎       | ネットワークの概念・仕組み                |
| 3. 情報倫理             | ネットワーク使用上のマナーとインターネットセキュリティー |
| 4. ブラウザ検索ソフト        | ホームページから必要な情報の収集             |
| 5. オペレーティングシステム     | オペレーティングシステムの種類・役割           |
| 6. ソフトウェア           | ソフトウェアの特徴・使用上のルール、マナー        |
| 7. 電子メール            | 電子メールの送信、受信、転送など             |
| 8. ワープロソフトの基礎       | ワープロソフトの基本的な仕組み、簡単な文書の作成     |
| 9. ワープロソフトの応用       | 図、表を含む文書の作成                  |
| 10. 表計算ソフトの基礎       | 表計算ソフトの基本的な仕組み、操作            |
| 11. 表計算ソフトの応用       | 簡単な計算への応用、グラフの作成など           |
| 12. グラフィックソフト       | 簡単な化学構造式の作成                  |
| 13. プrezentationソフト | プレゼンテーションソフトの基本、簡単な操作        |
| 14. 情報発信            | 与えられた課題に関する情報の発信             |

## 成績評価方法

- レポート (50点)
- 平常点 (50点) 配点内訳：出席と受講態度で評価する。  
(出席重視：無断欠席、無断遅刻は厳禁)

## 教科書

コ・メディカルのための情報リテラシー (ビスタ版) (佐藤憲一ほか 共立出版)

## 指定参考書

考える伝える分かちあう情報活用力 (noa出版)  
Word & Excel 2007 (noa出版)

## 学生へのアドバイス

演習時間以外にも機会をとらえて、コンピュータを利用し各ソフトに慣れること。

1  
年  
次  
生

2  
年  
次  
生

3  
年  
次  
生

4  
年  
次  
生

5  
年  
次  
生

6  
年  
次  
生

# 情報リテラシー

クラス 7	科目コード 0107
クラス 8	科目コード 0108

担当教員名 講師 上垣内 みよ子

1年次 前期 必修 1単位

1  
年  
次  
生

2  
年  
次  
生

3  
年  
次  
生

4  
年  
次  
生

5  
年  
次  
生

6  
年  
次  
生

## 一般目標 (GIO)

情報の授受に効果的なコンピュータの利用法を理解し、必要なデータや情報を有効活用できるようになるために、インターネットを利用した情報の収集、開示、データベースの使用法、応用などに関する基本的知識、技能、態度を修得する。

## 到達目標 (SBOs)

- ネットワーク使用上のマナーを遵守する。(態度)
- インターネット、イントラネットの仕組みを概説できる。
- ワープロソフト、表計算ソフト、グラフィックソフト、プレゼンテーションソフトを用いることができる。(技能)
- ソフトウェア使用上のルール、マナーを守る。(態度)
- 電子メールの送信、受信、転送などができる。(技能)
- インターネットのブラウザ検索ソフトを用いて、ホームページを閲覧できる。(技能)

## 授業内容 (項目・内容)

- |                     |                              |
|---------------------|------------------------------|
| 1. コンピュータの基礎        | コンピュータの基礎・簡単な仕組み、基本操作        |
| 2. インターネットの基礎       | ネットワークの概念・仕組み                |
| 3. 情報倫理             | ネットワーク使用上のマナーとインターネットセキュリティー |
| 4. ブラウザ検索ソフト        | ホームページから必要な情報の収集             |
| 5. オペレーティングシステム     | オペレーティングシステムの種類・役割           |
| 6. ソフトウェア           | ソフトウェアの特徴・使用上のルール、マナー        |
| 7. 電子メール            | 電子メールの送信、受信、転送など             |
| 8. ワープロソフトの基礎       | ワープロソフトの基本的な仕組み、簡単な文書の作成     |
| 9. ワープロソフトの応用       | 図、表を含む文書の作成                  |
| 10. 表計算ソフトの基礎       | 表計算ソフトの基本的な仕組み、操作            |
| 11. 表計算ソフトの応用       | 簡単な計算への応用、グラフの作成など           |
| 12. グラフィックソフト       | 簡単な化学構造式の作成                  |
| 13. プrezentationソフト | プレゼンテーションソフトの基本、簡単な操作        |
| 14. 情報発信            | 与えられた課題に関する情報の発信             |

## 成績評価方法

- レポート (50点)
- 平常点 (50点) 配点内訳：出席と受講態度で評価する。  
(出席重視：無断欠席、無断遅刻は厳禁)

## 教科書

コ・メディカルのための情報リテラシー (ビスタ版) (佐藤憲一ほか 共立出版)

## 指定参考書

考える伝える分かちあう情報活用力 (noa出版)  
Word & Excel 2007 (noa出版)

## 学生へのアドバイス

演習時間以外にも機会をとらえて、コンピュータを利用し各ソフトに慣れること。

# 教養リテラシーA

クラス	1	科目コード	0121
クラス	3	科目コード	0123

担当教員名 教授 春山 清純

1年次 前期 必修 1単位

## 一般目標 (GIO)

大学において、薬学領域および他の諸科学分野の幅広い知識を獲得し、他者とのコミュニケーションを通じてその能力を発展させるための基礎として、日本語運用能力、とりわけ読解力、表現力、文章力の涵養を目指す。また、それと合わせて、必要な情報、意思の伝達を行い、集団の意見を整理して発表できるようになるために、プレゼンテーションの基本的知識、技能、態度を習得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 他者に自分の意見を的確に伝え、他者の考えを正確に聞き取り、理解することができる。
2. まとめた内容の文章を読み、その主題を的確に把握し、要約することができる。
3. 自分の考えを適切な日本語の文章で書き表すことができる。
4. 正確に漢字の読み書きができる。
5. 課題に対する自分の意見を決められた時間内、字数で発表できる。
6. グループディスカッションで得られた意見を、統合して発表できる。
7. 質問に対して的確な応答ができる。
8. 他者のプレゼンテーションに対して、優れた点および改良点を指摘できる。
9. 効果的なプレゼンテーションを行なう工夫をする。

## 授業内容 (項目・内容)

- |            |   |
|------------|---|
| 1.ガイダンス    | 授業の概要と調査テーマ「異文化理解」の説明                           |
| 2.自己紹介     | 人前で話す訓練と調査のためのグループ分け                            |
| 3.短文要約I    | 個別に要約文を作成                                       |
| 4.短文要約II   | グループごとに要約文を作成し、提出                               |
| 5.漢字力調査    | 漢字検定問題を利用して漢字の読み方練習                             |
| 6.講評       | 要約文の講評と、文章の書き方の説明                               |
| 7.予備発表     | 各グループ5分以内で本報告の予告を行なう                            |
| 8.~13.調査報告 | 共通テーマ「異文化理解」の枠内で、グループごとにテーマを選び、調査研究した結果を発表し討論する |
| 14.まとめ     | 全体の講評   |

後半は演習形式の授業の入門として、グループ発表を行なう。テーマは「異文化理解」とする。今日、グローバル化の流れの中で、異文化理解の重要性は、ますます高まっている。一見、同質性が高いように見える社会に暮らしてきた私たち日本人にとっては、アメリカなどの多文化国家の人々より以上に、国内および国外にある他文化を理解することは、困難だが、ぜひ必要な課題である。グループごとに興味を持てそうなテーマを選び、この問題について考える。

## 成績評価方法

出席 (30点)、発表 (30点)、平常点 (40点)

## 教科書

特になし

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

質問や相談は隨時受け付けます。4号館2Fの人文科学第1研究室へ来てください。

1  
年  
次  
生

2  
年  
次  
生

3  
年  
次  
生

4  
年  
次  
生

5  
年  
次  
生

6  
年  
次  
生

# 教養リテラシーA

クラス 2	科目コード	0122
クラス 4	科目コード	0124

担当教員名 教授 畠 公也

1年次 前期 必修 1単位

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

## 一般目標 (GIO)

大学において、薬学領域および他の諸科学分野の幅広い知識を獲得し、他者とのコミュニケーションを通じてその能力を発展させるための基礎として、日本語運用能力、とりわけ読解力、表現力、文章力の涵養を目指す。また、それと合わせて、必要な情報、意思の伝達を行い、集団の意見を整理して発表できるようになるために、プレゼンテーションの基本的知識、技能、態度を習得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 他者に自分の意見を的確に伝え、他者の考えを正確に聞き取り、理解することができる。
2. まとめた内容の文章を読み、その主題を的確に把握し、要約することができる。
3. 自分の考えを適切な日本語の文章で書き表すことができる。
4. 正確に漢字の読み書きができる。
5. 課題に対する自分の意見を決められた時間内、字数で発表できる。
6. グループディスカッションで得られた意見を、統合して発表できる。
7. 質問に対して的確な応答ができる。
8. 他者のプレゼンテーションに対して、優れた点および改良点を指摘できる。
9. 効果的なプレゼンテーションを行う工夫をする。

## 授業内容 (項目・内容)

- |             |  |
|-------------|--|
| 1. ガイダンス    | 授業の概要と調査テーマ「異文化理解」の説明                        |
| 2. 自己紹介     | 人前で話す訓練と調査のためのグループ分け                         |
| 3. 短文要約 I   | 個別に要約文を作成しグループ内で討議                           |
| 4. 短文要約 II  | グループごとに要約文を作成し、全員で討議                         |
| 5. 講評       | 要約文の講評と文章の書き方の説明                             |
| 6. 漢字力調査    | 間違いややすい漢字の読み書き練習                             |
| 7. 予備発表     | 各グループの発表テーマについて事前に説明                         |
| 8.~14. 調査報告 | 共通テーマ「異文化理解」の枠内で、グループごとにテーマを選び、調査研究した結果を発表する |

後半は演習形式の授業の入門として、グループ発表を行う。テーマは「異文化理解」とする。今日、グローバル化の流れの中で、異文化理解の重要性は、ますます高まっている。ところが、四方を海に囲まれて、ほとんど単一民族国家と言ってよい同質的社会に暮らしてきた私たち日本人にとっては、アメリカなどの多文化国家の人々より以上に、他文化理解は困難な課題である。グループごとに興味を持てそうなテーマを選び、この問題について考える。

## 成績評価方法

出席 (30点)、発表 (30点)、平常点 (40点)

## 教科書

特になし

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

オフィスアワー：月、水、木の昼休み。それ以外でも在室時はいつでも相談、質問に応じます。  
メールも可：k-hata@kobepharma-u.ac.jp

# 教養リテラシーB

クラス 5	科目コード 0141
クラス 7	科目コード 0143

担当教員名 教授 春山 清純

1年次 後期 必修 1単位

## 一般目標 (GIO)

大学において、薬学領域および他の諸科学分野の幅広い知識を獲得し、他者とのコミュニケーションを通じてその能力を発展させるための基礎として、日本語運用能力、とりわけ読解力、表現力、文章力の涵養を目指す。また、それと合わせて、必要な情報、意思の伝達を行い、集団の意見を整理して発表できるようになるために、プレゼンテーションの基本的知識、技能、態度を習得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 他者に自分の意見を的確に伝え、他者の考えを正確に聞き取り、理解することができる。
2. まとめた内容の文章を読み、その主題を的確に把握し、要約することができる。
3. 自分の考えを適切な日本語の文章で書き表すことができる。
4. 正確に漢字の読み書きができる。
5. 課題に対する自分の意見を決められた時間内、字数で発表できる。
6. グループディスカッションで得られた意見を、統合して発表できる。
7. 質問に対して的確な応答ができる。
8. 他者のプレゼンテーションに対して、優れた点および改良点を指摘できる。
9. 効果的なプレゼンテーションを行なう工夫をする。

## 授業内容 (項目・内容)

- |              |   |
|--------------|---|
| 1. ガイダンス     | 授業の概要と調査テーマ「異文化理解」の説明                           |
| 2. 自己紹介      | 人前で話す訓練と調査のためのグループ分け                            |
| 3. 短文要約 I    | 個別に要約文を作成                                       |
| 4. 短文要約 II   | グループごとに要約文を作成し、提出                               |
| 5. 漢字力調査     | 漢字検定問題を利用して漢字の読み方練習                             |
| 6. 講評        | 要約文の講評と、文章の書き方の説明                               |
| 7. 予備発表      | 各グループ5分以内で本報告の予告を行なう                            |
| 8. ~13. 調査報告 | 共通テーマ「異文化理解」の枠内で、グループごとにテーマを選び、調査研究した結果を発表し討論する |
| 14. まとめ      | 全体の講評   |

後半は演習形式の授業の入門として、グループ発表を行なう。テーマは「異文化理解」とする。今日、グローバル化の流れの中で、異文化理解の重要性は、ますます高まっている。一見、同質性が高いように見える社会に暮らしてきた私たち日本人にとっては、アメリカなどの多文化国家の人々より以上に、国内および国外にある他文化を理解することは、困難だが、ぜひ必要な課題である。グループごとに興味を持てそうなテーマを選び、この問題について考える。

## 成績評価方法

出席 (30点)、発表 (30点)、平常点 (40点)

## 教科書

特になし

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

質問や相談は隨時受け付けます。4号館2Fの人文科学第1研究室へ来てください。

1  
年  
次  
生

2  
年  
次  
生

3  
年  
次  
生

4  
年  
次  
生

5  
年  
次  
生

6  
年  
次  
生

# 教養リテラシーB

クラス 6	科目コード 0142
クラス 8	科目コード 0144

担当教員名 教授 畑 公也

1年次 後期 必修 1単位

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

## 一般目標 (GIO)

大学において、薬学領域および他の諸科学分野の幅広い知識を獲得し、他者とのコミュニケーションを通じてその能力を発展させるための基礎として、日本語運用能力、とりわけ読解力、表現力、文章力の涵養を目指す。また、それと合わせて、必要な情報、意思の伝達を行い、集団の意見を整理して発表できるようになるために、プレゼンテーションの基本的知識、技能、態度を習得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 他者に自分の意見を的確に伝え、他者の考えを正確に聞き取り、理解することができる。
2. まとめた内容の文章を読み、その主題を的確に把握し、要約することができる。
3. 自分の考えを適切な日本語の文章で書き表すことができる。
4. 正確に漢字の読み書きができる。
5. 課題に対する自分の意見を決められた時間内、字数で発表できる。
6. グループディスカッションで得られた意見を、統合して発表できる。
7. 質問に対して的確な応答ができる。
8. 他者のプレゼンテーションに対して、優れた点および改良点を指摘できる。
9. 効果的なプレゼンテーションを行う工夫をする。

## 授業内容 (項目・内容)

- |              |  |
|--------------|--|
| 1. ガイダンス     | 授業の概要と調査テーマ「異文化理解」の説明                        |
| 2. 自己紹介      | 人前で話す訓練と調査のためのグループ分け                         |
| 3. 短文要約 I    | 個別に要約文を作成しグループ内で討議                           |
| 4. 短文要約 II   | グループごとに要約文を作成し、全員で討議                         |
| 5. 講評        | 要約文の講評と文章の書き方の説明                             |
| 6. 漢字力調査     | 間違いややすい漢字の読み書き練習                             |
| 7. 予備発表      | 各グループの発表テーマについて事前に説明                         |
| 8. ~14. 調査報告 | 共通テーマ「異文化理解」の枠内で、グループごとにテーマを選び、調査研究した結果を発表する |

後半は演習形式の授業の入門として、グループ発表を行う。テーマは「異文化理解」とする。今日、グローバル化の流れの中で、異文化理解の重要性は、ますます高まっている。ところが、四方を海に囲まれて、ほとんど単一民族国家と言ってよい同質的社会に暮らしてきた私たち日本人にとっては、アメリカなどの多文化国家の人々より以上に、他文化理解は困難な課題である。グループごとに興味を持てそうなテーマを選び、この問題について考える。

## 成績評価方法

出席 (30点)、発表 (30点)、平常点 (40点)

## 教科書

特になし

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

オフィスアワー：月、水、木の昼休み。それ以外でも在室時はいつでも相談、質問に応じます。  
メールも可：k-hata@kobepharma-u.ac.jp

# 英語 I

習熟度別A

担当教員名 講師（非常勤）相本 資子

1年次 前期 必修 1単位

クラス 1	科目コード	0311
クラス 2	科目コード	0311
クラス 3	科目コード	0311
クラス 4	科目コード	0311
クラス 5	科目コード	0311
クラス 6	科目コード	0311
クラス 7	科目コード	0311
クラス 8	科目コード	0311

**一般目標 (GIO)**

厳選された基本的で重要な文法項目の復習を通して、英語の「文構造」（文型と構文）の総合的理解を強化し、上級学年の英語や薬学英語を学習するための基本的な言語知識と技能の確実な習得を目指す。

**到達目標 (SBOs)**

1. 文型を正確に識別し、その特徴を文法的に説明できる。
2. 文中における各品詞の文法的役割を説明できる。
3. 様々な構文を文法的に正しく分析し、その意味を説明できる。
4. 学習した「文構造」を応用して、日本文を文法にかなった英文に直すことができる。
5. 日本語には存在しない品詞（前置詞や冠詞など）の意味と用法を説明できる。
6. 英語独自の文法範疇（仮定法など）に含まれる形式を識別し、その表現意図（意味）を説明できる。

**授業内容（項目・内容）**

- |                 |                             |
|-----------------|-----------------------------|
| 1. 分属テスト        |                             |
| 2. 英文の基本構造      | 主部と述部、句と節、文の分類              |
| 3. 基本文型         | 第1文型～第5文型の特徴                |
| 4. 時間表現（I）      | 時間関係を表現するための時制とその種類         |
| 5. 時間表現（II）     | 動作の未完了、完了を表現するための形式：進行形と完了形 |
| 6. 能動・受動表現      | 能動表現、受動表現の形式と用法             |
| 7. 理解度確認小テスト    |                             |
| 8. 名詞表現         | 文中における名詞の役割と冠詞の用法           |
| 9. 準動詞の形式（I）    | 不定詞の用法                      |
| 10. 準動詞の形式（II）  | 分詞の用法                       |
| 11. 準動詞の形式（III） | 動名詞の用法                      |
| 12. 準動詞のまとめ     | 準動詞の注意すべき用法（使役構文など）         |
| 13. 修飾表現（I）     | 形容詞の用法                      |
| 14. 理解度確認小テスト   |                             |

**成績評価方法**

1.定期試験（80点）、2.平常点（20点）配点内訳：出席、小テスト、受講態度

**教科書**

Learn More Grammar (三修社)

**指定参考書**

特になし

**学生へのアドバイス**

予習・復習をしっかり行い出席を継続すること。質問は講義時間の前後で対応する。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

# 英語 I

習熟度別B

担当教員名 講師 赤井 朋子

1年次 前期 必修 1単位

クラス	1	科目コード	0312
クラス	2	科目コード	0312
クラス	3	科目コード	0312
クラス	4	科目コード	0312
クラス	5	科目コード	0312
クラス	6	科目コード	0312
クラス	7	科目コード	0312
クラス	8	科目コード	0312

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

**一般目標 (GIO)**

厳選された基本的で重要な文法項目の復習を通して、英語の「文構造」(文型と構文)の総合的理解を強化し、上級学年の英語や薬学英語を学習するための基本的な言語知識と技能の確実な習得を目指す。

**到達目標 (SBOs)**

1. 5文型を正確に識別し、その特徴を文法的に説明できる。
2. 文中における各品詞の文法的役割を説明できる。
3. 様々な構文を文法的に正しく分析し、その意味を説明できる。
4. 学習した「文構造」を応用して、日本文を文法にかなった英文に直すことができる。
5. 日本語には存在しない品詞(前置詞や冠詞など)の意味と用法を説明できる。
6. 英語独自の文法範疇(仮定法など)に含まれる形式を識別し、その表現意図(意味)を説明できる。

**授業内容 (項目・内容)**

- |                 |                             |
|-----------------|-----------------------------|
| 1. 分属テスト        |                             |
| 2. 英文の基本構造      | 主部と述部、句と節、文の分類              |
| 3. 基本文型         | 第1文型～第5文型の特徴                |
| 4. 時間表現(I)      | 時間関係を表現するための時制とその種類         |
| 5. 時間表現(II)     | 動作の未完了、完了を表現するための形式:進行形と完了形 |
| 6. 能動・受動表現      | 能動表現、受動表現の形式と用法             |
| 7. 理解度確認小テスト    |                             |
| 8. 名詞表現         | 文中における名詞の役割と冠詞の用法           |
| 9. 準動詞の形式(I)    | 不定詞の用法                      |
| 10. 準動詞の形式(II)  | 分詞の用法                       |
| 11. 準動詞の形式(III) | 動名詞の用法                      |
| 12. 準動詞のまとめ     | 準動詞の注意すべき用法(使役構文など)         |
| 13. 修飾表現(I)     | 形容詞の用法                      |
| 14. 理解度確認小テスト   |                             |

**成績評価方法**

1.定期試験(80点)、2.平常点(20点) 配点内訳:出席、小テスト、受講態度

**教科書**

Learn More Grammar (三修社)

**指定参考書**

特になし

**学生へのアドバイス**

予習・復習をしっかり行い出席を継続すること。質問は講義時間の前後で対応する。

# 英語 I

習熟度別C

担当教員名 教授 田中 研治

1年次 前期 必修 1単位

クラス 1	科目コード	0313
クラス 2	科目コード	0313
クラス 3	科目コード	0313
クラス 4	科目コード	0313
クラス 5	科目コード	0313
クラス 6	科目コード	0313
クラス 7	科目コード	0313
クラス 8	科目コード	0313

**一般目標 (GIO)**

厳選された基本的で重要な文法項目の復習を通して、英語の「文構造」(文型と構文)の総合的理解を強化し、上級学年の英語や薬学英語を学習するための基本的な言語知識と技能の確実な習得を目指す。

**到達目標 (SBOs)**

1. 文型を正確に識別し、その特徴を文法的に説明できる。
2. 文中における各品詞の文法的役割を説明できる。
3. 様々な構文を文法的に正しく分析し、その意味を説明できる。
4. 学習した「文構造」を応用して、日本文を文法にかなった英文に直すことができる。
5. 日本語には存在しない品詞（前置詞や冠詞など）の意味と用法を説明できる。
6. 英語独自の文法範疇（仮定法など）に含まれる形式を識別し、その表現意図（意味）を説明できる。

**授業内容 (項目・内容)**

- |                 |                             |
|-----------------|-----------------------------|
| 1. 分属テスト        |                             |
| 2. 英文の基本構造      | 主部と述部、句と節、文の分類              |
| 3. 基本文型         | 第1文型～第5文型の特徴                |
| 4. 時間表現（I）      | 時間関係を表現するための時制とその種類         |
| 5. 時間表現（II）     | 動作の未完了、完了を表現するための形式:進行形と完了形 |
| 6. 能動・受動表現      | 能動表現、受動表現の形式と用法             |
| 7. 理解度確認小テスト    |                             |
| 8. 名詞表現         | 文中における名詞の役割と冠詞の用法           |
| 9. 準動詞の形式（I）    | 不定詞の用法                      |
| 10. 準動詞の形式（II）  | 分詞の用法                       |
| 11. 準動詞の形式（III） | 動名詞の用法                      |
| 12. 準動詞のまとめ     | 準動詞の注意すべき用法（使役構文など）         |
| 13. 修飾表現（I）     | 形容詞の用法                      |
| 14. 理解度確認小テスト   |                             |

**成績評価方法**

1.定期試験（80点）、2.平常点（20点）配点内訳：出席、小テスト、受講態度

**教科書**

Learn More Grammar (三修社)

**指定参考書**

特になし

**学生へのアドバイス**

予習・復習をしっかり行い出席を継続すること。質問は講義時間の前後で対応する。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

# 英語II

クラス	1	科目コード	0321
クラス	5	科目コード	0325

担当教員名 講師（非常勤）大深 悅子

1年次 前期 必修 1単位

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

## 一般目標 (GIO)

比較的長い英文の速読、速解には文章を読むための技術が必要である。英文の基本は文章表現の首尾一貫性を維持するためのパラグラフであり、その多様な論理的展開を追体験しながら効果的に確実な英語読解力を養成する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 読解の対象となる英文の大意を迅速に把握し、それを口頭で説明したり、文章で表現できる。
2. パラグラフにおける主題や主題文を指摘できる。
3. パラグラフ内の、あるいはパラグラフ間の論理的展開を示す標識語句とその意味を説明できる。
4. 読解の対象となる英文の文法構造を把握し、意味を正確に理解できる。
5. パラグラフごとに筆者の主張点を読み取り、読み手としての主体的な考え方や意識を明確化できる。
6. パラグラフ構成の特徴を把握し、その展開を図や言葉で説明できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |              |                              |
|--------------|------------------------------|
| 1. オリエンテーション | 授業内容・評価方法などの説明とパラグラフについての概説  |
| 2. Unit 1    | Skimming                     |
| 3. Unit 2    | Scanning                     |
| 4. Unit 3-1  | Careful reading (1)          |
| 5. Unit 3-2  | Careful reading (2)          |
| 6. Unit 4-1  | Critical reading (1)         |
| 7. Unit 4-2  | Critical reading (2)         |
| 8. Unit 5-1  | Reference (1)                |
| 9. Unit 5-2  | Reference (2)                |
| 10. Unit 6-1 | Identifying propositions (1) |
| 11. Unit 6-2 | Identifying propositions (2) |
| 12. Unit 7-1 | Links (1)                    |
| 13. Unit 7-2 | Links (2)                    |
| 14. まとめ      |                              |

## 成績評価方法

- 1.出席、2.定期試験、3.平常点、4.小テストによって総合的に評価する。

## 教科書

Ways into Reading (Macmillan Languagehouse)

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

非常勤のため、質問は、E-mailで行うか、講義時間の前後、あるいは予約にて対応する。

# 英語Ⅱ

クラス 2	科目コード 0322
クラス 6	科目コード 0326

担当教員名 講師（非常勤）相本 資子

1年次 前期 必修 1単位

## 一般目標 (GIO)

比較的長い英文の速読、速解には文章を読むための技術が必要である。英文の基本は文章表現の首尾一貫性を維持するためのパラグラフであり、その多様な論理的展開を追体験しながら効果的に確実な英語読解力を養成する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 読解の対象となる英文の大意を把握し口頭で説明したり、文章で表現できる。
2. パラグラフにおける主題や主題文を指摘できる。
3. パラグラフ内の、あるいはパラグラフ間の論理的展開を示す標識語句とその意味を説明できる。
4. 読解の対象となる文章全体、あるいはパラグラフの細部情報を適切に自分の言葉で説明できる。
5. パラグラフごとに筆者の主張点を読み取り、読み手としての主体的な考え方や意識を明確化できる。
6. パラグラフ構成の特徴(例示、分類、時間的順序、空間的配列、比較対照、など)を把握し、その展開を図や言葉で説明できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |            |  |
|------------|--|
| 1. 導入      | 授業内容や評価方法の説明                                 |
| 2. Unit 1  | New words/ Reading comprehension             |
| 3. Unit 1  | Reading strategies questions/ Guided summary |
| 4. Unit 2  | New words/ Reading comprehension             |
| 5. Unit 2  | Reading strategies questions/ Guided summary |
| 6. Unit 3  | New words/ Reading comprehension             |
| 7. Unit 3  | Reading strategies questions/ Guided summary |
| 8. Unit 4  | New words/ Reading comprehension             |
| 9. Unit 4  | Reading strategies questions/ Guided summary |
| 10. Unit 5 | New words/ Reading comprehension             |
| 11. Unit 5 | Reading strategies questions/ Guided summary |
| 12. Unit 6 | New words/ Reading comprehension             |
| 13. Unit 6 | Reading strategies questions/ Guided summary |
| 14. まとめ    |  |

## 成績評価方法

1.出席、2.定期試験、3.平常点、4.クイズによって総合的に評価する。

## 教科書

*The Powerful Reader Second Edition* (Macmillan)  
(必要に応じてプリント配付)

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

授業中の作業が大切になるので、予習、出席はもちろんのこと、傾聴し真剣に問題に取り組むこと。できるだけ多く英語に触れてほしい。質問は講義の前後で対応する。

1  
年  
次  
生

2  
年  
次  
生

3  
年  
次  
生

4  
年  
次  
生

5  
年  
次  
生

6  
年  
次  
生

## 英語Ⅱ

クラス	3	科目コード	0323
クラス	7	科目コード	0327

担当教員名 講師（非常勤）野依 昭子

1年次 前期 必修 1単位

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

### 一般目標 (GIO)

比較的長い英文の速読、速解には文章を読むための技術が必要である。英文の基本は文章表現の首尾一貫性を維持するためのパラグラフであり、その多様な論理的展開を追体験しながら効果的に確実な英語読解力を養成する。

### 到達目標 (SBOs)

1. 読解の対象となる英文の大意を把握し口頭で説明したり、文章で表現できる。
2. パラグラフにおける主題や主題文を指摘できる。
3. パラグラフ内の、あるいはパラグラフ間の論理的展開を示す標識語句とその意味を説明できる。
4. 読解の対象となる文章全体、あるいはパラグラフの細部情報を適切に自分の言葉で説明できる。
5. パラグラフごとに筆者の主張点を読み取り、読み手としての主体的な考え方や意識を明確化できる。
6. パラグラフ構成の特徴(例示、分類、時間的順序、空間的配列、比較対照など)を把握し、その展開を図や言葉で説明できる。

### 授業内容 (項目・内容)

- |                                  |                     |
|----------------------------------|---------------------|
| 1. 授業の方針と説明                      | パラグラフ全体の通読および内容理解   |
| 2. University Life Style         | 各パラグラフの要約および全体の問題提議 |
| 3. 同上                            | パラグラフ全体の通読および内容理解   |
| 4. Career Choices                | 各パラグラフの要約および全体の問題提議 |
| 5. 同上                            | パラグラフ全体の通読および内容理解   |
| 6. Telecommuting                 | 各パラグラフの要約および全体の問題提議 |
| 7. 同上                            | パラグラフ全体の通読および内容理解   |
| 8. Slow Food                     | 各パラグラフの要約および全体の問題提議 |
| 9. 同上                            | パラグラフ全体の通読および内容理解   |
| 10. The Lost Art of Conversation | 各パラグラフの要約および全体の問題提議 |
| 11. 同上                           | パラグラフ全体の通読および内容理解   |
| 12. Love in the Virtual World    | 各パラグラフの要約および全体の問題提議 |
| 13. 同上                           | パラグラフ全体の通読および内容理解   |
| 14. 授業のまとめ                       | 各パラグラフの要約および全体の問題提議 |

### 成績評価方法

- 1.出席、2.定期試験、3.平常点によって総合的に評価する。

### 教科書

World in Motion (金星堂)  
(必要に応じてプリント配付およびビデオ鑑賞)

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

- ・ひんぱんに辞書を引いて判らない単語の意味を調べること。
- ・予習、復習の際、テキストを黙読するだけでなく、努めて音読もすること。

# 英語II

クラス	4	科目コード	0324
クラス	8	科目コード	0328

担当教員名 講師（非常勤）田中 実

1年次 前期 必修 1単位

### 一般目標 (GIO)

Listeningの後、One Paragraph毎に読解し、大意をつかんだ後、全Paragraphで意図されている内容把握に努め、Paragraph感覚を養う。

### 到達目標 (SBOs)

1. 英文全体を聞くことができる。
2. Paragraph毎の英文を聞いて、中身が理解できる。
3. Paragraph毎の英文を一文一文、正確に読解できる。
4. Paragraph毎の大意を把握できる。
5. 理解度の確認のための練習問題を解くことができる。
6. さまざまな練習問題をこなすことができる。

### 授業内容 (項目・内容)

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 1.はじめに              | 大学で英語を学ぶとは        |
| 2. Chapter I (1)    | Listening→Reading |
| 3. Chapter I (2)    | Listening→Reading |
| 4. Chapter I (3)    | Reading→Exercises |
| 5. Chapter II (1)   | Listening→Reading |
| 6. Chapter II (2)   | Listening→Reading |
| 7. Chapter II (3)   | Reading→Exercises |
| 8. Chapter III (1)  | Listening→Reading |
| 9. Chapter III (2)  | Listening→Reading |
| 10. Chapter III (3) | Reading→Exercises |
| 11. Chapter IV (1)  | Listening→Reading |
| 12. Chapter IV (2)  | Listening→Reading |
| 13. Chapter IV (3)  | Reading→Exercises |
| 14. おわりに            | 総まとめ              |

### 成績評価方法

定期試験、出席状況、平常点により総合的に評価する。

### 教科書

Intermediate Select Readings (Oxford Univ. Press)

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

予習・復習をし、毎回出席すること。

1  
年  
次  
生

2  
年  
次  
生

3  
年  
次  
生

4  
年  
次  
生

5  
年  
次  
生

6  
年  
次  
生

# 英語III

習熟度別A

担当教員名 講師（非常勤）相本 賀子

1年次 後期 必修 1単位

クラス	1	科目コード	0331
クラス	2	科目コード	0331
クラス	3	科目コード	0331
クラス	4	科目コード	0331
クラス	5	科目コード	0331
クラス	6	科目コード	0331
クラス	7	科目コード	0331
クラス	8	科目コード	0331

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

**一般目標 (GIO)**

厳選された基本的で重要な文法項目の復習を通して、英語の「文構造」（文型と構文）の総合的理解を強化し、上級学年の英語や薬学英語を学習するための基本的な言語知識と技能の確実な習得を目指す。

**到達目標 (SBOs)**

1. 5文型を正確に識別し、その特徴を文法的に説明できる。
2. 文中における各品詞の文法的役割を説明できる。
3. 様々な構文を文法的に正しく分析し、その意味を説明できる。
4. 学習した「文構造」を応用して、日本文を文法にかなった英文に直すことができる。
5. 日本語には存在しない品詞（前置詞や冠詞など）の意味と用法を説明できる。
6. 英語独自の文法範疇（仮定法など）に含まれる形式を識別し、その表現意図（意味）を説明できる。

**授業内容（項目・内容）**

- |                  |                        |
|------------------|------------------------|
| 1. 修飾表現（II）      | 副詞の用法                  |
| 2. 修飾表現（III）     | 関係詞の基本的用法              |
| 3. 修飾表現（IV）      | 関係詞の注意すべき用法(1)         |
| 4. 修飾表現（V）       | 関係詞の注意すべき用法(2)         |
| 5. 程度の表現         | 形容詞、副詞による比較表現とその用法     |
| 6. 理解度確認小テスト     |                        |
| 7. 主觀を反映する表現（I）  | 法助動詞の用法                |
| 8. 主觀を反映する表現（II） | 仮定法の用法(1)              |
| 9. 主觀を反映する表現（II） | 仮定法の用法(2)              |
| 10. 空間と時間を表す前置詞  | 場所と時間の前置詞の用法           |
| 11. 様々な関係を表す前置詞  | 原因、理由、目的、手段などを表す前置詞の用法 |
| 12. 文の連結と接続詞     | 等位接続詞と從位接続詞の用法         |
| 13. 否定表現と省略表現    | 全体否定、部分否定と代用・省略表現      |
| 14. 理解度確認小テスト    |                        |

**成績評価方法**

1.定期試験（80点）、2.平常点（20点）配点内訳：出席、小テスト、受講態度

**教科書**

Learn More Grammar (三修社)

**指定参考書**

特になし

**学生へのアドバイス**

予習・復習をしっかり行い、出席を継続すること。質問は講義時間の前後で対応する。

# 英語III

習熟度別B

担当教員名 講師 赤井 朋子

1年次 後期 必修 1単位

クラス 1	科目コード	0332
クラス 2	科目コード	0332
クラス 3	科目コード	0332
クラス 4	科目コード	0332
クラス 5	科目コード	0332
クラス 6	科目コード	0332
クラス 7	科目コード	0332
クラス 8	科目コード	0332

**一般目標 (GIO)**

厳選された基本的で重要な文法項目の復習を通して、英語の「文構造」(文型と構文)の総合的理解を強化し、上級学年の英語や薬学英語を学習するための基本的な言語知識と技能の確実な習得を目指す。

**到達目標 (SBOs)**

1. 文型を正確に識別し、その特徴を文法的に説明できる。
2. 文中における各品詞の文法的役割を説明できる。
3. 様々な構文を文法的に正しく分析し、その意味を説明できる。
4. 学習した「文構造」を応用して、日本文を文法にかなった英文に直すことができる。
5. 日本語には存在しない品詞（前置詞や冠詞など）の意味と用法を説明できる。
6. 英語独自の文法範疇（仮定法など）に含まれる形式を識別し、その表現意図（意味）を説明できる。

**授業内容 (項目・内容)**

- |                   |                        |
|-------------------|------------------------|
| 1. 修飾表現 (II)      | 副詞の用法                  |
| 2. 修飾表現 (III)     | 関係詞の基本的用法              |
| 3. 修飾表現 (IV)      | 関係詞の注意すべき用法(1)         |
| 4. 修飾表現 (V)       | 関係詞の注意すべき用法(2)         |
| 5. 程度の表現          | 形容詞、副詞による比較表現とその用法     |
| 6. 理解度確認小テスト      |                        |
| 7. 主觀を反映する表現 (I)  | 法助動詞の用法                |
| 8. 主觀を反映する表現 (II) | 仮定法の用法(1)              |
| 9. 主觀を反映する表現 (II) | 仮定法の用法(2)              |
| 10. 空間と時間を表す前置詞   | 場所と時間の前置詞の用法           |
| 11. 様々な関係を表す前置詞   | 原因、理由、目的、手段などを表す前置詞の用法 |
| 12. 文の連結と接続詞      | 等位接続詞と從位接続詞の用法         |
| 13. 否定表現と省略表現     | 全体否定、部分否定と代用・省略表現      |
| 14. 理解度確認小テスト     |                        |

**成績評価方法**

1.定期試験 (80点)、2.平常点 (20点) 配点内訳：出席、小テスト、受講態度

**教科書**

Learn More Grammar (三修社)

**指定参考書**

特になし

**学生へのアドバイス**

予習・復習をしっかり行い、出席を継続すること。質問は講義時間の前後で対応する。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

# 英語III

習熟度別C

担当教員名 教授 田中 研治

1年次 後期 必修 1単位

クラス 1	科目コード	0333
クラス 2	科目コード	0333
クラス 3	科目コード	0333
クラス 4	科目コード	0333
クラス 5	科目コード	0333
クラス 6	科目コード	0333
クラス 7	科目コード	0333
クラス 8	科目コード	0333

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

**一般目標 (GIO)**

厳選された基本的で重要な文法項目の復習を通して、英語の「文構造」(文型と構文)の総合的理解を強化し、上級学年の英語や薬学英語を学習するための基本的な言語知識と技能の確実な習得を目指す。

**到達目標 (SBOs)**

1. 5文型を正確に識別し、その特徴を文法的に説明できる。
2. 文中における各品詞の文法的役割を説明できる。
3. 様々な構文を文法的に正しく分析し、その意味を説明できる。
4. 学習した「文構造」を応用して、日本文を文法にかなった英文に直すことができる。
5. 日本語には存在しない品詞(前置詞や冠詞など)の意味と用法を説明できる。
6. 英語独自の文法範疇(仮定法など)に含まれる形式を識別し、その表現意図(意味)を説明できる。

**授業内容 (項目・内容)**

- |                   |                        |
|-------------------|------------------------|
| 1. 修飾表現 (II)      | 副詞の用法                  |
| 2. 修飾表現 (III)     | 関係詞の基本的用法              |
| 3. 修飾表現 (IV)      | 関係詞の注意すべき用法(1)         |
| 4. 修飾表現 (V)       | 関係詞の注意すべき用法(2)         |
| 5. 程度の表現          | 形容詞、副詞による比較表現とその用法     |
| 6. 理解度確認小テスト      |                        |
| 7. 主觀を反映する表現 (I)  | 法助動詞の用法                |
| 8. 主觀を反映する表現 (II) | 仮定法の用法(1)              |
| 9. 主觀を反映する表現 (II) | 仮定法の用法(2)              |
| 10. 空間と時間を表す前置詞   | 場所と時間の前置詞の用法           |
| 11. 様々な関係を表す前置詞   | 原因、理由、目的、手段などを表す前置詞の用法 |
| 12. 文の連結と接続詞      | 等位接続詞と從位接続詞の用法         |
| 13. 否定表現と省略表現     | 全体否定、部分否定と代用・省略表現      |
| 14. 理解度確認小テスト     |                        |

**成績評価方法**

1.定期試験(80点)、2.平常点(20点) 配点内訳:出席、小テスト、受講態度

**教科書**

*Learn More Grammar* (三修社)

**指定参考書**

特になし

**学生へのアドバイス**

予習・復習をしっかり行い、出席を継続すること。質問は講義時間の前後で対応する。

# 英語IV

クラス	1	科目コード	0341
クラス	5	科目コード	0345

担当教員名 講師（非常勤）大深 悅子

1年次 後期 必修 1単位

## 一般目標 (GIO)

比較的長い英文の速読、速解には文章を読むための技術が必要である。英文の基本であるパラグラフの多様な論理的展開を追体験しながら、効果的に確実な英語読解力を養成する。同時に、今までに学んできたパラグラフ構造の知識を用いて英文を書く力を伸ばす。

## 到達目標 (SBOs)

1. 読解の対象となる英文の大意を迅速に把握し、それを口頭で説明したり、文章で表現できる。
2. パラグラフにおける主題や主題文を指摘できる。
3. パラグラフ内の、あるいはパラグラフ間の論理的展開を示す標識語句とその意味を説明できる。
4. 読解の対象となる英文の文法構造を把握し、意味を正確に理解できる。
5. パラグラフごとに筆者の主張点を読み取り、読み手としての主体的な考え方や意識を明確化できる。
6. パラグラフ構成の特徴を把握し、その展開を図や言葉で説明できる。
7. 一つのトピックについて自分で調べ、これまでに学んできたパラグラフ構造の知識を使って英語で書くことができる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                          |                            |
|--------------------------|----------------------------|
| 1. Course Overview       | 授業内容・評価方法などの説明             |
| 2. Unit 8                | Guessing what a word means |
| 3. Writing Exercise (1)  | Paragraph Writing          |
| 4. Unit 9-1              | Making predictions (1)     |
| 5. Unit 9-2              | Making predictions (2)     |
| 6. Unit 10               | Reading between the lines  |
| 7. Writing Exercise (2)  | Paragraph Writing          |
| 8. Unit 11               | Does it mean what is says? |
| 9. Unit 12-1             | What's missing? (1)        |
| 10. Unit 12-2            | What's missing? (2)        |
| 11. Writing Exercise (3) | Paragraph/Essay Writing    |
| 12. Unit 13              | Extensive reading (1)      |
| 13. Unit 14              | Extensive reading (2)      |
| 14. Unit 15              | Extensive reading (3)      |
| 15.まとめ                   |                            |

## 成績評価方法

1.出席、2.定期試験、3.平常点、4.小テストによって総合的に評価する。

## 教科書

Ways into Reading (Macmillan Languagehouse)

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

非常勤のため、質問は、E-mailで行うか、講義時間の前後、あるいは予約にて対応する。

1  
年  
次  
生

2  
年  
次  
生

3  
年  
次  
生

4  
年  
次  
生

5  
年  
次  
生

6  
年  
次  
生

# 英語IV

クラス 2	科目コード 0342
クラス 6	科目コード 0346

担当教員名 講師（非常勤）相本 資子

1年次後期 必修 1単位

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

## 一般目標 (GIO)

比較的長い英文の速読、速解には文章を読むための技術が必要である。英文の基本は文章表現の首尾一貫性を維持するためのパラグラフであり、その多様な論理的展開を追体験しながら効果的に確実な英語読解力を養成する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 読解の対象となる英文の大意を把握し口頭で説明したり、文章で表現できる。
2. パラグラフにおける主題や主題文を指摘できる。
3. パラグラフ内の、あるいはパラグラフ間の論理的展開を示す標識語句とその意味を説明できる。
4. 読解の対象となる文章全体、あるいはパラグラフの細部情報を適切に自分の言葉で説明できる。
5. パラグラフごとに筆者の主張点を読み取り、読み手としての主体的な考え方や意識を明確化できる。
6. パラグラフ構成の特徴(例示、分類、時間的順序、空間的配列、比較対照など)を把握し、その展開を図や言葉で説明できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |             |  |
|-------------|--|
| 1. Unit 7   | New words/ Reading comprehension             |
| 2. Unit 7   | Reading strategies questions/ Guided summary |
| 3. Unit 8   | New words/ Reading comprehension             |
| 4. Unit 8   | Reading strategies questions/ Guided summary |
| 5. Unit 9   | New words/ Reading comprehension             |
| 6. Unit 9   | Reading strategies questions/ Guided summary |
| 7. Unit 10  | New words/ Reading comprehension             |
| 8. Unit 10  | Reading strategies questions/ Guided summary |
| 9. Unit 11  | New words/ Reading comprehension             |
| 10. Unit 11 | Reading strategies questions/ Guided summary |
| 11. Unit 12 | New words/ Reading comprehension             |
| 12. Unit 12 | Reading strategies questions/ Guided summary |
| 13.まとめ      | プリント教材                                       |
| 14.まとめ      | プリント教材                                       |

## 成績評価方法

- 1.出席、2.定期試験、3.平常点、4.クイズによって総合的に評価する。

## 教科書

*The Powerful Reader Second Edition* (Macmillan)  
(必要に応じてプリント配付)

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

授業中の作業が大切になるので、予習、出席はもちろんのこと、傾聴し真剣に問題に取り組むこと。できるだけ多く英語に触れてほしい。質問は講義の前後で対応する。

# 英語IV

クラス 3	科目コード 0343
クラス 7	科目コード 0347

担当教員名 講師（非常勤）野依 昭子

1年次 後期 必修 1単位

**一般目標 (GIO)**

比較的長い英文の速読、速解には文章を読むための技術が必要である。英文の基本は文章表現の首尾一貫性を維持するためのパラグラフであり、その多様な論理的展開を追体験しながら効果的に確実な英語読解力を養成する。

**到達目標 (SBOs)**

1. 読解の対象となる英文の大意を把握し口頭で説明したり、文章で表現できる。
2. パラグラフにおける主題や主題文を指摘できる。
3. パラグラフ内の、あるいはパラグラフ間の論理的展開を示す標識語句とその意味を説明できる。
4. 読解の対象となる文章全体、あるいはパラグラフの細部情報を適切に自分の言葉で説明できる。
5. パラグラフごとに筆者の主張点を読み取り、読み手としての主体的な考え方や意識を明確化できる。
6. パラグラフ構成の特徴(例示、分類、時間的順序、空間的配列、比較対照など)を把握し、その展開を図や言葉で説明できる。

**授業内容 (項目・内容)**

- |                                       |                     |
|---------------------------------------|---------------------|
| 1. 授業の方針と説明                           | 各パラグラフ全体の通読および内容理解  |
| 2. The Wonderful World of English(es) | 各パラグラフの要約および全体の問題提議 |
| 3. 同上                                 | 各パラグラフ全体の通読および内容理解  |
| 4. The Wisdom of Crowds               | 各パラグラフの要約および全体の問題提議 |
| 5. 同上                                 | 各パラグラフ全体の通読および内容理解  |
| 6. Be a Critical news Consumer        | 各パラグラフの要約および全体の問題提議 |
| 7. 同上                                 | 各パラグラフ全体の通読および内容理解  |
| 8. Ecotourism                         | 各パラグラフの要約および全体の問題提議 |
| 9. 同上                                 | 各パラグラフ全体の通読および内容理解  |
| 10. Authentic Happiness               | 各パラグラフ全体の通読および内容理解  |
| 11. 同上                                | 各パラグラフの要約および全体の問題提議 |
| 12. Volunteerism & Philanthropy       | 各パラグラフ全体の通読および内容理解  |
| 13. 同上                                | 各パラグラフの要約および全体の問題提議 |
| 14. 授業のまとめ                            |                     |

**成績評価方法**

- 1.出席、2.定期試験、3.平常点によって総合的に評価する。

**教科書**

World in Motion (金星堂)  
(必要に応じてプリント配付およびビデオ鑑賞)

**指定参考書**

特になし

**学生へのアドバイス**

- ・ひんぱんに辞書を引いて判らない単語の意味を調べること。
- ・予習、復習の際、テキストを黙読するだけでなく、努めて音読もすること。

1  
年  
次  
生2  
年  
次  
生3  
年  
次  
生4  
年  
次  
生5  
年  
次  
生6  
年  
次  
生

# 英語IV

クラス	4	科目コード	0344
クラス	8	科目コード	0348

担当教員名 講師（非常勤）田中 実

1年次 後期 必修 1単位

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

## 一般目標 (GIO)

Listeningの後、One Paragraph毎に読解し、大意をつかんだ後、全Paragraphで意図されている内容把握に努め、Paragraph感覚を養う。

## 到達目標 (SBOs)

1. 英文全体を聞くことができる。
2. Paragraph毎の英文を聞いて、中身が理解できる。
3. Paragraph毎の英文を一文一文、正確に読解できる。
4. Paragraph毎の大意を把握できる。
5. 理解度の確認のための練習問題を解くことができる。
6. さまざまな練習問題をこなすことができる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 1. Chapter V(1)     | Listening→Reading |
| 2. Chapter V(2)     | Listening→Reading |
| 3. Chapter V(3)     | Reading→Exercises |
| 4. Chapter VI(1)    | Listening→Reading |
| 5. Chapter VI(2)    | Listening→Reading |
| 6. Chapter VI(3)    | Reading→Exercises |
| 7. Chapter VII(1)   | Listening→Reading |
| 8. Chapter VII(2)   | Listening→Reading |
| 9. Chapter VII(3)   | Reading→Exercises |
| 10. Chapter VIII(1) | Listening→Reading |
| 11. Chapter VIII(2) | Listening→Reading |
| 12. Chapter VIII(3) | Reading→Exercises |
| 13. Chapter IX(1)   | Listening→Reading |
| 14. Chapter IX(2)   | Listening→Reading |
| 15. Chapter IX(3)   | Reading→Exercises |

## 成績評価方法

定期試験、出席状況、平常点により総合的に評価する。

## 教科書

Intermediate Select Readings (Oxford Univ. Press)

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

予習・復習をし、毎回出席すること。

# スポーツ I

**担当教員名** 講師（非常勤）中尾 泰史  
 講師（非常勤）中野 卓  
 講師（非常勤）打谷 昌紀  
 1年次 前期 選択 0.5単位

クラス 1	科目コード	0580
クラス 2	科目コード	0580
クラス 3	科目コード	0580
クラス 4	科目コード	0580
クラス 5	科目コード	0580
クラス 6	科目コード	0580
クラス 7	科目コード	0580
クラス 8	科目コード	0580

## 一般目標 (GIO)

生涯にわたる健康の保持・増進をスポーツや運動を通して自主的に行えるようになるために、球技等の生涯スポーツを更に発展させ、基本的な知識や個人技術はもとより、戦術を用いたゲーム展開を身に付けることを目的としている。積極的な身体活動の実践に取り組むことも授業の目的である。

## 到達目標 (SBOs)

- 球技スポーツのルールを理解し自主的かつクラス全体で実技を行う。
- 球技スポーツの基本的な練習方法を理解する。
- 球技スポーツの基本的な技術を習得する。
- 球技スポーツの戦術を理解し、実際のゲームで実践する。
- スポーツを通してコミュニケーション能力やリーダーシップや集団活動に対する取り組み方を養う。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1. オリエンテーション       | 履修者決定と種目選択        |
| 2. バドミントン/卓球/バスケ等  | ルールと基本技術および練習法    |
| 3. バドミントン/卓球/バスケ等  | 基本練習とゲーム          |
| 4. バドミントン/卓球/バスケ等  | 基本練習とゲーム          |
| 5. バドミントン/卓球/バスケ等  | 基本練習とゲーム          |
| 6. バドミントン/卓球/バスケ等  | リーグ戦              |
| 7. バドミントン/卓球/バスケ等  | リーグ戦              |
| 8. バドミントン/卓球/バスケ等  | 選択種目の見直し、ルールと基本技術 |
| 9. バドミントン/卓球/バスケ等  | 基本練習とゲーム          |
| 10. バドミントン/卓球/バスケ等 | 基本練習とゲーム          |
| 11. バドミントン/卓球/バスケ等 | 基本練習とゲーム          |
| 12. バドミントン/卓球/バスケ等 | 基本練習とゲーム          |
| 13. バドミントン/卓球/バスケ等 | リーグ戦              |
| 14. バドミントン/卓球/バスケ等 | リーグ戦              |

※履修状況によって種目の変更が生じる場合がある。

## 成績評価方法

実技活動評価35点 授業参画点15点 出席評価50点  
 出席評価は重要であるが、授業の取り組み方（態度、姿勢）を重視するので、単に授業に出ただけでは評価を得ることができない。

## 教科書

特になし

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

学生最後の体育授業なので、積極的に参加してほしい。非常勤のため、質問等は授業の前後で対応します。  
 運動の服装、シューズを必ず着用すること。アクセサリー（ピアス、ネックレス、指輪等）ははずす。

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

## スポーツⅡ

**担当教員名** 講師（非常勤）中尾 泰史  
 講師（非常勤）秋元 忍  
 講師（非常勤）中野 卓  
 1年次 後期 選択 0.5単位

クラス	1	科目コード	0590
クラス	2	科目コード	0590
クラス	3	科目コード	0590
クラス	4	科目コード	0590
クラス	5	科目コード	0590
クラス	6	科目コード	0590
クラス	7	科目コード	0590
クラス	8	科目コード	0590

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

### 一般目標 (GIO)

生涯にわたる健康の保持・増進をスポーツや運動を通して自主的に行えるようになるために、球技等の生涯スポーツを更に発展させ、基本的な知識や個人技術はもとより、戦術を用いたゲーム展開を身に付けることを目的としている。積極的な身体活動の実践に取り組むことも授業の目的である。

### 到達目標 (SBOs)

1. 球技スポーツのルールを理解し自主的かつクラス全体で実技を行う。
2. 球技スポーツの基本的な練習方法を理解する。
3. 球技スポーツの基本的な技術を習得する。
4. 球技スポーツの戦術を理解し、実際のゲームで実践する。
5. スポーツを通してコミュニケーション能力やリーダーシップや集団活動に対する取り組み方を養う。

### 授業内容 (項目・内容)

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1. オリエンテーション       | 履修者決定と種目選択        |
| 2. バドミントン/卓球/バスケ等  | ルールと基本技術および練習法    |
| 3. バドミントン/卓球/バスケ等  | 基本練習とゲーム          |
| 4. バドミントン/卓球/バスケ等  | 基本練習とゲーム          |
| 5. バドミントン/卓球/バスケ等  | 基本練習とゲーム          |
| 6. バドミントン/卓球/バスケ等  | リーグ戦              |
| 7. バドミントン/卓球/バスケ等  | リーグ戦              |
| 8. バドミントン/卓球/バスケ等  | 選択種目の見直し、ルールと基本技術 |
| 9. バドミントン/卓球/バスケ等  | 基本練習とゲーム          |
| 10. バドミントン/卓球/バスケ等 | 基本練習とゲーム          |
| 11. バドミントン/卓球/バスケ等 | 基本練習とゲーム          |
| 12. バドミントン/卓球/バスケ等 | 基本練習とゲーム          |
| 13. バドミントン/卓球/バスケ等 | リーグ戦              |
| 14. バドミントン/卓球/バスケ等 | リーグ戦              |

### 成績評価方法

実技活動評価35点 授業参画点15点 出席評価50点

出席評価は重要であるが、授業の取り組み方（態度、姿勢）を重視するので、単に授業に出ただけでは評価を得ることができない。

### 教科書

特になし

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

学生最後の体育授業なので、積極的に参加してほしい。非常勤のため、質問等は授業の前後で対応します。運動の服装、シューズを必ず着用すること。アクセサリー（ピアス、ネックレス、指輪等）ははずす。

中国語 I

**担当教員名** 講師（非常勤） レイハン・パタール

1、2 年次 前期 選択 1 単位

クラス	1	科目コード	0402
クラス	2	科目コード	0402
クラス	3	科目コード	0402
クラス	4	科目コード	0402
クラス	5	科目コード	0402
クラス	6	科目コード	0402
クラス	7	科目コード	0402
クラス	8	科目コード	0402

## 一般目標 (GIO)

中国語の発音と基本的な文法を習得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 中国語の特徴を理解する。
  2. ピンインを習得する。
  3. 基本単語を把握する。
  4. 簡単な自己紹介ができる。
  5. 基礎文法を習得する。
  6. 簡単な日常会話ができる。

### 授業内容（項目・内容）

- |              |                      |
|--------------|----------------------|
| 1. 单母音、子音、四声 | a,o,e, …, b,p,m,f, … |
| 2. 子音        | g,k,h,j,q,x, …       |
| 3. 子音        | z,c,s, …             |
| 4. 複母音       | ai,ei,ao,ou, …       |
| 5. 複母音       | ua,uo,ui, …          |
| 6. 複母音       | an,en,in, …          |
| 7. 第1課       | 人称代名詞、“是”的文          |
| 8. 第1課、第2課   | 指示代名詞、疑問文            |
| 9. 第2課       | “的”的用法、副詞            |
| 10. 第3課      | 動詞の文、「所有」を表す「有」      |
| 11. 第3課、第4課  | 助数詞、指示代名詞            |
| 12. 第4課      | 形容詞の文                |
| 13. 第5課      | 「完了」を表す「了」、「想」       |
| 14. 第5課      | 「所在」を表す「在」           |

成績評価方法

試験および出席、宿題などによって総合的に評価する。

教科書

竹島金吾監修 <最新版> 『中国語はじめの一歩』 白水社

指定参考書

塙本慶一監修 <新版> 『一年生のコミュニケーション中国語』 白水社

関中研二共著 『中国語キャンパス』 基礎編 朝日出版社

本間史、孟広学著 『中国語ポイント42』 白水社

## 学生へのアドバイス

講義は連続性があるため、次の講義時間までに、前の内容を復習し、ある程度把握することを求めます。質問は講義時間の前後、あるいはメールで受け付けます。

# 韓国語 I

担当教員名 講師（非常勤）金錦花

1、2年次 前期 選択 1単位

クラス 1	科目コード	0403
クラス 2	科目コード	0403
クラス 3	科目コード	0403
クラス 4	科目コード	0403
クラス 5	科目コード	0403
クラス 6	科目コード	0403
クラス 7	科目コード	0403
クラス 8	科目コード	0403

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

## 一般目標 (GIO)

最近、よく目にできることができるハングル文字について、関心を持つところからすらすらと読めることに（例えば駅の看板、公園の案内、歌や映画タイトル、歌手や俳優の名前など）、そして簡単なあいさつができることに目標をおく。

## 到達目標 (SBOs)

1. ハングル文字が読める、書ける。
2. 初歩的な文法や文型を身に付ける。
3. 基本単語を身に付ける。
4. 日常あいさつ表現を身に付ける。
5. 韓国の文化に触れる。

## 授業内容 (項目・内容)

1. 第1課	韓国語について、基本母音字
2. 第2～3課	基本子音字Ⅰ（平音）
3. 第4課	基本子音字Ⅱ（平音）
4. 第5～6課	激音（基本子音字Ⅲ）と濃音
5. 第7課	複合母音字
6. 第8課	終声（パッヂム）
7. 第9課	音韻変化—連音化
8. 第10課	応用—日本語のハングル表記
9. 第11課	「-です」の表現 I - 大学生です
10. 第11課	助詞
11. 第12課	「-ではありません」の表現 - 会社員ではありません
12. 第12課	助詞
13. まとめ	
14. 予備	

## 成績評価方法

定期試験の成績は50%、小テストの成績は30%、出席点は20%の割合で総合して評価する。

## 教科書

嚴基珠 金三順 金天鶴 申鉉竣 吉川友丈 著 (2005)  
『한국어 첫걸음』(韓国語の初歩) 白水社

## 指定参考書

菅野裕臣ほか『コスモス朝和辞典』白水社

## 学生へのアドバイス

積極的に授業に参加し、主体的に学び、予習・復習を必ず行い効果ある学習方法を身に付けることが望まれる。

# ドイツ語 I

担当教員名 教授 春山 清純

1、2年次 前期 選択 1単位

クラス 1	科目コード	0400
クラス 2	科目コード	0400
クラス 3	科目コード	0400
クラス 4	科目コード	0400
クラス 5	科目コード	0400
クラス 6	科目コード	0400
クラス 7	科目コード	0400
クラス 8	科目コード	0400

## 一般目標 (GIO)

ドイツ語の基本的な運用能力を習得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. ドイツ語を通して、ドイツ文化およびヨーロッパの文化に対する関心を深める。
2. ドイツ語の単語を正しく発音できる。
3. ドイツ語文法の概要を把握する。
4. 辞書を引いて、平易なドイツ語の文章を読むことができる。
5. ドイツ語で簡単な日常会話ができる。
6. ドイツ語で簡単な文章を書くことができる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |         |         |   |
|---------|---------|---|
| 1.~2.   | 導入説明と発音 | ヨーロッパの中のドイツ、日本とドイツの関係について概説<br>アルファベットの読み方を説明 |
| 3.~4.   | 第1課     | 動詞の人称変化、文の構造                                  |
| 5.~6.   | 第2課     | 名詞の性、語順                                       |
| 7.~8.   | 第3課     | 名詞の格変化、人称代名詞                                  |
| 9.~10.  | 第4課     | 名詞の複数形、不規則変化動詞                                |
| 11.~12. | 第5課     | 前置詞   |
| 13.~14. | 第6課     | 冠詞類   |

到達目標は、ドイツ語 I、II で、共通ですが、I では、基礎の中の基礎を学びます。基礎とは、名詞系の変化と動詞系の変化、及びドイツ語の文で最も重要な動詞の位置です。この三つのポイントに常に注目しながら、ドイツ語に慣れていくください。

言葉は文化です。言葉の中に文化と歴史が凝縮されています。ドイツ語と英語は近い親戚ですが、異なる歴史を歩んできました。それゆえ二つの言葉には、似たところと異なるところがあります。そこが最初は難しいように思えますが、だんだんと慣れてくれば味わい深いところもあります。ドイツ語の面白さと一緒に味わいましょう。

## 成績評価方法

期末テスト (60点)、小テスト (20点)、平常点 (20点)

## 教科書

『ドイツ語ベーシック・コース』大蔵正彦ほか著 三修社

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

質問や相談は随时受け付けます。4号館2Fの人文科学第1研究室へ来てください。

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

# ドイツ語 I

担当教員名 教授 畑 公也

1、2年次 前期 選択 1単位

クラス 1	科目コード 0401
クラス 2	科目コード 0401
クラス 3	科目コード 0401
クラス 4	科目コード 0401
クラス 5	科目コード 0401
クラス 6	科目コード 0401
クラス 7	科目コード 0401
クラス 8	科目コード 0401

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

## 一般目標 (GIO)

ドイツ語の基本的な運用能力を習得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. ドイツ語を通して、ドイツ文化およびヨーロッパの文化に対する関心を深める。
2. ドイツ語の単語を正しく発音できる。
3. ドイツ語文法の概要を把握する。
4. 辞書を引いて、平易なドイツ語の文章を読むことができる。
5. ドイツ語で簡単な日常会話ができる。
6. ドイツ語で簡単な文章を書くことができる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |         |         |  |
|---------|---------|--|
| 1.~2.   | 導入説明と発音 | ヨーロッパの中のドイツ、日本とドイツの関係について概説<br>アルファベットの読み方を説明。 |
| 3.~4.   | 第1課     | 動詞の現在人称変化                                      |
| 5.~6.   | 第2課     | 冠詞と名詞の格変化、主文の定動詞の位置                            |
| 7.~8.   | 第3課     | 目的格と代名詞  |
| 9.~10.  | 第4課     | 動詞の不規則変化、名詞の複数形                                |
| 11.~12. | 第5課     | 前置詞  |
| 13.~14. | 第6課     | 定冠詞類と不定冠詞類                                     |

到達目標は、ドイツ語 I、II で、共通ですが、I では、基礎の中の基礎を学びます。基礎とは、名詞系の変化と動詞系の変化、及びドイツ語の文で最も重要な動詞の位置です。この三つのポイントに常に注目しながら、ドイツ語に慣れていくください。

言葉は文化です。言葉の中に文化と歴史が凝縮されています。ドイツ語と英語は近い親戚ですが、異なる歴史を歩んできました。それゆえ二つの言葉には、似たところと異なるところがあります。そこが最初は難しいよう思えますが、だんだんと慣れてくれば味わい深いところもあります。ドイツ語の面白さと一緒に味わいましょう。

## 成績評価方法

期末テスト (60点)、小テスト (20点)、平常点 (20点)

## 教科書

『ドイツ語ベーシック・コース』大蔵正彦他著 三修社

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

質問や相談は随時受け付けます。4号館2Fの人文第2研究室へ。

メールも可:k-hata@kobepharma-u.ac.jp

# 中国語Ⅱ

担当教員名 講師（非常勤）レイハン・パタール

1、2年次後期 選択 1単位

クラス 1	科目コード	0412
クラス 2	科目コード	0412
クラス 3	科目コード	0412
クラス 4	科目コード	0412
クラス 5	科目コード	0412
クラス 6	科目コード	0412
クラス 7	科目コード	0412
クラス 8	科目コード	0412

## 一般目標 (GIO)

中国語の基礎を身に付ける。

## 到達目標 (SBOs)

1. 基本単語を把握する。
2. 基礎文法を理解する。
3. 辞書を引いて簡単な文書を読むことができる。
4. 簡単な日常会話ができる。
5. 自己紹介ができる。
6. 簡単な文書を書くことができる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |          |                    |
|----------|--------------------|
| 1. 第6課   | 数字、日付・時刻を表す語       |
| 2. 第6課   | 「動作の時点」を言う表現       |
| 3. 第7課   | 「動作の場所」と「距離」を表す語   |
| 4. 第7課   | 存在を表す「有」、反復疑問文     |
| 5. 第8課   | 「時間量」を表す語、助動詞「得」   |
| 6. 第8課   | 場所・時間の起点を表す語       |
| 7. 第9課   | 「過去の経験」を表す語、「給」「跟」 |
| 8. 第9課   | 「是……的」の文           |
| 9. 第10課  | 「動作の程度」を言う表現       |
| 10. 第10課 | 助動詞「能」、「会」         |
| 11. 第11課 | 「動作の進行」を表す「在」      |
| 12. 第11課 | 「～しに行く(来る)」の表し方    |
| 13. 第12課 | 比較、類似の表現           |
| 14. 第12課 | 比較、類似の表現、復習        |

## 成績評価方法

試験および出席、宿題などによって総合的に評価する。

## 教科書

竹島金吾監修 <最新版> 『中国語はじめの一歩』 白水社

## 指定参考書

塙本慶一監修 <新版> 『一年生のコミュニケーション中国語』 白水社  
 関中研二共著 『中国語キャンパス』 基礎編 朝日出版社  
 本間史、孟広学著 『中国語ポイント42』 白水社

## 学生へのアドバイス

講義は連続性があるため、次の講義時間までに、前の内容を復習し、ある程度把握することを求めます。  
 質問は講義時間の前後、あるいはメールで受け付けます。

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

# 韓国語 II

**担当教員名** 講師（非常勤）金錦花

1、2年次後期 選択 1単位

クラス	1	科目コード	0413
クラス	2	科目コード	0413
クラス	3	科目コード	0413
クラス	4	科目コード	0413
クラス	5	科目コード	0413
クラス	6	科目コード	0413
クラス	7	科目コード	0413
クラス	8	科目コード	0413

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

## 一般目標 (GIO)

韓国語で簡単な会話ができる、簡単な文章が書けるなどの基本素養を身に付けるとともに、韓国の文化について理解を深める。

## 到達目標 (SBOs)

1. 韓国語の「聞く、書く、読む、話す」四つの能力を向上させる。
2. 基本文法・文型を身に付ける。
3. 単語量をさらに増やす。
4. 簡単な会話ができる。
5. 韓国の文化について理解を深める。

## 授業内容 (項目・内容)

- |          |                   |
|----------|-------------------|
| 1. 復習    | 基礎知識に関する復習        |
| 2. 第13課  | 「ーです・ます」の表現 I     |
| 3. 第13課  | 代名詞・助詞            |
| 4. 第14課  | 否定表現              |
| 5. 第14課  | 漢数詞—誕生日や値段を表現してみる |
| 6. 第14課  | 助詞                |
| 7. 第15課  | 「ーです」の表現 II       |
| 8. 第15課  | 固有数詞—時間を表現してみる    |
| 9. 第16課  | 「ーです・ます」の表現 II    |
| 10. 第16課 | まとめと練習            |
| 11. 第17課 | 尊敬表現              |
| 12. 第17課 | 助詞                |
| 13. 復習   |                   |
| 14. 予備   |                   |

## 成績評価方法

定期試験の成績は50%、小テストの成績は30%、出席点は20%の割合で総合して評価する。

## 教科書

嚴基珠 金三順 金天鶴 申鉉竣 吉川友丈 著 (2005)  
『한국어 첫걸음』(韓国語の初歩) 白水社

## 指定参考書

小倉紀藏『韓国、愛と思想の旅』大修館書店  
小倉紀藏『韓国は一個の哲学である』講談社現代新書  
菅野裕臣ほか『コスモス朝和辞典』白水社

## 学生へのアドバイス

母語である日本語との対照の中で理解を深めるのがよりよい勉強方法かと思われる所以、学習者は母語の能力を充分に生かすとともに、主体的・積極的に根気よく学ぶことが望まれる。

# ドイツ語Ⅱ

担当教員名 教授 春山 清純

1、2年次 後期 選択 1単位

クラス 1	科目コード	0410
クラス 2	科目コード	0410
クラス 3	科目コード	0410
クラス 4	科目コード	0410
クラス 5	科目コード	0410
クラス 6	科目コード	0410
クラス 7	科目コード	0410
クラス 8	科目コード	0410

## 一般目標 (GIO)

ドイツ語の基本的な運用能力を習得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. ドイツ語を通して、ドイツ文化およびヨーロッパの文化に対する関心を深める。
2. ドイツ語の単語を正しく発音できる。
3. ドイツ語文法の概要を把握する。
4. 辞書を引いて、平易なドイツ語の文章を読むことができる。
5. ドイツ語で簡単な日常会話ができる。
6. ドイツ語で簡単な文章を書くことができる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |         |      |               |
|---------|------|---------------|
| 1.~2.   | 復習   | 前期の習得事項の復習    |
| 3.~4.   | 第7課  | 分離動詞、非分離動詞    |
| 5.~6.   | 第8課  | 再帰動詞          |
| 7.~8.   | 第9課  | 話法の助動詞        |
| 9.~10.  | 第10課 | 形容詞の格変化       |
| 11.~12. | 第11課 | 比較の表現、動詞の三基本形 |
| 13.~14. | 第12課 | 現在完了形、過去形     |

この授業は、前期のドイツ語Ⅰの内容を引き継ぐものです。それゆえ、ドイツ語Ⅰを受講したものだけが、受講できます。

ここでは、楽しみながら、初修の外国語であるドイツ語になれ親しんでください。そしてドイツ語を知ることによって、ヨーロッパ、つまりまだよく知らない世界に向かって新しい窓をひとつ開いてください。世界は、日本とアメリカだけで成り立っているのではないのですから。

## 成績評価方法

期末テスト (60点)、小テスト (20点)、平常点 (20点)

## 教科書

ドイツ語Ⅰと同じです。

『ドイツ語ベーシック・コース』大蔵正彦ほか著 三修社

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

質問や相談は随时受け付けます。4号館2Fの人文科学第1研究室へ来てください。

1  
年  
次  
生

2  
年  
次  
生

3  
年  
次  
生

4  
年  
次  
生

5  
年  
次  
生

6  
年  
次  
生

# ドイツ語Ⅱ

担当教員名 教授 畑 公也

1、2年次後期 選択 1単位

クラス 1	科目コード	0411
クラス 2	科目コード	0411
クラス 3	科目コード	0411
クラス 4	科目コード	0411
クラス 5	科目コード	0411
クラス 6	科目コード	0411
クラス 7	科目コード	0411
クラス 8	科目コード	0411

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

## 一般目標 (GIO)

ドイツ語Ⅰに引き続き、ドイツ語の基本的な運用能力を習得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. ドイツ語を通して、ドイツ文化およびヨーロッパの文化に対する関心を深める
2. ドイツ語の単語を正しく発音できる。
3. ドイツ語文法の概要を把握する。
4. 辞書を引いて、平易なドイツ語の文章を読むことができる。
5. ドイツ語で簡単な日常会話ができる。
6. ドイツ語で簡単な文章を書くことができる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |         |      |                |
|---------|------|----------------|
| 1.~2.   | 第7課  | 分離動詞           |
| 3.~4.   | 第8課  | 再帰代名詞と再帰動詞     |
| 5.~6.   | 第9課  | 話法の助動詞         |
| 7.~8.   | 第10課 | 形容詞の格変化        |
| 9.~10.  | 第11課 | 形容詞と副詞の比較と三基本形 |
| 11.~12. | 第12課 | 現在完了形と過去形      |
| 13.~14. | まとめ  |                |

この授業は、前期のドイツ語Ⅰの内容を引き継ぐものである。したがってドイツ語Ⅰを受講したもののが受講できる。

ここでは、楽しみながら、初修の外国語であるドイツ語に慣れ親しんで欲しい。そして、ドイツ語を知ることによって、ヨーロッパ、つまりまだよく知らない世界に向かって新しい窓をひとつ開いて欲しい。世界は、日本とアメリカだけで成り立っているのではないのだから。

## 成績評価方法

期末テスト (60点)、小テスト (20点)、平常点 (20点)

## 教科書

ドイツ語Ⅰで用いたテキストを継続使用する  
『ドイツ語ベーシック・コース』大蔵正彦他著 三修社

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

質問や相談は随時受け付けます。4号館2Fの人文第2研究室へお越しください。  
メールも可:k-hata@kobepharma-u.ac.jp

# 現代社会論

担当教員名 準教授 松家 次朗

1、2年次 前期 選択 1単位

クラス 1	科目コード	0501
クラス 2	科目コード	0501
クラス 3	科目コード	0501
クラス 4	科目コード	0501
クラス 5	科目コード	0501
クラス 6	科目コード	0501
クラス 7	科目コード	0501
クラス 8	科目コード	0501

## 一般目標 (GIO)

現代社会におけるさまざまな倫理問題の特徴を分析し、現代社会の問題解決の方法について学ぶ。日本の現代社会の特徴を、さまざまなキーワードを通して考察し、問題解決の方向を探る。

## 到達目標 (SBOs)

1. 現代社会の特徴について学ぶ。
2. 民主主義社会の基本的な倫理的原則について学ぶ。
3. 自由と自己決定権の関係について学ぶ。
4. 個人の利益と社会の利益の関係について学ぶ。

## 授業内容 (項目・内容)

1. 現代社会の特徴 I
2. 現代社会の特徴 II
3. 現代社会の特徴 III
4. 民主主義社会の倫理的原則について考える I
5. 民主主義社会の倫理的原則について考える II
6. 中間試験
7. 生命倫理と民主主義社会 I
8. 生命倫理と民主主義社会 II
9. 生命倫理と民主主義社会 III
10. 現代社会と医療 I
11. 現代社会と医療 II
12. 最終試験

## 成績評価方法

中間試験 (40点)、最終レポート (60点)

## 教科書

特になし

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

講義では他の様々な考え方を紹介しますので、出席することは必須です。  
分からることは授業中でも質問してください。

1  
年  
次  
生

2  
年  
次  
生

3  
年  
次  
生

4  
年  
次  
生

5  
年  
次  
生

6  
年  
次  
生

# 女性と法

**担当教員名** 深教授 大久保 一徳

1、2年次 前期 選択 1単位

クラス	1	科目コード	0502
クラス	2	科目コード	0502
クラス	3	科目コード	0502
クラス	4	科目コード	0502
クラス	5	科目コード	0502
クラス	6	科目コード	0502
クラス	7	科目コード	0502
クラス	8	科目コード	0502

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

## 一般目標 (GIO)

家庭生活において、いかに女性の権利が確立され、発展しつつあるのか、あるいは逆に侵害され、後退しつつあるのか、その現状と問題点を考察する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 女性の地位向上をめざした闘いのあとを振り返り、女性と法の関わりを見る。
2. 女性にとって身近で、親しみやすい家族に関する法律を取り上げ、女性の権利擁護を考える。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                |                                  |
|----------------|----------------------------------|
| 1. 大日本帝国憲法下の女性 | 帝国憲法下の女性、明治民法下の女性                |
| 2. 現行憲法と女性     | 現行憲法下の女性、現行民法下の女性                |
| 3. 女性と家族       | 家族法とは、家族法の変遷、親族とは                |
| 4. 結婚          | 憲法24条、結婚の成立、結婚の効果                |
| 5. 親子          | 親子の関係、実子、養子                      |
| 6. 親権・後見・保佐    | 親権の当事者、親権の効力、後見、保佐               |
| 7. 離婚          | 離婚の手続、裁判離婚、調停と審判、離婚と身分関係・財産関係、戸籍 |
| 8. 扶養          | 扶養の義務、扶養の順位・程度・方法                |
| 9. 女性と相続       | 相続とは、明治民法下の相続、相続の開始              |
| 10. 相続人        | 相続人、相続能力、相続の欠格、相続人の廃除            |
| 11. 相続財産       | 相続財産の範囲、祭祀財産、遺産の分割               |
| 12. 相続分        | 相続分の定め方、寄与相続分                    |
| 13. 相続の承認と放棄   | 相続の承認と放棄、財産の分離                   |
| 14. 遺言と遺留分     | 遺言の方式、遺言の効力と執行、遺留分               |

## 成績評価方法

受講態度と試験の成績を総合的に評価する。

## 教科書

『女性と法』 (大久保ほか、法律文化社)

## 指定参考書

『憲法の精神』 (浦田、日本評論社)

## 学生へのアドバイス

大久保の研究室 4号館 2階

質問は隨時受け付けます。在室中ならいつでもOKです。

# 医療と薬学の歴史

## —薬学の役割、薬剤師の役割—

**担当教員名** 準教授 長嶺 幸子

1、2年次 前期 選択 1単位

クラス 1	科目コード	0504
クラス 2	科目コード	0504
クラス 3	科目コード	0504
クラス 4	科目コード	0504
クラス 5	科目コード	0504
クラス 6	科目コード	0504
クラス 7	科目コード	0504
クラス 8	科目コード	0504

### 一般目標 (GIO)

いつの時代でも病気のない社会はない。それぞれの時代の社会のニーズに応えて、医学、薬学は発展してきた。社会と医療、社会と薬学の関係を歴史的に学ぶことで、現代社会で薬学、薬剤師に何が求められているのか、またどうあるべきかを考えていきたい。

### 到達目標 (SBOs)

1. 薬学の発展と薬剤師の職能の変化について概説できる。
2. 日本の医療保障制度について概説できる。
3. 諸外国の医療保障制度について概説できる。
4. 医療と経済について概説できる。
5. 医療における薬剤師の役割について概説できる。
6. 薬剤疫学と薬害について概説できる。

### 授業内容 (項目・内容)

- |               |                                       |
|---------------|---------------------------------------|
| 1. 薬学の発展と薬剤師  | 医療と薬学の発展を歴史的に考察し、薬学、薬剤師の果たしてきた役割職能の変化 |
| 2. 医療環境の変化    | 医療提供体制と医療法について                        |
| 3. 医療保障制度と薬剤師 | 医療保険制度と保険調剤について                       |
| 4. 医療と経済      | 国民医療費の構造、動向について、国民医療費の国際比較            |
| 5. 薬剤師と医療     | 病院薬剤師、薬局薬剤師の業務と役割、地域社会における薬剤師の役割      |
| 6. 薬剤疫学       | 薬剤疫学とEBM                              |
| 7. 薬害の歴史      | 薬害について、具体例と背景                         |
| 8. 薬学の役割      | 薬学教育の変遷と薬学の役割                         |

### 成績評価方法

授業中の課題レポート (40点)、定期試験 (60点)

### 教科書

『社会薬学への招待』 (法律文化社)

### 指定参考書

『社会薬学入門』 (法律文化社)

スタンダード薬学シリーズ 『ヒューマニズム・薬学入門』、『薬学と社会』 (日本薬学会編)

『薬事関係法規・制度』 (法律文化社)

### 学生へのアドバイス

講義は受身でなく、積極的な態度で参加すること。

薬学を学ぶことで、社会に何を還元できるか、「考える力」を身につけてほしい。

1  
年  
次  
生

2  
年  
次  
生

3  
年  
次  
生

4  
年  
次  
生

5  
年  
次  
生

6  
年  
次  
生

# アメリカ文化論

**担当教員名** 講師（非常勤）相本 賀子

1、2年次 前期 選択 1単位

クラス	1	科目コード	0522
クラス	2	科目コード	0522
クラス	3	科目コード	0522
クラス	4	科目コード	0522
クラス	5	科目コード	0522
クラス	6	科目コード	0522
クラス	7	科目コード	0522
クラス	8	科目コード	0522

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

## 一般目標 (GIO)

2009年、アメリカにはオバマ新政権が誕生する。アメリカは「自由と民主主義」を標榜してきた世界一の大国でありながら、人種問題、貧困問題、銃問題、環境問題などを内に抱えている。この複雑なアメリカに対する理解を深めることによって、視野を広げ、国際社会に参加するための基本的態度を養う。また、上級学年の総合文化演習を受講するための基礎的知識を習得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. アメリカが独立したときの基本的理念を概説できる。
2. アメリカの民族的多様性を概説できる。
3. アメリカにおける少数民族の立場を概説できる。
4. アメリカの宗教観を概説できる。
5. アメリカの外交的態度を概説できる。
6. アメリカの女性をジェンダーという観点から概説できる。
7. 映画、ファンタジー、音楽などの大衆文化から見えるアメリカ文化を概説できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                   |                          |
|-------------------|--------------------------|
| 1. 「アメリカ文化論」を学ぶ意味 | 「ソフト・パワー」                |
| 2. アメリカの理念と矛盾     | 「共和国と帝国」                 |
| 3. 映画から見る「共和国と帝国」 | 『インディペンデンス・デイ』『スター・ウォーズ』 |
| 4. 人種問題における帝国主義   | 移民の流れ                    |
| 5. 先住アメリカ人        | 歴史と文化                    |
| 6. 先住アメリカ人        | 歴史と文化                    |
| 7. アフリカ系アメリカ人     | 歴史と文化                    |
| 8. アフリカ系アメリカ人     | 歴史と文化                    |
| 9. 領土拡張における帝国主義   | 明白なる運命                   |
| 10. 大衆文化          | 児童文学                     |
| 11. 大衆文化          | 児童文学                     |
| 12. 大衆文化          | 西部劇                      |
| 13. 大衆文化          | ディズニーの世界                 |
| 14.まとめ            |                          |

## 成績評価方法

出席、試験、平常の受講態度によって総合的に評価する。

## 教科書

トピックごとにそのつどプリントを用意する。

## 指定参考書

- 小田隆裕他編『事典現代のアメリカ』大修館書店  
 高村宏子他編『アメリカ合衆国とは何か』雄山閣出版  
 徳永由紀子他編『アメリカン・カルチュラル・スタディーズ』萌書房

## 学生へのアドバイス

新聞、ニュース、映画などを通じて、できるだけアメリカに興味を持ってほしい。  
 質問は講義の前後で対応、または予約にて対応する。講義は連続性があるため、毎回出席して傾聴すること。講義中は私語を慎むこと。

# アジア文化論

**担当教員名** 講師（非常勤） レイハン・パタール

1、2年次 前期 選択 1単位

クラス 1	科目コード	0523
クラス 2	科目コード	0523
クラス 3	科目コード	0523
クラス 4	科目コード	0523
クラス 5	科目コード	0523
クラス 6	科目コード	0523
クラス 7	科目コード	0523
クラス 8	科目コード	0523

## 一般目標 (GIO)

ユーラシア大陸の中心部に位置し、シルクロードの要衝である中国新疆ウイグル自治区（以下新疆とする）ではさまざまな文化を持つ集団が生活している。本講義では、新疆及び主にこの地で暮らしているウイグルと呼ばれている人々の生活を中心には話を展開し、シルクロードの多文化社会の現状についての理解を深めることを目標にする。

## 到達目標 (SBOs)

- 新疆の地理的位置の重要性について概説できる。
- 新疆の自然環境の特徴及び気候の特徴について概説できる。
- 多文化社会としての新疆について概説できる。
- 新疆の生活様式について概説できる。
- ウイグルの信仰の変遷と風俗習慣について理解する。
- 「ウイグル」の意味と由来について理解する。
- 日本とのかかわりについて理解する。

## 授業内容（項目・内容）

- |                     |                              |
|---------------------|------------------------------|
| 1. オリエンテーション        | 新疆の地理的位置とその重要性を概説する          |
| 2. 新疆の地理的位置         | 新疆の自然環境の特徴、気候の特徴について概説する     |
| 3. 新疆の自然環境          | オアシス農耕                       |
| 4. 新疆の生活様式（1）       | 移動牧畜                         |
| 5. 新疆の生活様式（2）       | 商業、工業、鉱業                     |
| 6. 新疆の生活様式（3）       | 新疆で暮らす各民族の言語、宗教、生活様式         |
| 7. 新疆の人々            | 「ウイグル」の意味と由来                 |
| 8. ウイグルとは           | 現代ウイグル語の特徴とウイグルの文字文化について概説する |
| 9. ウイグルの言語と文字       | ウイグルの信仰の変遷と風俗習慣について概説する      |
| 10.～11.ウイグルの信仰と風俗習慣 | 日本とのかかわりについて概説する             |
| 12.～13.新疆と日本        |                              |
| 14.まとめ              |                              |

## 成績評価方法

試験、および出席、受講態度などによって総合的に評価する。

## 教科書

適宜プリントを配付する。  
映像資料としてNHK『シルクロード』などを使用する予定。

## 指定参考書

『中央ユーラシア史』 小松久男 山川出版社  
 『宋と中央ユーラシア』 伊原 弘・梅村 坦 中央公論社  
 『草原とオアシス』 山田信夫 講談社

## 学生へのアドバイス

授業に毎回出席し、メモを取ることを求めます。質問は講義時間の前後、あるいはメールで受け付けます。

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

# 日本文化論

**担当教員名** 講師（非常勤）佐藤 真知子

1、2年次 前期 選択 1単位

クラス	1	科目コード	0524
クラス	2	科目コード	0524
クラス	3	科目コード	0524
クラス	4	科目コード	0524
クラス	5	科目コード	0524
クラス	6	科目コード	0524
クラス	7	科目コード	0524
クラス	8	科目コード	0524

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

## 一般目標 (GIO)

日本文化論を身につけるために、特に日本独自の文学形式である俳句に焦点を絞り、作品を丁寧に解釈することを通して、その歴史的発展を理解する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 俳諧の誕生とその変遷について概説できる。
2. 俳句を解釈できる。
3. 芭蕉について人物像を構築する。
4. 芭蕉の紀行文を解釈できる。
5. 芭蕉の作品について論述できる。
6. 芭蕉と同時代の作品を知る。
7. 文化的教養を身につけて俳句を創作する。

## 授業内容 (項目・内容)

- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| 1. 俳諧の歴史      | 俳諧の字義および誕生      |
| 2. 俳諧の歴史      | 俳諧の確立と諸流派       |
| 3. 俳句創作       | 作品理解の一環としての創作   |
| 4. 芭蕉         | 伝記的事項と人物像の把握    |
| 5. 芭蕉         | 蕉風確立に至るまでの俳諧作品  |
| 6. 芭蕉         | 蕉風確立以後の俳諧作品     |
| 7. グループ討論     | 芭蕉の作品の特質を検討     |
| 8. 芭蕉の紀行文     | 旅人芭蕉の誕生『野ざらし紀行』 |
| 9. 芭蕉の紀行文     | 旅人の自覚『笈の小文』     |
| 10. 芭蕉の紀行文    | 『奥の細道』の成立       |
| 11. 芭蕉と同時代の作品 | 曾根崎心中（1）        |
| 12. 芭蕉と同時代の作品 | 曾根崎心中（2）        |
| 13. 芭蕉と同時代の作品 | 井原西鶴            |
| 14. 芭蕉以後      | 燕村と一茶           |

## 成績評価方法

試験と平常点（出席状況、授業態度などを含む）により総合的に評価する。

## 教科書

授業の中でプリントを配付する。

## 指定参考書

新編日本古典文学全集70『松尾芭蕉集①』（1995年）小学館  
新編日本古典文学全集71『松尾芭蕉集②』（1997年）小学館

## 学生へのアドバイス

授業中に課された提出物は、形式と内容を整えて、その授業の終わりに提出しなさい。  
質問等歓迎します。

# 現代の音楽

**担当教員名** 教授 畑 公也

1、2年次 前期 選択 1単位

クラス 1	科目コード	0503
クラス 2	科目コード	0503
クラス 3	科目コード	0503
クラス 4	科目コード	0503
クラス 5	科目コード	0503
クラス 6	科目コード	0503
クラス 7	科目コード	0503
クラス 8	科目コード	0503

## 一般目標 (GIO)

芸術の一ジャンルである音楽をめぐるさまざまな問題について考える。それによって、物事を多角的にみる能力を養うとともに、見識ある人間としての基礎を築くために、自分自身の洞察を深めるための一助とする。

## 到達目標 (SBOs)

- 文化・芸術に幅広く興味を持ち、その価値について考える習慣を身に付ける。
- 有史以前から現在にいたるまでの音楽の発展過程を理解する。
- 現代社会において音楽の果たしている役割を理解する。
- 音楽のありようを通して「現代とはどのような時代か」という問いに対して自分なりに考え、答えを模索する。

## 授業内容 (項目・内容)

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| 1. 音楽とは何か     | 音楽の発生と本質について     |
| 2. 現代の音楽状況    | 百年前と比較して         |
| 3. 音楽の多様性     | 私たちは何を聴いているか     |
| 4. ジャンルとは何か   | 音楽におけるジャンル分けの意義  |
| 5. 音楽の歴史 I    | 近代調性音楽           |
| 6. 音楽の歴史 II   | ベートーベンの生涯と音楽     |
| 7. 現代の音楽 I    | ジャズの成立と発展        |
| 8. 現代の音楽 II   | ブルースからロックン・ロールへ  |
| 9. 現代の音楽 III  | ロックの発展           |
| 10. 現代の音楽 IV  | フュージョン音楽としてのピアソラ |
| 11. 音楽の効用 I   | 音楽の「癒し効果」と音楽療法   |
| 12. 音楽の効用 II  | 「泣かせる音楽」         |
| 13. 音楽の効用 III | 音楽のメッセージ性        |
| 14. 音楽の未来     | 21世紀の音楽の可能性      |

現代には、さまざまなメディアの発達のおかげで、過去から現在にいたるあらゆる時代のさまざまなジャンルの音楽が氾濫していて、私たちはそれらを自由に選び出して聴くことができる。その「多様性」こそが現代の音楽の最も重要な特徴である。従って、「現代の音楽」と題するこの講義も、時代やジャンルの制限を取り払って、「私たちが聴くことのできるすべての音楽」を考察の対象とする。

授業中には、できるだけ多くの音楽を流して、多様な音楽に実際に触れてもらうように心がけたい。

また、授業のやり方に関しては、通常の教師から学生への一方通行的な授業ではなく、折に触れ受講生諸君の発言を求め、相互に意見交換しながら進めていく、共同制作的な授業を目指したい。

## 成績評価方法

期末試験 70点、出席・平常点 30点

## 教科書

特になし

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

オフィスアワー：月、水、木の昼休み。それ以外でも在室時はいつでも相談、質問に応じます。

メールも可：k-hata@kobepharma-u.ac.jp

1  
年  
次  
生

2  
年  
次  
生

3  
年  
次  
生

4  
年  
次  
生

5  
年  
次  
生

6  
年  
次  
生

# ヨーロッパ文化論

**担当教員名** 教授 春山 清純

1、2年次 前期 選択 1単位

クラス	1	科目コード	0521
クラス	2	科目コード	0521
クラス	3	科目コード	0521
クラス	4	科目コード	0521
クラス	5	科目コード	0521
クラス	6	科目コード	0521
クラス	7	科目コード	0521
クラス	8	科目コード	0521

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

## 一般目標 (GIO)

文化の基になるのは民族と言語と歴史的体験であり、現在という時代は過去の体験の重層的な蓄積の上に成り立っていることを、ヨーロッパ各国を例として理解する。また今年度は各国史の視点で講義を行なうが、それを通じて、一国だけの視点から見た歴史の不可能性について考えてみる。

## 到達目標 (SBOs)

1. 民族と言語と宗教について概説できる。
2. 文化形成に与えたキリスト教の影響を概説できる。
3. キリスト教以外の宗教・思想について概説できる。
4. ルネサンス・宗教改革・大航海時代の文化史的意味について概説できる。
5. フランス革命の文化史的意味について概説できる。
6. ヨーロッパの「近代」について概説できる。
7. 二度の大戦の文化史的意味について概説できる。
8. ヨーロッパ統合の文化史的意味について概説できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |               |             |
|---------------|-------------|
| 1. 民族と言語      | 地域と民族と言語の分布 |
| 2. 主要な宗教①     | ユダヤ教        |
| 3. 主要な宗教②     | キリスト教       |
| 4. 主要な宗教③     | イスラム教       |
| 5. 各国の歴史と文化①  | ギリシア        |
| 6. 各国の歴史と文化②  | イタリア        |
| 7. 各国の歴史と文化③  | スペイン        |
| 8. 各国の歴史と文化④  | フランス        |
| 9. 各国の歴史と文化⑤  | イギリス        |
| 10. 各国の歴史と文化⑥ | ドイツ         |
| 11. 各国の歴史と文化⑦ | オーストリア      |
| 12. 各国の歴史と文化⑧ | チェコ         |
| 13. 各国の歴史と文化⑨ | 東欧・バルカンとロシア |
| 14. まとめ       | ヨーロッパの統合    |

## 成績評価方法

出席 (30点)、レポート (70点)

## 教科書

『ニューステージ世界史詳覧』浜島書店

## 指定参考書

『ヨーロッパの歴史（第2版）欧州共通教科書』  
F・ドルーシュ総合編集、木村尚三郎監修、花上克己訳、東京書籍

## 学生へのアドバイス

質問や相談は随時受け付けます。4号館2Fの人文科学第1研究室へ来てください。

# コミュニケーション論

担当教員名 講師（非常勤）新道 賢一

1、2年次後期 選択 1単位

クラス 1	科目コード	0541
クラス 2	科目コード	0541
クラス 3	科目コード	0541
クラス 4	科目コード	0541
クラス 5	科目コード	0541
クラス 6	科目コード	0541
クラス 7	科目コード	0541
クラス 8	科目コード	0541

## 一般目標 (GIO)

生活場面での人ととの関わりの背景にある心理学的意味や、対人関係に影響を与えるさまざまな要因について考える

## 到達目標 (SBOs)

- 普段私たちが何気なく使っている「コミュニケーション」という用語について考え方直してみる。
- 臨床心理学的な理論に基づき自己理解を試みる。
- 上記2を通じて自分の対人関係上の特徴を知る。
- 上記2に基づき他者理解への礎とする。
- 言語的・意図的な対人姿勢を自覚し、よりよい対人関係の手がかりにする。
- 非言語的な要因にも目を向け、意図せず対人関係に及ぼす影響について考える。
- 「コミュニケーション」の場で起きうる現象について知る。
- 「コミュニケーション」の一形態である「学ぶ」ことについて、授業という実践を通して考える。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                            |                      |
|----------------------------|----------------------|
| 1. オリエンテーション               | 授業内容の説明と導入           |
| 2. 自分について知る 対人姿勢のパターン      | エゴグラムを利用した対人姿勢の基本的構え |
| 3. 自己理解に向けて (1)            | パーソナリティ類型について        |
| 4. 自己理解に向けて (2)            | 深層心理学的観点からみたパーソナリティ  |
| 5. 自己理解に向けて (3)            | 感情と「コンプレックス」         |
| 6. 自己理解に向けて (4)            | さまざまな「防衛機制」          |
| 7. コミュニケーションの場で起きうこと (1)   | 「転移」という考え方           |
| 8. コミュニケーションの場で起きうこと (2)   | コミュニケーションを阻害する要因     |
| 9. コミュニケーションの場で起きうこと (3)   | 非言語的な要因              |
| 10. 他者を理解しようすること (1)       | 「聞く」という営み            |
| 11. 他者を理解しようすること (2)       | 「傾聴」「共感」に関して         |
| 12. より有効なコミュニケーションのために (1) | 「かかわる」ということ          |
| 13. より有効なコミュニケーションのために (2) | コミュニケーションについての覚書     |
| 14.まとめ                     | 授業全般のまとめ             |

## 成績評価方法

①出席点(30点) + ②受講態度(30点) + ③定期試験(40点)

## 教科書

授業の中でのプリントを適宜配付します。

## 指定参考書

- 「はじめての心理学」氏原寛・松島恭子・千原雅代[編] 創元社  
 「プロカウンセラーの聞く技術」東山絢久著 創元社  
 「看護のための精神医学」中井久夫・山口直彦著 医学書院

## 学生へのアドバイス

出席を重視します(遅刻は欠席とみなします)。全授業のうち、8割以上の出席がなければ、定期試験の受験資格はありません。授業では毎回、当日の授業内容に関する小レポートを課し、小レポートの内容も評価の対象とします。小レポートの内容により、授業の進捗状況が変化することがあります。授業を通じての「コミュニケーション」を円滑にするため、私語厳禁とします。

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

# 環境問題

**担当教員名** 講師（非常勤）後藤 安子

1、2年次後期 選択 1単位

クラス	1	科目コード	0542
クラス	2	科目コード	0542
クラス	3	科目コード	0542
クラス	4	科目コード	0542
クラス	5	科目コード	0542
クラス	6	科目コード	0542
クラス	7	科目コード	0542
クラス	8	科目コード	0542

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

## 一般目標 (GIO)

環境ということばが新聞やテレビに出ない日はないといつてもいいくらい、今、環境問題は、私達の生活と切っても切りはなせないものになっている。さまざまな環境問題をとりあげ、日常生活における取り組みを考える。

## 到達目標 (SBOs)

さまざまな環境問題について、その原因、社会的背景や課題を考え、持続可能な社会はどうあるべきかを考える。

## 授業内容 (項目・内容)

1. 国連環境開発会議について
2. 環境基本法
3. 循環型社会に向けて
4. リサイクル法
5. 廃棄物問題
6. 地球温暖化
7. エネルギー問題
8. 水問題——水質汚染・河川行政・ダム建設
9. 生物多様性について
- 10.瀬戸内海の自然環境
- 11.環境アセスメント
- 12.海外における環境問題
- 13.その他
- 14.まとめ

## 成績評価方法

出席およびレポートによって総合的に評価する。

## 教科書

なし 資料を配付する。

## 指定参考書

環境弁護士グループ『ちきゅう』著『環境と法律』一橋出版

## 学生へのアドバイス

自ら問題意識をもって「考える」ことが大切です。

授業中は私語を慎むこと。

# 異文化理解

**担当教員名** 講師（非常勤）相本 資子

1、2年次後期 選択 1単位

クラス 1	科目コード	0544
クラス 2	科目コード	0544
クラス 3	科目コード	0544
クラス 4	科目コード	0544
クラス 5	科目コード	0544
クラス 6	科目コード	0544
クラス 7	科目コード	0544
クラス 8	科目コード	0544

## 一般目標 (GIO)

アメリカ文化と日本文化を比較検討し、それぞれの文化の独自性を理解することによって、国際社会に参加するための基本的態度を養う。グローバルな文脈の中で日米関係を捉え直すことによって、現代日本がかかえる問題を解明する1つの手がかりとする。

## 到達目標 (SBOs)

- 異文化を理解することの意味を明らかにことができる。
- 異文化を知ることで自国の文化を新たな視点で見直すことができる。
- アメリカ文化と日本文化を比較することで両者の相違点を概説できる。
- アメリカ文化と日本文化を比較することで両者の共通点を概説できる。
- 映画、文学作品、アニメ、スポーツなどの媒介を通して、アメリカ人と日本人の発想、視点、思想の違いを概説できる。
- 人文科学、社会科学の思考方法を習得することができる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                  |                      |
|------------------|----------------------|
| 1.はじめに           | 異文化理解の意味             |
| 2.日本から見たアメリカ     | 拌糀と排糀                |
| 3.アメリカのジャポニズム    | 歴史的背景                |
| 4.アメリカのジャポニズム    | 『蝶々夫人』               |
| 5.日本文化の発信        | 『武士道』『日本の目覚め』        |
| 6.戦時中のアメリカから見た日本 | 日系アメリカ人              |
| 7.戦時中のアメリカから見た日本 | 日系アメリカ人              |
| 8.戦後のアメリカから見た日本  | 『菊と刀』『アメリカの鏡・日本』     |
| 9.戦後のアメリカから見た日本  | アメリカ映画に現れた日本のイメージ    |
| 10.高度成長期の日本とアメリカ | アメリカ映画に現れた日本のイメージ    |
| 11.高度成長期の日本とアメリカ | アメリカ映画に現れた日本のイメージ    |
| 12.アメリカ文化と日本文化   | 映画の中の日本の女性像『さゆり』     |
| 13.アメリカ文化と日本文化   | アメリカのアニメと日本のアニメ      |
| 14.まとめ           | 『父親たちの星条旗』『硫黄島からの手紙』 |

## 成績評価方法

出席、レポート、平常の受講態度によって総合的に評価する。

## 教科書

トピックごとにそのつどプリントを用意する。

## 指定参考書

- 小田隆裕他編『事典現代のアメリカ』大修館書店  
 新渡戸 稲造『武士道』PHP文庫  
 岡倉 天心『茶の本—英文取録』講談社学術文庫  
 『東洋の理想』講談社学術文庫

## 学生へのアドバイス

新聞、ニュース、映画、大衆小説などを通して、できるだけアメリカと日本の関係に興味を持ってほしい。  
 質問は講義の前後で対応、または予約にて対応する。

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

# 消費者行動論

**担当教員名** 講師（非常勤）西村 順二

1、2年次後期 選択 1単位

クラス	1	科目コード	0562
クラス	2	科目コード	0562
クラス	3	科目コード	0562
クラス	4	科目コード	0562
クラス	5	科目コード	0562
クラス	6	科目コード	0562
クラス	7	科目コード	0562
クラス	8	科目コード	0562

1  
年  
次  
生

2  
年  
次  
生

3  
年  
次  
生

4  
年  
次  
生

5  
年  
次  
生

6  
年  
次  
生

## 一般目標 (GIO)

社会科学における経営学、その中の消費者行動研究と言う内容科学の一つを学ぶことを通して、経済社会の認識・考察・分析力を養うことを目指す。

## 到達目標 (SBOs)

マーケティングに関する基礎知識の修得と消費者行動の分析視点の修得を目指す。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                      |                            |
|----------------------|----------------------------|
| 1. イントロダクション         | 講義の目標・評価方法・運営方式の確認と講義全体の概要 |
| 2. 社会科学の中の「消費者行動論」   | 社会科学における下位研究領域としての消費者行動論   |
| 3. マーケティング発想         | マーケティングの基礎概念と標的市場認識        |
| 4. 消費者ニーズ概念          | 消費者のニーズの本質と欲求創造            |
| 5. 消費と購買、そして消費者の動態   | 消費行動の基本分類 — AIDMAとAISAS    |
| 6. 供給サイドと需要サイドのマッチング | 懸隔の意味                      |
| 7. 生産と消費の懸隔と流通機能     | 懸隔架橋の必要性                   |
| 8. 顧客適応と仕入れ・生産適応     | 需給調整のメカニズム                 |
| 9. 顧客適応の流通様式         | 流通業態変化                     |
| 10. 市場細分化概念          | 市場の細分化と市場の成長性              |
| 11. まとめ              | 講義全体の総括と近年の消費行動            |
| 12. 試験               |                            |

## 成績評価方法

学期末の試験、レポート、授業へのコミットメント等に基づき総合的に評価する。

## 教科書

西村順二『卸売流通動態論：中間流通の変化と取引』千倉書房 2009年

## 指定参考書

隨時紹介していく。

## 学生へのアドバイス

日常の生活シーンに於いて我々は常に購買・消費の局面に接している。本講義を受講する学生諸君には、何故この製品を購入するのか、したのかということに関心をもつようにして欲しい。

# 薬局経営論

**担当教員名** 講師（非常勤）辻 峰男

1、2年次 後期 選択 1単位

クラス 1	科目コード	0563
クラス 2	科目コード	0563
クラス 3	科目コード	0563
クラス 4	科目コード	0563
クラス 5	科目コード	0563
クラス 6	科目コード	0563
クラス 7	科目コード	0563
クラス 8	科目コード	0563

## 一般目標 (GIO)

卒業後の進路先のひとつである薬局の経営について基本的なことを学習する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 会社組織について概説できる。
2. 薬局経営とモノの動きについて概説できる。
3. 薬局経営ヒトの動きについて概説できる。
4. 薬局経営とカネの動きについて概説できる。
5. 薬局経営の現状と課題について考察できる。

## 授業内容 (項目・内容)

1. 組織の形態
2. 組織の変容
3. 販売
4. 生産管理
5. 労務管理
6. 組織
7. 資金管理
8. 財務諸表
9. データ収集
10. データ分析 1
11. その 2
12. その 3
13. 問題の指摘と解決討議
14. まとめ

## 成績評価方法

授業内小テスト（毎時間）による評価を予定。

## 教科書

後日、指示します。

## 指定参考書

平野嘉秋『新しい企業会計制度』大蔵財務協会  
 武井一浩『会社法を活かす経営』日本経済新聞社  
 伊丹敬之ほか『ゼミナール経営学入門』日本経済新聞社

## 学生へのアドバイス

予習・復習は不要。授業時間内で理解するように努めてください。

非常勤のため、質問は講義の前後で対応します。

毎回小テストを実施する予定ですので、遅刻しないでください。

1  
年  
次  
生

2  
年  
次  
生

3  
年  
次  
生

4  
年  
次  
生

5  
年  
次  
生

6  
年  
次  
生

# 社会心理学

**担当教員名** 講師（非常勤）松原 秀子

1、2年次後期 選択 1単位

クラス	1	科目コード	0564
クラス	2	科目コード	0564
クラス	3	科目コード	0564
クラス	4	科目コード	0564
クラス	5	科目コード	0564
クラス	6	科目コード	0564
クラス	7	科目コード	0564
クラス	8	科目コード	0564

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

## 一般目標 (GIO)

社会心理学の理論と臨床心理学の視点から「自己」と「他者」の理解を深める。また、「他者」および「社会」との関わりが「自己」に及ぼす影響を理解する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 社会と個人との心理的な関係を把握する。
2. 人生における心理的な発達段階を理解する。
3. 2.の各段階における心理的課題を学ぶ。
4. 環境が自己に及ぼす影響を理解する。
5. 青年期の心理について理解を深める。
6. 心理的危機や不適応のメカニズムを学ぶ。
7. ケアを必要とする人の心理状態を理解する。

## 授業内容 (項目・内容)

1. オリエンテーション	授業概要、成績評価方法の説明
2. ライフサイクル論 1	乳幼児期から学童期の心理
3. ライフサイクル論 2	青年期から老年期の心理
4. 自己観	アイデンティティ、自己物語、時間的展望
5. 自己概念	公的自己と私的自己
6. 自己表現	自己呈示と非言語的メッセージ
7. 社会的不適応	抑うつ、対人不安
8. 環境と自己 1	ピグマリオン効果、学習性無力感理論
9. 環境と自己 2	心的外傷体験と回復の過程
10. 他者を知る	ケアを受ける人の心理
11. 他者と出会う 1	対人魅力
12. 他者と出会う 2	人を好きになるということ
13. 他者を支える	援助行動、被援助者の心理
14. まとめ	

## 成績評価方法

出席およびレポートによって総合的に評価します。

## 教科書

適宜、資料を配付します。

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

私語は他学生の学習権を侵害する極めて迷惑な行為です。マナーのある学生の受講を望みます。  
質問はメールで受け付けます。

# 医療と人間

**担当教員名** 準教授 松家 次朗

1、2年次 後期 選択 1単位

クラス 1	科目コード	0543
クラス 2	科目コード	0543
クラス 3	科目コード	0543
クラス 4	科目コード	0543
クラス 5	科目コード	0543
クラス 6	科目コード	0543
クラス 7	科目コード	0543
クラス 8	科目コード	0543

## 一般目標 (GIO)

現代の医療が抱える問題と医療技術が社会や倫理に与えている影響の質と内容について理解する。

## 到達目標 (SBOs)

- 終末期医療の問題点を理解する。
- 脳死と死の定義の変更の意味について理解する。
- 生命の神聖性という基準と生命の質という基準の違いについて理解する。
- 人口妊娠中絶をめぐる倫理問題を理解する。
- 重度新生障害児をめぐる倫理問題を理解する。
- 安樂死をめぐる倫理問題を理解する。
- 環境倫理学と生命倫理学の関係について理解する。
- 新しい倫理学の特徴について理解する。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 1. 生命倫理学入門         | 新しい倫理学としての生命倫理学  |
| 2. 死後の誕生           | 脳死の女性の出産？        |
| 3. 死後の誕生           | 脳死は人の死か          |
| 4. 死の再定義           | 脳死はどのように再定義されたか  |
| 5. 脳死              | 脳死とは何か           |
| 6. シャン博士のジレンマ      | 無脳症児を死なせることは罪か   |
| 7. 中間試験            | 生と死の選択           |
| 8. トニー・ブランドと人名の神聖性 | プロチョイスとプロライフの争い  |
| 9. 中絶をめぐる争い        | 生きるに値しない生命は存在するか |
| 10. 生命の質に基づく判断を下す  | 安樂死をめぐる論争－1－     |
| 11. 死を依頼する         | 安樂死をめぐる論争－2－     |
| 12. 死を依頼する         |                  |
| 13. 最終試験           |                  |

## 成績評価方法

中間試験（40点）、最終レポート（60点）

## 教科書

ピーター・シンガー『生と死の倫理』昭和堂

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

自分の頭で考え、自分の言葉で語ることを求めます。

質問は遠慮なくしてください。

1  
年  
次  
生

2  
年  
次  
生

3  
年  
次  
生

4  
年  
次  
生

5  
年  
次  
生

6  
年  
次  
生

# 外国人と人権

**担当教員名** 深教授 大久保 一徳

1、2年次後期 選択 1単位

クラス	1	科目コード	0561
クラス	2	科目コード	0561
クラス	3	科目コード	0561
クラス	4	科目コード	0561
クラス	5	科目コード	0561
クラス	6	科目コード	0561
クラス	7	科目コード	0561
クラス	8	科目コード	0561

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

## 一般目標 (GIO)

わたくしたちと共に住み、働く外国人の人権状況の分析と問題点を法制度との関わりの中で見つめる。出入国、外国人登録、生活、家族、健康、安全などに関する法的保障を考察する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 外国人に対する日本の政策を概説できる。
2. 外国人に対する政策の変遷を概説できる。
3. 国籍、出入国管理、外国人登録、財産権、営業権、雇用、教育、犯罪などの具体的な問題に関する日本の法制度を概説できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                 |                       |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 日本の対外政策とその変遷 | 日本の対外政策               |
| 2. 対外国人政策       | 対外国人政策                |
| 3. 国籍           | 外国人とは、日本人とは、その基準      |
| 4. 外国人の出入国管理    | 出入国管理及び難民認定法          |
| 5. 同            | 入国目的、在留目的とその期間        |
| 6. 同            | 在留目的の変更、期間の更新         |
| 7. 外国人の登録       | 外国人登録法                |
| 8. 外国人の財産権      | 外国人の財産権、所有権、営業権       |
| 9. 住民としての外国人    | 幸福追求権、選挙権、被選挙権、公務就任権  |
| 10. 外国人の雇用・労働   | 外国人の雇用、職業紹介、雇用保障      |
| 11. 同           | 外国人の労働契約、労働災害         |
| 12. 教育に関する権利    | 普通教育、中等教育、高等教育、職業教育   |
| 13. 犯罪          | 外国人の犯罪捜査、被疑者の特定、送致など  |
| 14. 外国人と医療      | 外国人の医療保障、健康保険法、国民健康保険 |

## 成績評価方法

受講態度および試験の成績を総合的に評価する。

## 教科書

『外国人と法』 (大久保ほか、明石書店)

## 指定参考書

『憲法講義・人権』 (萩野、法律文化社)

## 学習へのアドバイス

大久保の研究室4号館2階

質問は隨時受け付けます。在室中ならいつでもOKです。

# 社会薬学 I (基礎編)

## —コミュニティーファーマシー—

**担当教員名** 準教授 大久保 一徳  
 準教授 松家 次朗  
 準教授 長嶺 幸子  
 1年次 前期 必修 1単位

クラス 1	科目コード	1010
クラス 2	科目コード	1010
クラス 3	科目コード	1010
クラス 4	科目コード	1010
クラス 5	科目コード	1010
クラス 6	科目コード	1010
クラス 7	科目コード	1010
クラス 8	科目コード	1010

### 一般目標 (GIO)

社会における薬剤師の果たすべき役割、責任、義務等を正しく理解することができるよう、薬剤師という職業に深くかかわる歴史、制度、法律および倫理に関する基本的知識を修得する。

### 到達目標 (SBOs)

1. 「薬とは何か」を概説できる。
2. 化学物質が医薬品として治療に使用されるまでの流れを概説できる。
3. 日本薬局方の意義と内容を概説できる。
4. 医薬分業のしくみと意義を説明できる。
5. 地域薬局の役割を列挙できる。
6. 医療倫理の特徴を概説できる。
7. 医療の担い手が守るべき倫理規範を説明できる。
8. ヘルシンキ宣言の内容を概説できる。
9. 生命倫理学の流れを概説できる。
10. 生命倫理学の基本的な考え方を説明できる。
11. 薬剤師に関連する法令の構成を説明できる。
12. 薬剤師法の重要な項目を列挙し、その内容を説明できる。
13. 薬剤師に関わる医療法の内容を説明できる。
14. 製造物責任法を概説できる。

### 授業内容 (項目・内容)

- |               |                     |
|---------------|---------------------|
| 1. くすりと社会 I   | くすりとは何か、くすりの歴史      |
| 2. くすりと社会 II  | 薬剤師とくすり             |
| 3. くすりと社会 III | 薬剤師とくすり             |
| 4. くすりと社会 IV  | ファーマシーについて          |
| 5. 医療と倫理 I    | 医療倫理とは何か            |
| 6. 医療と倫理 II   | 医療倫理と生命倫理           |
| 7. 医療と倫理 III  | 生命倫理学の流れ(アメリカ)ーその 1 |
| 8. 医療と倫理 IV   | 生命倫理学の流れ(アメリカ)ーその 2 |
| 9. 医療と倫理 V    | 生命倫理学のまとめ           |
| 10. 薬剤師と法 I   | 薬剤師と法令              |
| 11. 薬剤師と法 II  | 薬剤師法                |
| 12. 薬剤師と法 III | 薬剤師と医療法             |
| 13. 薬剤師と法 IV  | 薬剤師と製造物責任法          |

### 成績評価方法

各担当者の試験もしくはレポートの合計点 (100点) により行う。

### 教科書

大久保・山本・松家篇 『社会薬学入門』 -薬と社会と法を考える (法律文化社)

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

分からないところがあれば遠慮なく尋ねてください。

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

## 社会薬学Ⅱ（基礎編）

### —社会と医療と福祉—

**担当教員名** 準教授 大久保 一徳  
 準教授 松家 次朗  
 準教授 長嶺 幸子  
 1年次 後期 必修 1単位

クラス	1	科目コード	1020
クラス	2	科目コード	1020
クラス	3	科目コード	1020
クラス	4	科目コード	1020
クラス	5	科目コード	1020
クラス	6	科目コード	1020
クラス	7	科目コード	1020
クラス	8	科目コード	1020

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

### 一般目標 (GIO)

社会における薬剤師の果たすべき役割、責任、義務等を正しく理解することができるよう、薬剤師という職業に深くかかわる歴史、制度、法律および倫理に関する基本的知識を修得する。

### 到達目標 (SBOs)

1. 医療専門職としての薬剤師の倫理の特徴について理解する。
2. 研究倫理の基本について概説できる。
3. 薬事法の基本について概説できる。
4. 医薬品と薬事法の関係について概説できる。
5. 医薬品開発の基本的流れについて説明できる。
6. 医薬品の承認審査システムについて説明できる。
7. 医薬品の市販後安全対策について概説できる。
8. 臨床試験の流れを説明できる。
9. 医薬品開発と医薬費の安全性に関する基本を理解する。
10. 製造物責任法の基本について説明できる。

### 授業内容 (項目・内容)

- |                 |                     |
|-----------------|---------------------|
| 1. 薬剤師と倫理 I     | 医療専門職の倫理の特徴について     |
| 2. 薬剤師と倫理 II    | プロフェッショナルとしての責任 I   |
| 3. 薬剤師と倫理 III   | プロフェッショナルとしての責任 II  |
| 4. 薬剤師と倫理 IV    | プロフェッショナルとしての責任 III |
| 5. 薬剤師と倫理 V     | プロフェッショナルとしての責任 IV  |
| 6. 医薬品と薬事法 I    | 医薬品開発               |
| 7. 医薬品と薬事法 II   | 品質確保・製造管理システム       |
| 8. 医薬品と薬事法 III  | 承認審査システム            |
| 9. 医薬品と薬事法 IV   | 市販後安全対策             |
| 10. 医薬品と消費者 I   | 医薬費の安全性             |
| 11. 医薬品と消費者 II  | 医薬費の製造・販売           |
| 12. 医薬品と消費者 III | 製造物責任法              |
| 13. 医薬品と消費者 IV  | 医薬費の流通における適正競争      |

### 成績評価方法

各担当者の試験もしくはレポートの合計点（100点）により行う。

### 教科書

大久保・松家・山本編 『社会薬学入門』－薬と社会と法を考える（法律文化社）

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

分からないところがあれば遠慮なく尋ねてください。

# 薬学入門

担当教員名 教授 棚橋 孝雄

1年次 前期 必修 1単位

クラス 1	科目コード	1100
クラス 2	科目コード	1100
クラス 3	科目コード	1100
クラス 4	科目コード	1100
クラス 5	科目コード	1100
クラス 6	科目コード	1100
クラス 7	科目コード	1100
クラス 8	科目コード	1100

## 一般目標 (GIO)

薬の専門家として必要な基本姿勢を身につけるために、医療、社会における薬学の役割、薬剤師の使命を知り、どのように薬学が発展してきたかを理解する。

## 到達目標 (SBOs)

- 薬学の歴史的流れと医療において薬学が果たしてきた役割が概説できる。
- 薬剤師の活動分野（医療機関、製薬企業、衛生行政など）について概説できる。
- 薬剤師と共に働く医療チームの職種を挙げ、その仕事を概説できる。
- 医薬品の適正使用における薬剤師の役割について概説できる。
- 一般用医薬品と医療用医薬品の違いを概説できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                |                         |
|----------------|-------------------------|
| 1. 薬学の歴史       | 薬学の歴史、医療における薬学の果たす役割    |
| 2. 薬学の歴史       | 薬の発見、薬剤師の誕生             |
| 3. 薬剤師の活動分野    | 医療機関、製薬企業、衛生行政などの薬剤師の役割 |
| 4. 薬剤師の活動分野    | 医療チームとの連携、チーム医療での薬剤師の役割 |
| 5. 薬剤師の活動分野    | 医薬品の適正使用における薬剤師の役割      |
| 6. 薬剤師の活動分野    | 医薬品の創製における薬剤師の役割        |
| 7. 薬について       | 化学物質が医薬品として使用されるまでの流れ   |
| 8. 薬について       | 種々の剤形とその使い方             |
| 9. 薬について       | 一般用医薬品と医療用医薬品の違い        |
| 10. 現代社会と薬学の接点 | 先端医療を支える医薬品開発           |
| 11. 現代社会と薬学の接点 | 薬害について                  |
| 12. 現代社会と薬学の接点 | 麻薬、大麻、覚醒剤などの乱用と健康への影響   |
| 13. 食品と健康      | 栄養と健康、食品添加物             |
| 14. 環境         | 水、大気などの環境問題             |

## 成績評価方法

定期試験 (100点)

## 教科書

スタンダード薬学シリーズ（日本薬学会編） 第1巻『ヒューマニズム・薬学入門』東京化学同人

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

薬学は非常に幅広い学問です。薬学の内容、社会における役割、薬剤師の活動分野などを概観することにより、これから薬学を学ぶ意欲を高めてほしい。

1  
年  
次  
生

2  
年  
次  
生

3  
年  
次  
生

4  
年  
次  
生

5  
年  
次  
生

6  
年  
次  
生

# 物理化学 I

## —物質の構造 2—

**担当教員名** 教授 中山 尋量  
教授 志野木 正樹  
1年次 後期 必修 1単位

クラス	1	科目コード	1210
クラス	2	科目コード	1210
クラス	3	科目コード	1210
クラス	4	科目コード	1210
クラス	5	科目コード	1210
クラス	6	科目コード	1210
クラス	7	科目コード	1210
クラス	8	科目コード	1210

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

### 一般目標 (GIO)

物質を構成する基本単位である原子・分子の性質を理解するために、原子構造、分子構造に関する基本的知識と技能を修得する。

### 到達目標 (SBOs)

1. 分子間相互作用について説明できる。
2. 電磁波の性質および物質との相互作用を説明できる。
3. 放射壊変と代表的な放射性核種について説明できる。
4. 電離放射線の種類と性質（物質との相互作用）について説明できる。
5. 放射線の測定原理と放射線測定器について説明できる。

### 授業内容（項目・内容）

- |             |                                 |
|-------------|---------------------------------|
| 1. 分子間相互作用  | 静電相互作用とファンデルワールス力（双極子間相互作用と分散力） |
| 2. 分子間相互作用  | 水素結合、電荷移動と疎水性相互作用               |
| 3. 原子・分子    | 電磁波の性質と物質との相互作用                 |
| 4. 原子・分子    | 分子の振動、回転、電子遷移                   |
| 5. 原子・分子    | スピントン磁気共鳴                       |
| 6. 原子・分子    | 代表的な分光スペクトルと構造との関連              |
| 7. 原子・分子    | 分子の分極と双極子モーメント、偏光と旋光性           |
| 8. 原子・分子    | 散乱と干渉、結晶構造と回折現象                 |
| 9. 放射線と放射能  | 原子の構造と放射壊変（代表的な放射性核種）           |
| 10. 放射線と放射能 | 放射能の単位と計算                       |
| 11. 放射線と放射能 | 放射平衡とその医学への利用                   |
| 12. 放射線と放射能 | 電離放射線の種類と放射線量の単位                |
| 13. 放射線と放射能 | 放射線と物質との相互作用                    |
| 14. 放射線と放射能 | 核反応と代表的な放射性核種の製造                |
| 15. 放射線と放射能 | 放射線の測定原理と測定器                    |

### 成績評価方法

定期試験 (100点)

### 教科書

スタンダード薬学シリーズ（日本薬学会編）第2巻『物理系薬学 I 物質の物理的性質』東京化学同人『物質の構造を知ろう』（中山）京都廣川書店

### 指定参考書

『薬学 放射化学・薬品学』（森、田中編、廣川書店）  
『物理化学演習』（三輪、青木）京都廣川書店

### 学生へのアドバイス

内容が豊富なので、復習によってその都度理解しておくこと。テスト前のみでは間に合わない。（中山）質問は基礎教育センターでのオフィスアワーで対応するので、積極的に参加してください。（志野木）

# 分析化学 I

## —化学平衡—

担当教員名 教授 小林 典裕

1年次 後期 必修 1単位

クラス 1	科目コード	1250
クラス 2	科目コード	1250
クラス 3	科目コード	1250
クラス 4	科目コード	1250
クラス 5	科目コード	1250
クラス 6	科目コード	1250
クラス 7	科目コード	1250
クラス 8	科目コード	1250

### 一般目標 (GIO)

医薬品の化学分析において、溶液中の酸塩基反応、沈殿生成反応、錯体生成反応、酸化還元反応が重要な役割を果たしている。本講義では、これら化学反応の定量的な理解に必須となる化学平衡と、その定量分析への応用について論じる。

### 到達目標 (SBOs)

- 酸・塩基の定義と酸塩基平衡について説明できる。
- 各種水溶液の水素イオン濃度(pH)を計算することができる。
- 酸塩基滴定の原理を説明し、滴定曲線を作成することができる。
- 沈殿平衡について説明できる。
- 沈殿滴定の原理を説明し、滴定曲線を作成することができる。
- 錯体、キレートの定義と錯体生成平衡について説明できる。
- キレート滴定の原理を説明し、滴定曲線を作成することができる。
- 酸化・還元の定義と酸化還元平衡について説明できる。
- 酸化還元滴定の原理を説明し、滴定曲線を作成することができる。
- 分配平衡とイオン交換平衡について説明できる。

### 授業内容 (項目・内容)

- |               |  |
|---------------|--|
| 1. 分析化学概論     | 薬学領域における分析化学の役割と方法論                                  |
| 2. 酸塩基平衡 (1)  | 酸・塩基の定義、共役酸塩基対、酸塩基平衡と電離定数、弱酸・弱塩基の分子形/イオン形存在比のpHによる変化 |
| 3. 酸塩基平衡 (2)  | 各種の酸、塩基及び塩の水溶液のpH計算法                                 |
| 4. 酸塩基滴定の基礎   | 酸塩基滴定の理論、滴定曲線の作成と当量点の決定法                             |
| 5. 沈殿平衡       | 難溶性塩の沈殿平衡と溶解度積                                       |
| 6. 沈殿滴定の基礎    | 沈殿滴定の理論、滴定曲線の作成と当量点の決定法                              |
| 7. 錯体生成平衡     | 金属錯体の種類、錯体生成平衡と安定度定数                                 |
| 8. キレート滴定の基礎  | キレート滴定の理論、滴定曲線の作成と当量点の決定法                            |
| 9. 酸化還元平衡     | 酸化・還元の定義、共役酸化還元対、酸化還元電位、酸化還元平衡と平衡定数                  |
| 10. 酸化還元滴定の基礎 | 酸化還元滴定の理論、滴定曲線の作成と当量点の決定法                            |
| 11. 分配平衡      | 分配平衡と溶媒抽出への応用  |
| 12. イオン交換平衡   | イオン交換反応の化学平衡と物質の分離・精製への応用                            |

### 成績評価方法

定期試験 (100点)

### 教科書

『NEW薬品分析化学』 (一ノ木進ら著、廣川書店)

### 指定参考書

- 『よくある質問 分析化学の基礎』 (澤田 清、山田眞吉著、講談社)
- 『化学サポートシリーズ 酸と塩基』 (水町邦彦著、裳華房)
- 『コアカリ対応分析化学』 (前田昌子ら編、丸善)

### 学生へのアドバイス

化学平衡に関する基本的な計算問題を解けることが求められます。

復習が必須。質問は隨時受け付けます。

1  
年  
次  
生

2  
年  
次  
生

3  
年  
次  
生

4  
年  
次  
生

5  
年  
次  
生

6  
年  
次  
生

# 無機・錯体化学

—無機化学物質の基本的性質—

**担当教員名** 教授 中山 尋量  
教授 津波古 充朝

1年次 後期 必修 1単位

クラス	1	科目コード	1400
クラス	2	科目コード	1400
クラス	3	科目コード	1400
クラス	4	科目コード	1400
クラス	5	科目コード	1400
クラス	6	科目コード	1400
クラス	7	科目コード	1400
クラス	8	科目コード	1400

## 一般目標 (GIO)

基本的な無機化合物の構造、物性、反応性を理解するために、電子配置、電子密度、化学結合の性質などに関する基本的知識を修得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 代表的な典型元素を列挙し、その特徴を説明できる。
2. 代表的な遷移元素を列挙し、その特徴を説明できる。
3. 代表的な無機医薬品を列挙できる。
4. 代表的な錯体の名称、立体構造、基本的性質を説明できる。
5. 錯体の安定性、反応性について説明できる。
6. 医薬品として用いられる代表的な錯体を列挙できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |          |                         |
|----------|-------------------------|
| 1. 無機化合物 | 代表的な典型元素とその特徴           |
| 2. 無機化合物 | 代表的な遷移元素とその特徴           |
| 3. 無機化合物 | 窒素酸化物の名称、構造、性質          |
| 4. 無機化合物 | イオウ、リン、ハロゲンの酸化物、オキソ酸化合物 |
| 5. 無機化合物 | 活性酸素の構造、電子配置と性質         |
| 6. 無機化合物 | —酸化窒素の電子配置と性質           |
| 7. 無機化合物 | 代表的な無機医薬品               |
| 8. 錯体    | 代表的な錯体の名称、立体構造、基本的性質    |
| 9. 錯体    | 配位結合                    |
| 10. 錯体   | 代表的な配位子、配位基、キレート試葉      |
| 11. 錯体   | 錯体の安定度定数と配位子のキレート効果     |
| 12. 錯体   | 錯体の反応性                  |
| 13. 錯体   | 医薬品として用いられる代表的な錯体       |
| 14. 錯体   | 生体内に存在する代表的な金属イオンと錯体の機能 |

## 成績評価方法

定期試験 (100点)

## 教科書

薬学のための無機化学 (桜井 弘編著) 化学同人

## 指定参考書

ライフサイエンス系の無機化学 (八木 康一編著) 三共出版  
スタンダード薬学シリーズ (日本薬学会編) 第3巻 「化学系薬学 I 化学物質の性質と反応」 東京化学同人

## 学生へのアドバイス

授業の内容 (ノート) を中心に十分復習すること。

# 有機化学 I

## —有機化合物の基本的性質—

**担当教員名** 教授 棚橋 孝雄  
講師 竹仲 由希子

1年次 後期 必修 1単位

クラス 1	科目コード	1410
クラス 2	科目コード	1410
クラス 3	科目コード	1410
クラス 4	科目コード	1410
クラス 5	科目コード	1410
クラス 6	科目コード	1410
クラス 7	科目コード	1410
クラス 8	科目コード	1410

### 一般目標 (GIO)

基本的な有機化合物の構造、物性、反応性を理解するために、電子配置、電子密度、化学結合の性質などに関する基本的知識を修得する。また脂肪族炭化水素の性質を理解するために、その基本構造、物理的性質に関する基本的知識を修得する。

### 到達目標 (SBOs)

1. 基本的な化合物を命名し、ルイス構造で書くことができる。
2. 軌道の混成について説明できる。
3. 炭素原子を含む反応中間体（カルボカチオン、カルバニオン、ラジカル）の構造と性質を説明できる。
4. ルイス酸・塩基を定義することができる。
5. アルコール、カルボン酸の酸性度を比較して説明できる。
6. 有機化合物の性質に及ぼす共鳴の性質について説明できる。
7. 基本的な炭化水素、ハロゲン化アルキル、アルコール、エーテル、アミンおよびアルキル基をIUPACの規則に従って命名することができる。
8. アルカンハロゲン化アルキル、アルコール、エーテル、アミンの基本的な物性について説明できる。
9. アルカンの構造異性体を図示し、その数を示すことができる。
10. エタンおよびブタンの立体配座と安定性について説明できる。
11. シクロアルカンの環の歪みを決定する要因について説明できる。
12. シクロヘキサンのいす形配座と舟形配座を図示できる。
13. シクロヘキサンのいす形配座における水素の結合方向（アキシャル、エクアトリアル）を図示できる。
14. 置換シクロヘキサンの安定な立体配座を決定する要因について説明できる。
15. 構造異性体と立体異性体について説明できる。
16. キラリティーと光学活性を概説できる。
17. エナンチオマーとジアステレオマーについて説明できる。
18. ラセミ体とメソ化合物について説明できる。
19. 絶対配置の表示法を説明できる。
20. Fischer投影式とNewman投影式を用いて有機化合物の構造を書くことができる。
21. 光学活性化合物を得るための代表的な手法（光学分割）を説明できる。

### 授業内容 (項目・内容)

- |                |                                     |
|----------------|-------------------------------------|
| 1. 電子構造と結合 1   | イオン結合、共有結合、極性共有結合                   |
| 2. 電子構造と結合 2   | 構造の表示、シグマ結合とパイ結合                    |
| 3. 電子構造と結合 3   | 混成軌道                                |
| 4. 酸と塩基 1      | 酸と塩基の基礎                             |
| 5. 酸と塩基 2      | 酸性度に及ぼす構造の影響                        |
| 6. 共鳴          | 非局在化電子と共鳴の基礎                        |
| 7. 有機化合物の基礎 1  | 炭化水素、ハロゲン化アルキル、アルコール、エーテル、アミンの命名法   |
| 8. 有機化合物の基礎 2  | 炭化水素、ハロゲン化アルキル、アルコール、エーテル、アミンの物理的性質 |
| 9. 有機化合物の基礎 3  | アルカン、シクロアルカンの立体配座と安定性               |
| 10. 有機化合物の基礎 4 | 置換シクロヘキサンの立体配座                      |
| 11. 立体化学 1     | シス-トランス異性とEZ表記                      |
| 12. 立体化学 2     | キラル中心と立体配置のR,S表記                    |
| 13. 立体化学 3     | 複数の不斉炭素を持つ異性体                       |
| 14. 立体化学 4     | エナンチオマーの分離と識別                       |

1  
年  
次  
生

2  
年  
次  
生

3  
年  
次  
生

4  
年  
次  
生

5  
年  
次  
生

6  
年  
次  
生

## 成績評価方法

定期試験（100点）

## 教科書

ブルース有機化学（第4版）上・下（大船泰史ら監訳）化学同人

## 指定参考書

スタンダード薬学シリーズ（日本薬学会編）第3巻『化学系薬学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ』東京化学同人  
ソロモンの新有機化学（第7版）上・下（花房昭静ら訳）廣川書店

## 学生へのアドバイス

この科目の範囲内に限定せず、関連の有機化学系科目の内容も参照しながら、教科書や参考書をよく読みこむことが重要です。原則的に質問は隨時受け付ける。

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

# 有機化学II

## —有機化合物の反応1—

担当教員名 教授 和田 昭盛

1年次 後期 必修 1単位

クラス 1	科目コード	1420
クラス 2	科目コード	1420
クラス 3	科目コード	1420
クラス 4	科目コード	1420
クラス 5	科目コード	1420
クラス 6	科目コード	1420
クラス 7	科目コード	1420
クラス 8	科目コード	1420

### 一般目標 (GIO)

- 脂肪族炭化水素の性質を理解するために、それぞれの基本構造、物理的性質、反応性に関する基本的知識を修得する。
- 官能基が有機化合物に与える効果を理解するために、官能基を有する化合物について、反応性およびその他の性質に関する基本的知識を修得する。
- 個々の官能基を導入、変換するために、それらに関する基本的知識を修得する。

### 到達目標 (SBOs)

- アルケンへの代表的なシン型付加反応を列挙し、反応機構を説明できる。
- アルケンへの臭素の付加反応の機構を図示し、反応の立体特異性(アンチ付加)を説明できる。
- アルケンへのハロゲン化水素の付加反応の位置選択性(Markovnikov則)について説明できる。
- カルボカチオンの級数と安定性について説明できる。
- 共役ジエンへのハロゲンの付加反応の特徴について説明できる。
- アルケンの酸化的開裂反応を列挙し、構造解析への応用について説明できる。
- アルキンの代表的な反応を列挙し、説明できる。
- 有機ハロゲン化合物の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。
- 求核置換反応(SN1およびSN2反応)の機構について、立体化学を含めて説明できる。
- ハロゲン化アルキルの脱ハロゲン化水素の機構を図示し、反応の位置選択性(Zaytzeff則)を説明できる。
- 有機ハロゲン化合物の代表的な合成法について説明できる。
- Diels-Alder反応の特徴を具体例を用いて説明できる。
- 代表的な位置選択的反応を列挙し、その機構と応用例について説明できる。
- 代表的な立体選択的反応を列挙し、その機構と応用例について説明できる。

### 授業内容 (項目・内容)

- |                  |                          |
|------------------|--------------------------|
| 1. 有機化学反応        | 反応の分類と特徴                 |
| 2. アルケンの反応 1     | トランス付加反応                 |
| 3. アルケンの反応 2     | 付加反応の立体化学 (Markovnikov則) |
| 4. アルケンの反応 3     | シス付加反応                   |
| 5. アルケンの反応 4     | 酸化的開裂反応                  |
| 6. アルキンの反応 1     | 付加反応 (アルケンとの相違)          |
| 7. アルキンの反応 2     | アセチリドイオンの反応              |
| 8. ハロゲン化合物の反応 1  | 求核置換反応 SN1反応             |
| 9. ハロゲン化合物の反応 2  | 同上 SN2反応                 |
| 10. ハロゲン化合物の反応 3 | 脱離反応 E1反応                |
| 11. ハロゲン化合物の反応 4 | 同上 E2反応                  |
| 12. ハロゲン化合物の反応 5 | 脱離反応の立体化学 (Zaytzeff則)    |
| 13. ジエンの反応 1     | 共役ジエンへの付加反応              |
| 14. ジエンの反応 2     | Diels Alder 反応           |

### 成績評価方法

定期試験 80点、レポート 20点

### 教科書

ブルース 有機化学（第4版）上・下（大船泰史ら監訳）化学同人

1  
年  
次  
生

2  
年  
次  
生

3  
年  
次  
生

4  
年  
次  
生

5  
年  
次  
生

6  
年  
次  
生

## 指定参考書

スタンダード薬学シリーズ3 (日本薬学会編) 『化学系薬学 I. 化学物質の性質と反応』 (東京化学同人)  
ソロモンの新有機化学 (第7版) 上・下 (花房昭静ら監訳、廣川書店)

## 学生へのアドバイス

矢印を使って反応機構が書けるように反復練習を心がけること。

質問は1号館5階生命有機化学研究室で随時受け付ける。

1  
年  
次  
生

2  
年  
次  
生

3  
年  
次  
生

4  
年  
次  
生

5  
年  
次  
生

6  
年  
次  
生

# 薬用資源学

担当教員名 準教授 川西 和子

1年次 前期 必修 1単位

クラス 1	科目コード	1540
クラス 2	科目コード	1540
クラス 3	科目コード	1540
クラス 4	科目コード	1540
クラス 5	科目コード	1540
クラス 6	科目コード	1540
クラス 7	科目コード	1540
クラス 8	科目コード	1540

## 一般目標 (GIO)

薬として用いられる動物・植物・鉱物由来の生薬の基本的性質を理解するために、それらの基原、性状、含有成分、生合成、品質評価、生産と流通、歴史的背景などについての基本的知識およびそれらを活用するための基本的技能を修得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 代表的な薬用植物の形態を観察する。
2. 代表的な薬用植物の学名、薬用部位などを列挙できる。
3. 代表的な薬用植物を形態が似ている植物と区別できる。
4. 動物、鉱物由来の医薬品について具体例を挙げて説明できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                       |                |
|-----------------------|----------------|
| 1. 植物の分類              | 植物の外部形態の特徴から分類 |
| 2. 植物の細胞および組織         | 各細胞および組織がはたす役割 |
| 3. 茎の外部形態             | 植物鑑別に必要な茎の形状   |
| 4. 根の外部形態             | 植物鑑別に必要な根の形状   |
| 5. 葉の外部形態             | 植物鑑別に必要な葉の形状   |
| 6. 花の外部形態             | 植物鑑別に必要な花の形状   |
| 7. 果実の外部形態            | 植物鑑別に必要な果実の形状  |
| 8. 種子の外部形態            | 植物鑑別に必要な種子の形状  |
| 9. 根を用いる生薬            | 各生薬の鑑別に必要な特徴   |
| 10. 葉を用いる生薬           | 各生薬の鑑別に必要な特徴   |
| 11. 花および果実を用いる生薬      | 各生薬の鑑別に必要な特徴   |
| 12. 種子を用いる生薬          | 各生薬の鑑別に必要な特徴   |
| 13. 樹皮、全草およびその他を用いる生薬 | 各生薬の鑑別に必要な特徴   |
| 14. 動物、鉱物由来の生薬        | 各生薬の鑑別に必要な特徴   |

## 成績評価方法

- 定期試験 (85点)
- 小テストと課題レポート (15点)

## 教科書

薬用植物学 (廣川書店)、カラーグラフィック薬用植物 (廣川書店)

## 指定参考書

植物解剖および形態学 (養賢堂)、漢方・生薬学 (廣川書店)

## 学生へのアドバイス

復習には薬用植物園の植物を観察する。またスーパーマーケットの野菜（茎、根、葉、花）や果物、ナッツ（果実、種子）を観察したり、切ってからも観察する。

1  
年  
次  
生

2  
年  
次  
生

3  
年  
次  
生

4  
年  
次  
生

5  
年  
次  
生

6  
年  
次  
生

# 機能形態学

**担当教員名** 講師（非常勤） 上野 易弘

1年次 後期 必修 1単位

クラス	1	科目コード	1600
クラス	2	科目コード	1600
クラス	3	科目コード	1600
クラス	4	科目コード	1600
クラス	5	科目コード	1600
クラス	6	科目コード	1600
クラス	7	科目コード	1600
クラス	8	科目コード	1600

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

## 一般目標 (GIO)

人体の基本構造を理解するために、各器官系の構造と機能に関する基本的知識を修得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. ヒトの身体を構成する臓器の名称、形態および体内での位置、各臓器の役割分担について概説できる。
2. 神経系の構成と機能の概要を説明できる。
3. 主な骨と関節、骨格筋、皮膚について機能と構造を関連づけて説明できる。
4. 血液と循環器系について機能と構造を関連づけて説明できる。
5. 呼吸器について機能と構造を関連づけて説明できる。
6. 消化管、肝臓・脾臓・胆嚢について機能と構造を関連づけて説明できる。
7. 泌尿器・生殖器系臓器について機能と構造を関連づけて説明できる。
8. 内分泌系臓器について機能と構造を関連づけて説明できる。
9. 眼・耳・鼻などの感覚器について機能と構造を関連づけて説明できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |             |                         |
|-------------|-------------------------|
| 1. 解剖学総論    | 人体の区分、各臓器の名称・形態・位置の概説   |
| 2. 組織学総論    | 人体構成組織の構造と機能            |
| 3. 血液・リンパ   | 血液の構成と造血系臓器、凝固系、リンパ系    |
| 4. 神経系 (1)  | 中枢神経系の構造と機能             |
| 5. 神経系 (2)  | 末梢神経系の構造と機能             |
| 6. 皮膚・骨格・筋系 | 皮膚・骨・関節・筋肉の構造と機能        |
| 7. 循環器系     | 心臓と血管の構造と機能             |
| 8. 呼吸器系     | 肺・気管支など呼吸器の構造と機能        |
| 9. 消化器系     | 消化管及び消化管附属器の構造と機能       |
| 10. 泌尿器系    | 腎臓・膀胱など泌尿器系臓器の構造と機能     |
| 11. 体液の恒常性  | 体液量調節と酸塩基平衡             |
| 12. 生殖器系    | 精巣・卵巣・子宮など生殖器の構造と機能     |
| 13. 内分泌系    | 脳下垂体・甲状腺・副腎など内分泌腺の構造と機能 |
| 14. 感覚器系    | 眼・耳・鼻など感覚器の構造と機能        |

## 成績評価方法

定期試験

## 教科書

機能形態学 改訂第2版 (櫻田 忍・櫻田 司編集 南江堂)

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

自らの身体の構造と機能を知ることに興味を持つことが、楽しく勉強する最良の方法です。

# 生化学 I

## 細胞構成分子

**担当教員名** 準教授 小林 吉晴  
講 師 多河 典子

1年次 後期 必修 1単位

クラス 1	科目コード	1620
クラス 2	科目コード	1620
クラス 3	科目コード	1620
クラス 4	科目コード	1620
クラス 5	科目コード	1620
クラス 6	科目コード	1620
クラス 7	科目コード	1620
クラス 8	科目コード	1620

### 一般目標 (GIO)

生命の活動単位としての細胞の成り立ちを分子レベルで理解するために、その構成分子の構造、生合成、性状、機能に関する基本的知識を修得する。

### 到達目標 (SBOs)

1. グルコースの構造、性質、役割を説明できる。
2. グルコース以外の代表的な单糖、および二糖の種類、構造、性質、役割を説明できる。
3. 代表的な多糖の構造と役割を説明できる。
4. 脂質を分類し、構造の特徴と役割を説明できる。
5. 脂肪酸の種類、役割、生合成経路を説明できる。
6. コレステロールの生合成経路と代謝を説明できる。
7. アミノ酸を例挙し、その構造に基づいて性質を説明できる。
8. アミノ酸分子中の炭素および窒素の代謝について説明できる。

### 授業内容 (項目・内容)

- |                  |                        |
|------------------|------------------------|
| 1. 糖質の種類と構造      | 単糖の種類と構造               |
| 2. 糖質の種類と構造      | 二糖、多糖の種類と構造            |
| 3. 糖質の種類、構造、機能   | 複合糖質の種類、構造と機能          |
| 4. 脂質の種類、構造、機能   | 脂肪酸、中性脂肪、複合脂質の種類、構造と機能 |
| 5. 脂質の種類、構造、機能   | ステロイドの種類、構造と機能         |
| 6. 脂質と生体膜        | 生体膜の構造と性質および機能         |
| 7. アミノ酸の種類、構造、性質 | アミノ酸の種類、構造と性質、ペプチド結合   |
| 8. 脂質代謝          | 脂肪酸の生合成、 $\beta$ 酸化    |
| 9. 脂質代謝          | 脂肪の吸収、リボタンパク質の代謝       |
| 10. 脂質代謝         | コレステロールの生合成と代謝         |
| 11. 脂質代謝         | ステロイドホルモンの生合成          |
| 12. アミノ酸代謝       | タンパク質の消化、吸収とアミノ酸の同化と異化 |
| 13. アミノ酸代謝       | アンモニアの代謝と尿素サイクル        |
| 14. アミノ酸代謝       | 先天性代謝異常症               |

### 成績評価方法

定期試験 (100点)

### 教科書

New生化学 (富田基郎 他編) 廣川書店

### 指定参考書

キャンベル・ファーレル生化学 第4版 (川喜敏祐 監訳) 廣川書店

### 学生へのアドバイス

10号館6階 病態生化学研究室

復習し、講義内容を整理する。講義は連続性があるため毎回出席すること。

在室中ならいつでも質問はOKです。薬学基礎教育センターでオフィスアワーを行っています。

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

## 早期体験学習

教授 棚橋 孝雄 教授 岩川 精吾 教授 田中 研治  
 教授 和田 昭盛 教授 北川 裕之 教授 杉山 正敏  
 教授 江本 憲昭 教授 内田 吉昭 教授 畑 公也  
 准教授 小林 吉晴 准教授 木口 敏子 准教授 長嶺 幸子  
 講師 赤井 朋子 講師 多河 典子 講師 竹仲由希子

1年次 通年 必修 1単位

クラス 1	科目コード	1110
クラス 2	科目コード	1110
クラス 3	科目コード	1110
クラス 4	科目コード	1110
クラス 5	科目コード	1110
クラス 6	科目コード	1110
クラス 7	科目コード	1110
クラス 8	科目コード	1110

### 一般目標 (GIO)

医療・福祉の現状と薬剤師を取り巻く環境を理解し、薬学生として学習に対するモチベーションを高めるために、創薬・医薬品供給・医療・福祉の現場などを体験し、将来医療の担い手となる自覚を持つ。

### 到達目標 (SBOs)

1. 病院における薬剤師および他の医療スタッフの業務を見聞し、その重要性について自分の意見をまとめ、発表する。
2. 開局薬剤師の業務を見聞し、その重要性について自分の意見をまとめ、発表する。

### 授業内容 (項目・内容)

1 グループ毎に、病院または薬局などを見学し、グループで取り上げたテーマに基づいてスモールグループディスカッションを行う。  
 グループとしての見解をクラスで発表し、レポートにまとめる。また全クラス参加の報告会でグループによる発表を行い、討議する。  
 製薬企業、福祉施設、公的機関などの見学学習も行う。

### 成績評価方法

出席調査書、レポート、発表を総合的に判断して、評価する。

### 教科書

特になし

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

積極的なグループ学習への参加を求めます。

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

# 初期体験臨床実習

## —チーム医療を学ぶ—

**担当教員名** 教授 岩川 精吾 教授 杉山 正敏 教授 宮田 興子  
教授 江本 憲昭 准教授 長嶺 幸子

1年次 通年 選択 1単位

クラス 1	科目コード	1111
クラス 2	科目コード	1111
クラス 3	科目コード	1111
クラス 4	科目コード	1111
クラス 5	科目コード	1111
クラス 6	科目コード	1111
クラス 7	科目コード	1111
クラス 8	科目コード	1111

### 一般目標 (GIO)

神戸大学医学部との連携により医学科学生、保健学科学生と混成チームを構成して、保健医療の実践現場を訪問し患者、医師、薬剤師、看護師など様々な人に接することにより、チーム医療の実際を知ることで、多職種間医療人協働（インタープロフェッショナルワーク：IPW）の重要性を認識する。

### 到達目標 (SBOs)

1. 患者中心の医療において、各専門職の役割や協働の重要性について述べることができる。
2. 病院での患者や実習指導者などと意見交換を行うことで、薬剤師の専門職としての社会的使命を把握する。

### 授業内容 (項目・内容)

1. オリエンテーション
  2. グループ学習
  3. 患者代表による講義
  4. チーム医療の実際（医学部医学科学生、保健学科学生との混成チームによる施設見学）
  5. 見学成果のまとめ
  6. グループ別討論
  7. 合同発表会
- \*定員50名

### 成績評価方法

出席調査書、レポート、発表を総合的に判断して評価する。

### 教科書

特になし

### 指定参考書

特になし

### 学生へのアドバイス

神戸大学医学部学生とのグループ学習に積極的に参加してください。

1  
年  
次  
生

2  
年  
次  
生

3  
年  
次  
生

4  
年  
次  
生

5  
年  
次  
生

6  
年  
次  
生

# 基礎化学実習

**担当教員名** 教授 中山 尋量  
助教 林 亜紀 助教 前田 秀子  
1年次 後期 必修 1単位

クラス	1	科目コード	3201
クラス	2	科目コード	3201
クラス	3	科目コード	3201
クラス	4	科目コード	3201
クラス	5	科目コード	3201
クラス	6	科目コード	3201
クラス	7	科目コード	3201
クラス	8	科目コード	3201

1年次生

2年次生

3年次生

4年次生

5年次生

6年次生

## 一般目標 (GIO)

実験器具の正確な名称とその正しい使い方、実験装置の正しい組み立て方とその操作法など化学実験の基本を修得する。

## 到達目標 (SBOs)

1. 化学実験を行うに際しての注意点を説明できる。
2. 簡単なガラス細工を修得する。
3. 実験器具の正しい名称と使い方を修得する。
4. 升華、再結晶、蒸留などの基本的な精製法を修得する。
5. 簡単な無機医薬品を合成する。
6. 溶液の水素イオン濃度 (pH) を測定できる。
7. 目的の濃度の溶液を調製できる。

## 授業内容 (項目・内容)

- |                |                              |
|----------------|------------------------------|
| 1. 化学実験の注意点    | 化学実験における事故防止のための注意           |
| 2. 升華法による固体の精製 | 升華法による固体の精製                  |
| 3. ガラス細工       | ガラス細工の基本と簡単なガラス器具の製作         |
| 4. ホウ酸の合成と精製   | ホウ酸の合成と再結晶による精製              |
| 5. 蒸留による液体の精製  | 酢酸エチルの蒸留                     |
| 6. アセトアニリドの合成  | アセトアニリドの合成と再結晶による精製          |
| 7. 中和滴定        | 溶液の調製、pH 測定による滴定曲線の作製と緩衝液の理解 |

## 成績評価方法

レポート (60点) 配点内容: 課題等提出物、最終レポートで評価する。  
平常点 (40点) 配点内容: 出席と受講 (実習) 態度で評価する。

## 教科書

基礎化学実習書 (機能性分子化学研究室編)  
わかりやすい化学実験 (津波古、内藤他) 廣川書店

## 指定参考書

特になし

## 学生へのアドバイス

無断欠席、遅刻厳禁です。実習内容をよく頭に入れて実習をすること。